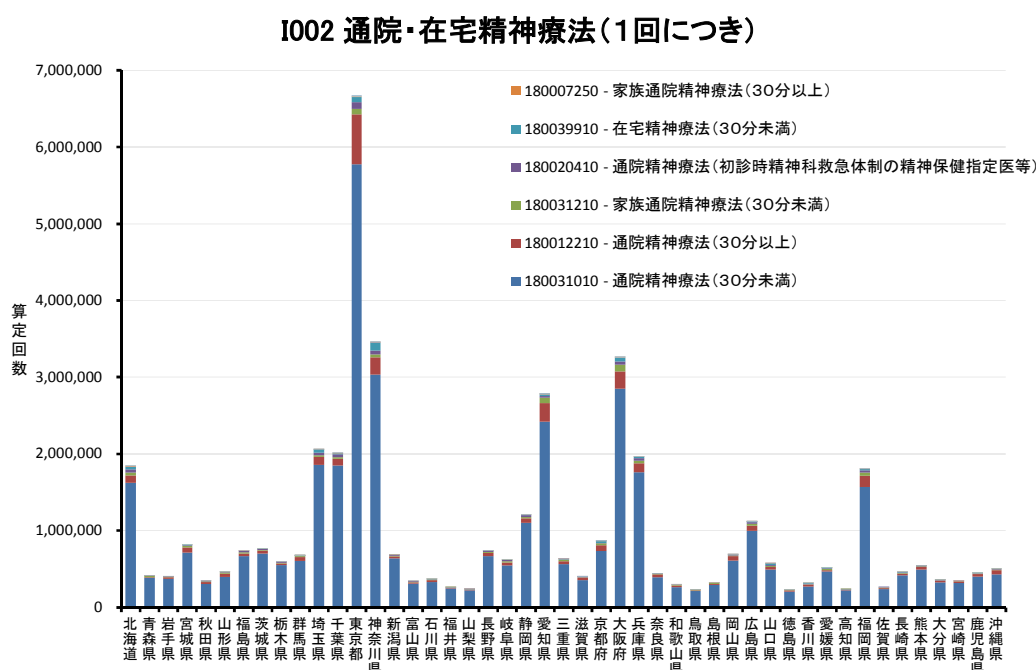


I 精神科専門療法

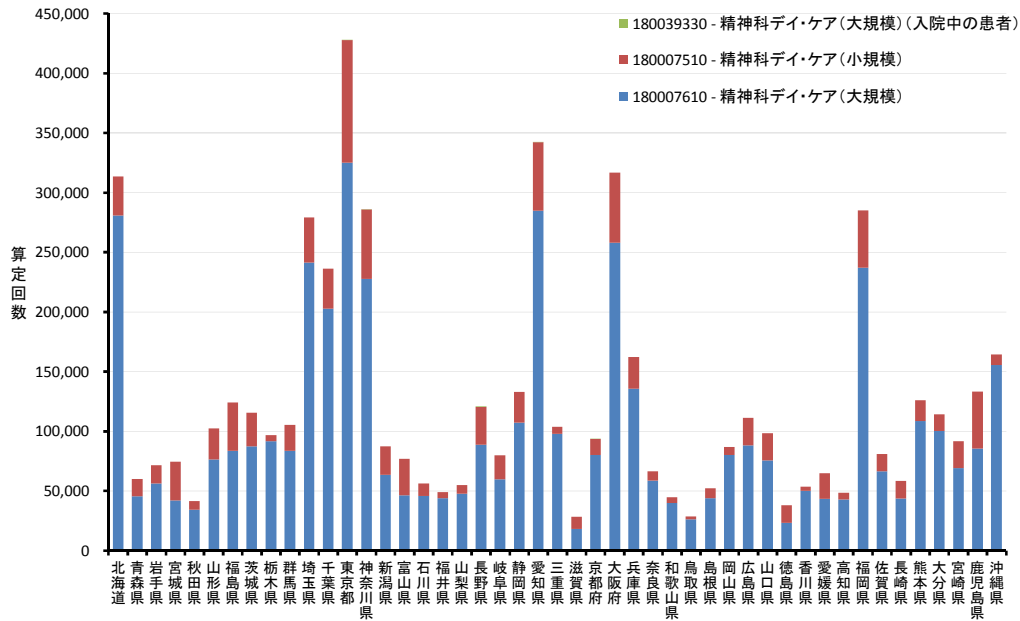
・精神科専門療法（外来）

【概要】 外来での精神科治療に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 10 項目を示す。



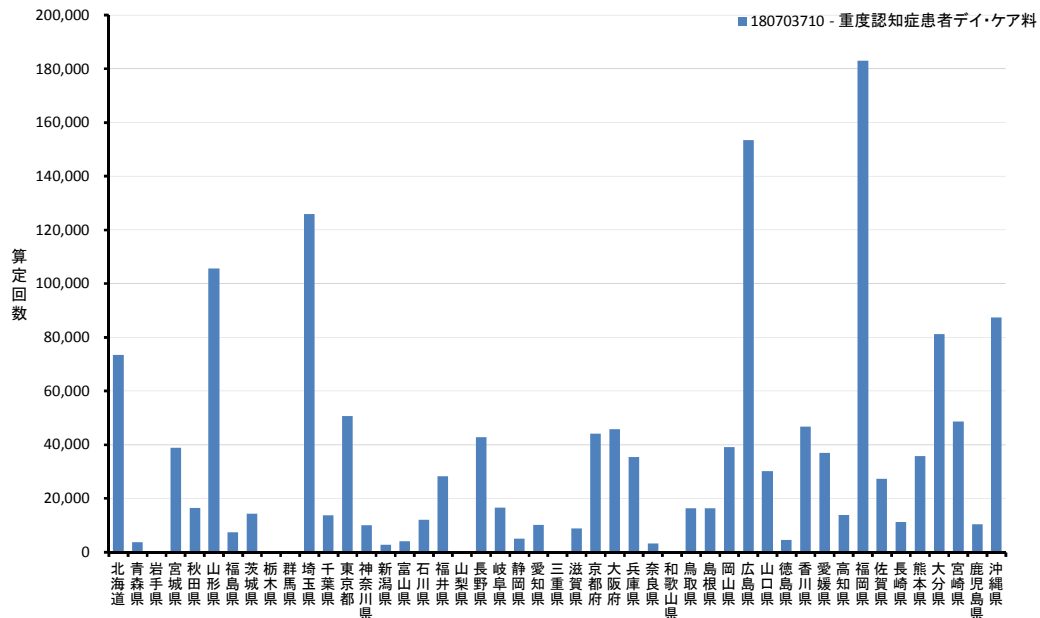
I002 通院在宅精神療法（1回につき）：主に外来診療において精神療法を行った場合に算定する。

I009 精神科デイ・ケア



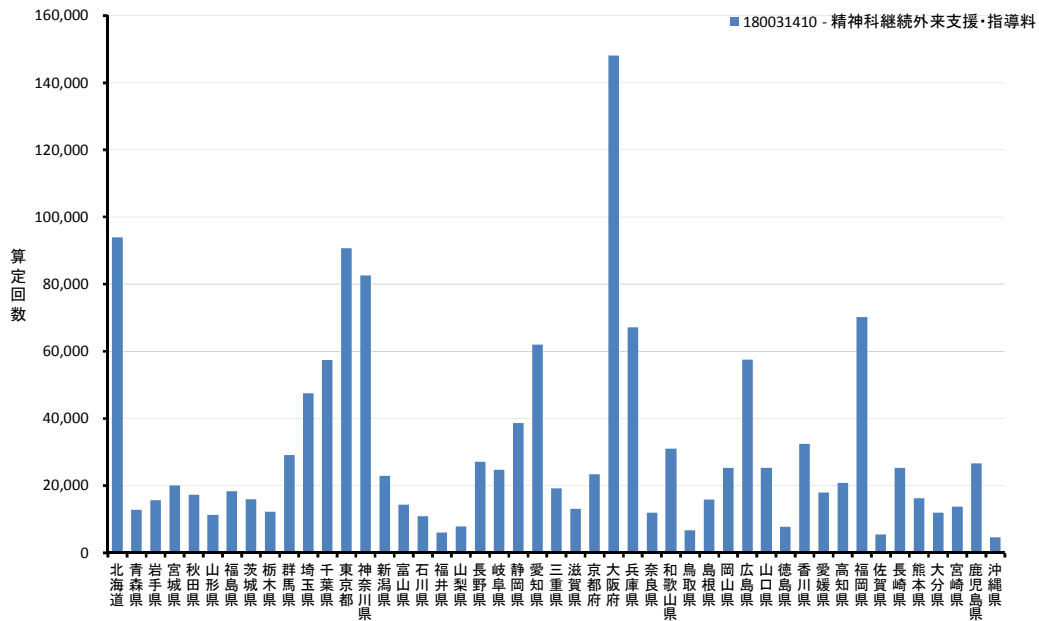
I009 精神科デイ・ケア: 精神障害者の社会生活機能の回復を目的として個々の患者に応じたプログラムに従い1日6時間を標準としてグループごとに行う治療。1日あたり1回算定する。

I015 重度認知症患者デイ・ケア料



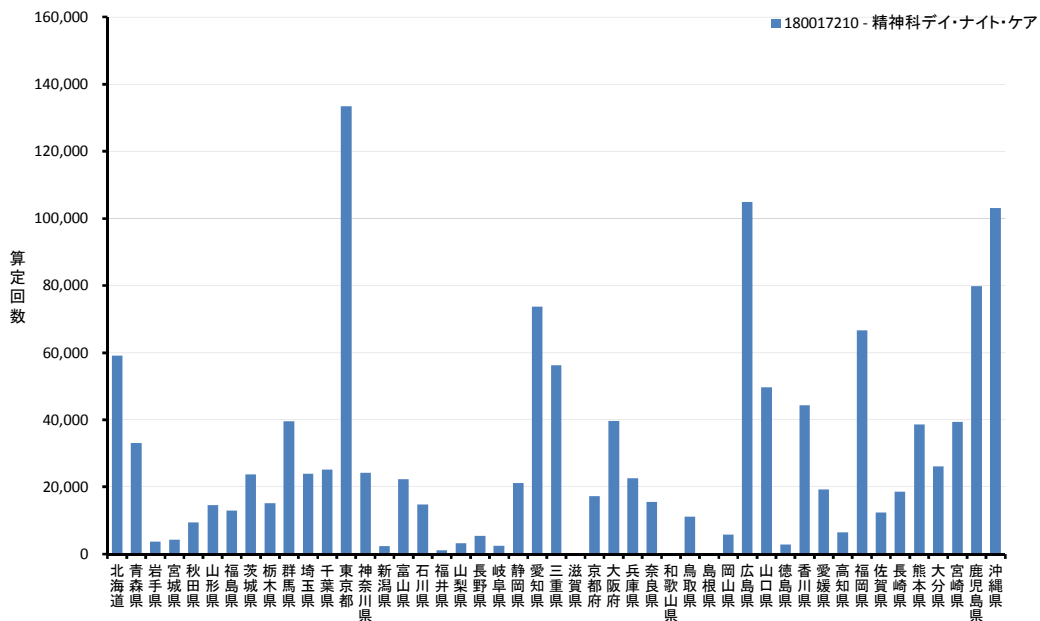
I015 重度認知症患者デイ・ケア料: 重度認知症患者の社会生活機能の回復を目的として個々の患者に応じたプログラムに従い1日6時間を標準としてグループごとに行う治療。1日あたり1回算定する。

I002-2 精神科継続外来支援・指導料



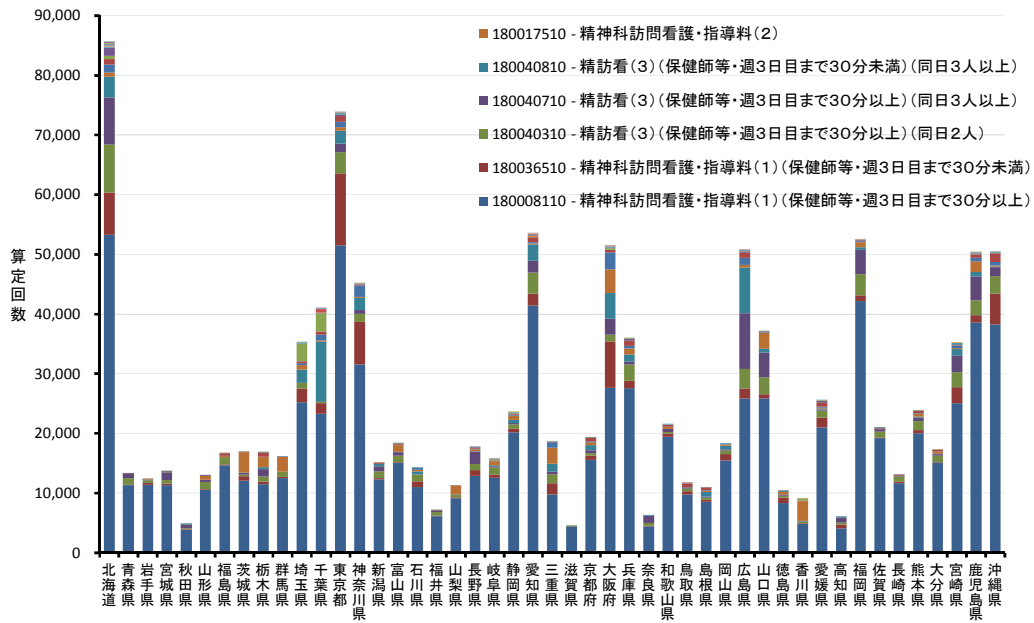
I002-2 精神科継続外来支援・指導料：主に外来診療において患者や家族等に対して病状、服薬状況及び副作用の有無等の確認などの支援を継続して行った場合に算定する。1日あたり1回算定する。

I010-2 精神科デイ・ナイト・ケア



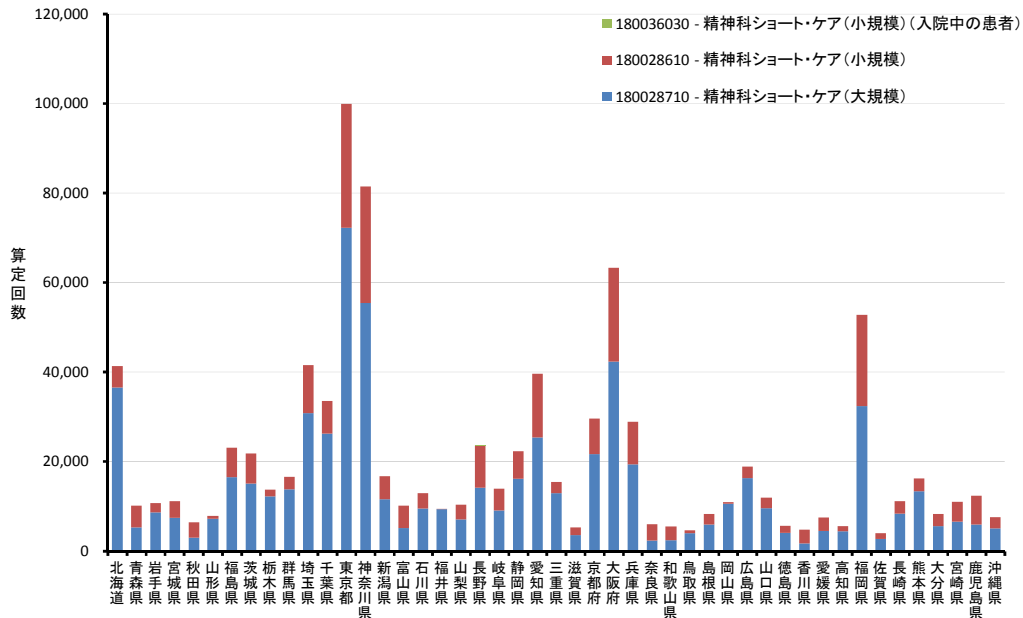
I010-2 精神科デイ・ナイト・ケア：重度認知症患者の社会生活機能の回復を目的として個々の患者に応じたプログラムに従い1日10時間を標準としてグループごとに行う治療。1日あたり1回算定する。

I012 精神科訪問看護・指導料



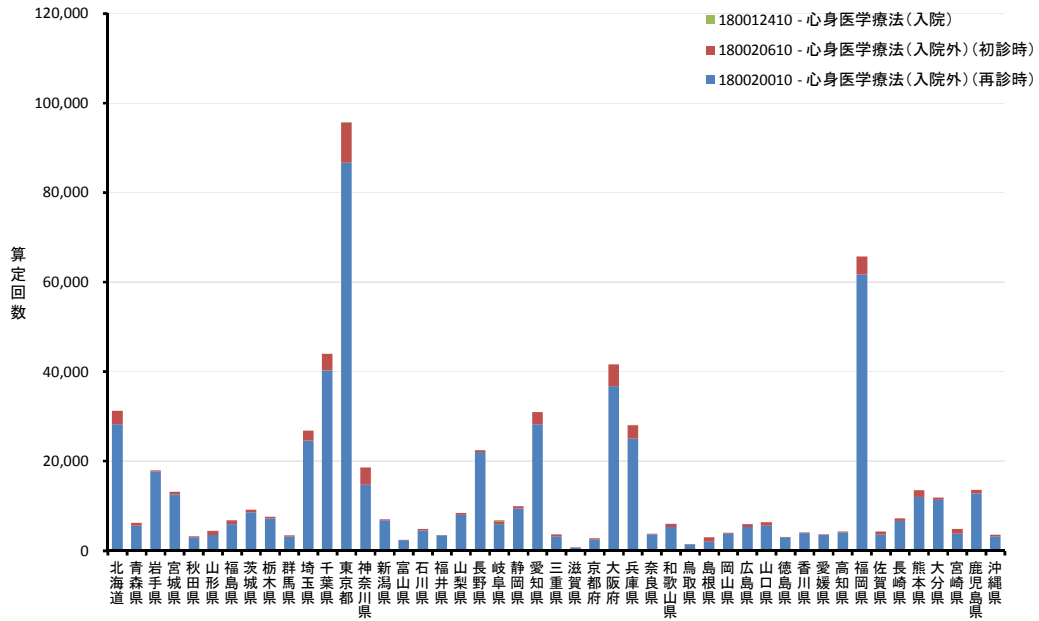
I012 精神科訪問看護・指導料：精神科医の指示を受けた保健師等が精神科患者の患家を訪問し、患者や家族に対し看護及び社会復帰指導等を行った場合に算定する。

I008-2 精神科ショート・ケア



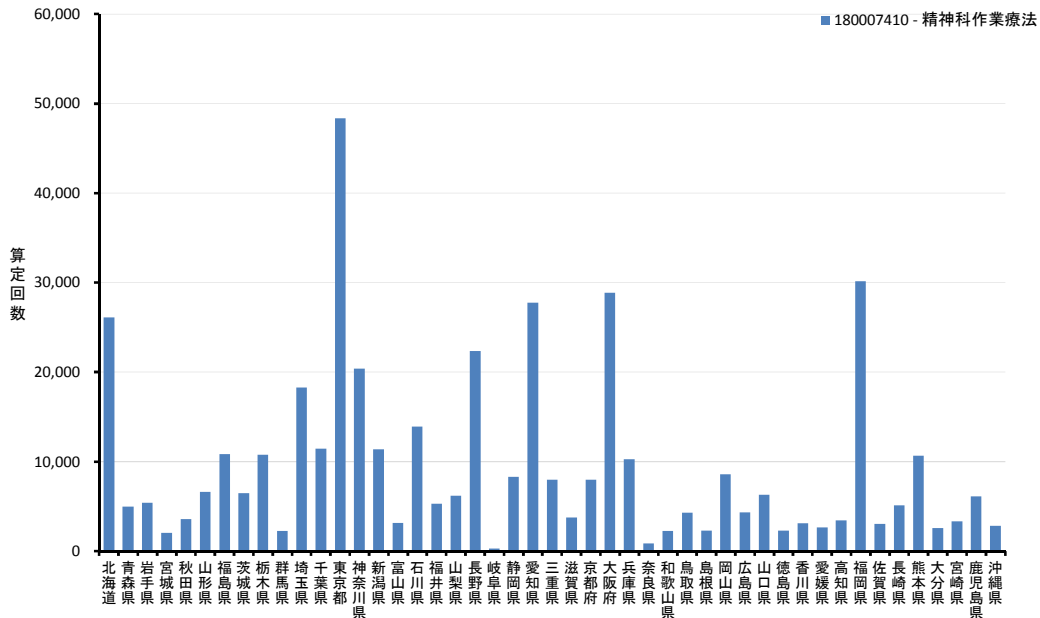
I008-2 精神科ショート・ケア：精神障害者の地域への復帰を支援するため、社会生活機能の回復を目的として個々の患者に応じたプログラムに従い1日3時間を標準としてグループごとに行う治療。1日あたり1回算定する。

I004 心身医学療法(1回につき)



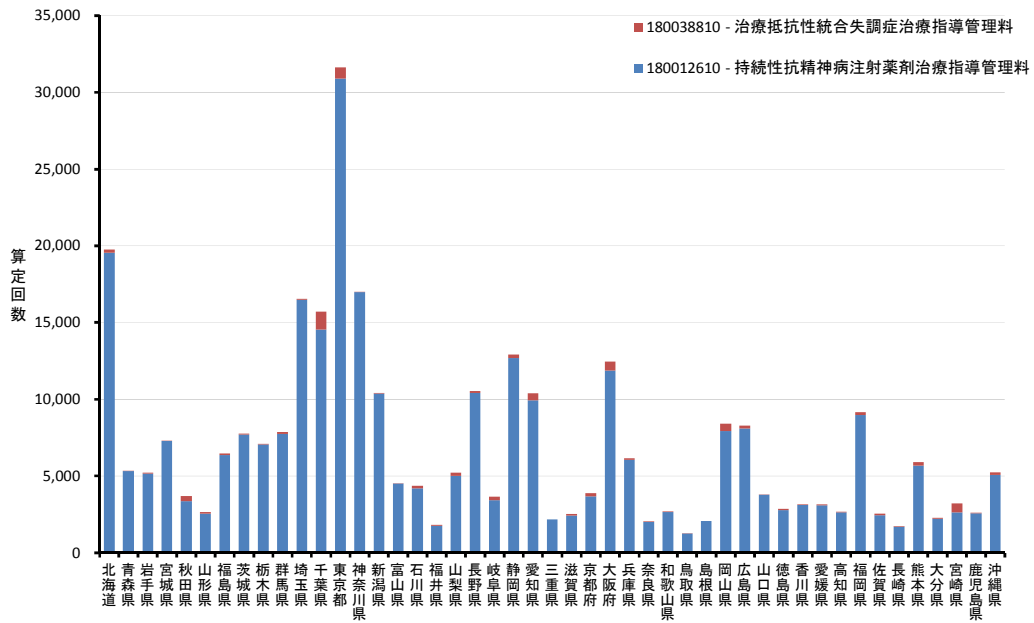
I004 心身医学療法（1回につき）：心身症の患者に対して、身体的傷病と心理・社会的要因との関連を明らかにするとともに、患者に心理的影響を与えることにより、症状の改善又は傷病からの回復を図る治療方法。

I007 精神科作業療法



I007 精神科作業療法：精神科患者の社会生活機能の回復を目的として行う作業療法。1日あたり1回算定する。

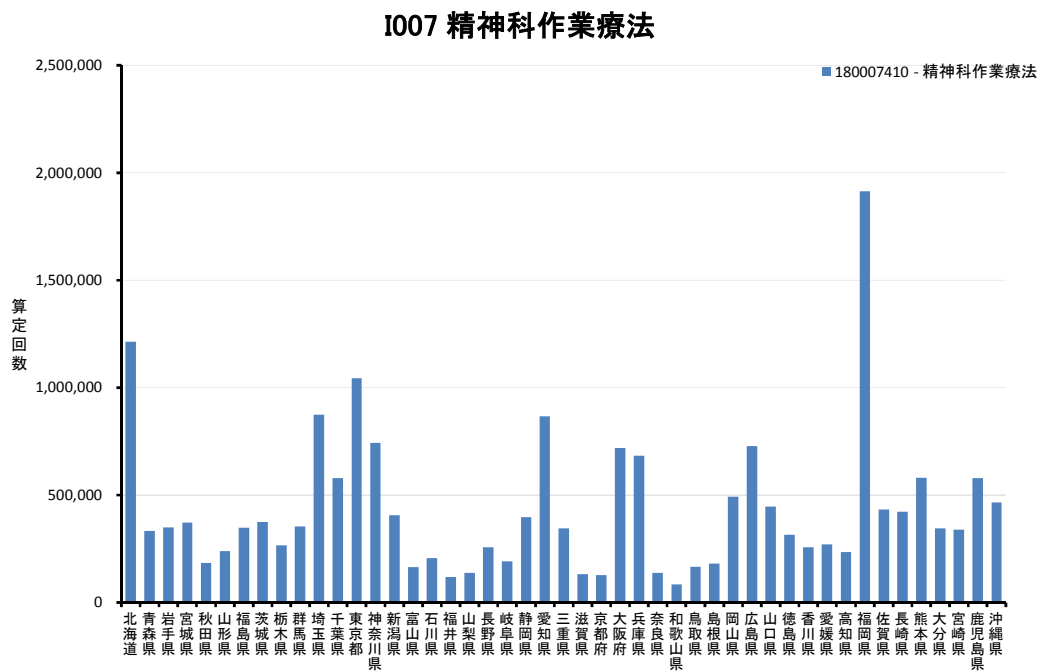
I013 抗精神病特定薬剤治療指導管理料



I013 抗精神病特定薬剤治療指導管理料：持続性抗精神病注射薬剤治療指導料とは、精神科医が外来通院中の持続性抗精神病注射薬剤で治療を受けている患者に対して、療養上必要な指導を行った場合に算定する。治療抵抗性統合失調症治療指導管理料とは、精神科医が治療抵抗性統合失調症治療薬（クロザピン）で治療を受けている患者に対して、療養上必要な指導を行った場合に算定する。

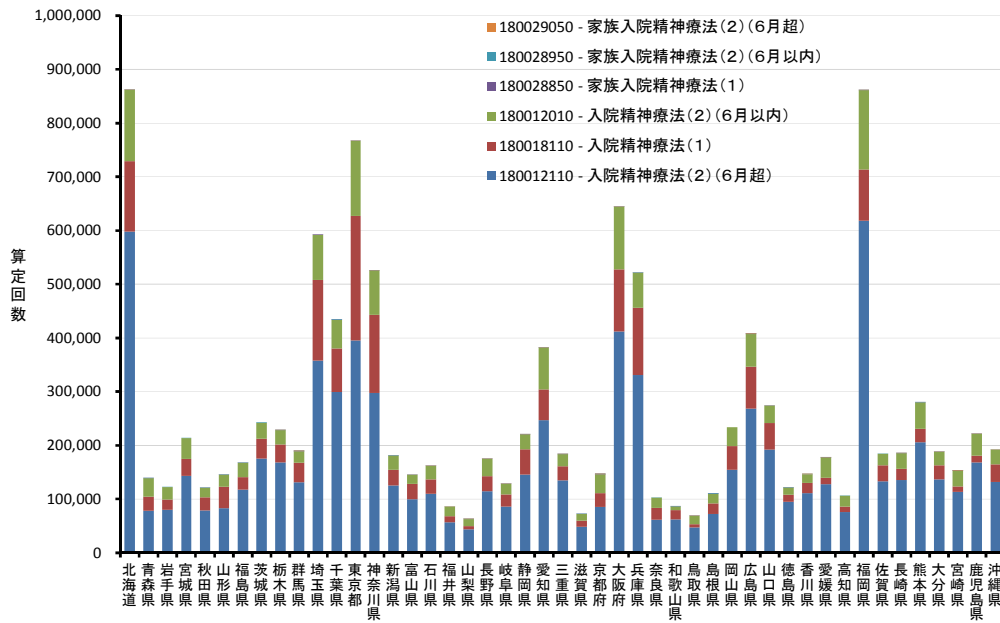
I 精神科専門療法
・精神科専門療法（入院）

【概要】入院での精神科治療に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 8 項目を示す。



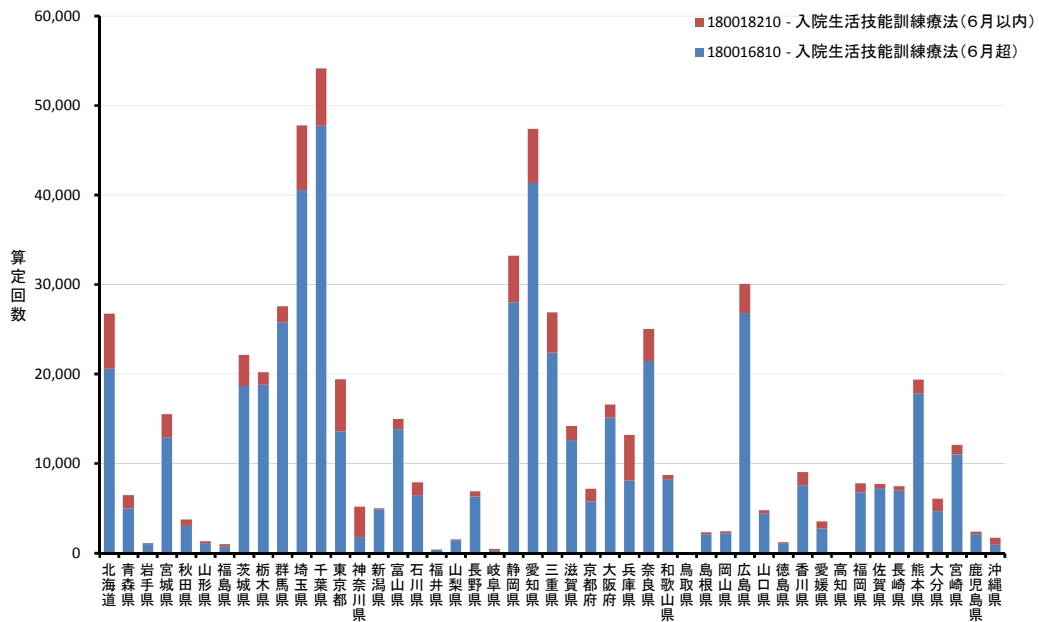
I007 精神科作業療法：精神科患者の社会生活機能の回復を目的として行う作業療法。1日あたり1回算定する。

I001 入院精神療法(1回につき)



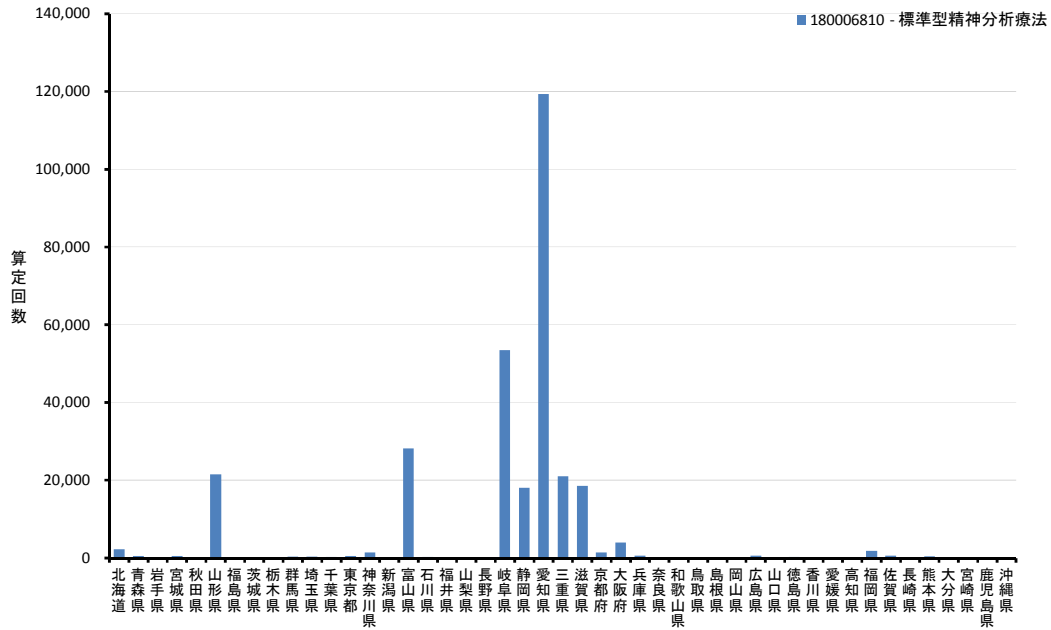
I001 入院精神療法（1回につき）：入院中の患者に対して精神療法を行った場合に算定する。

I008 入院生活技能訓練療法



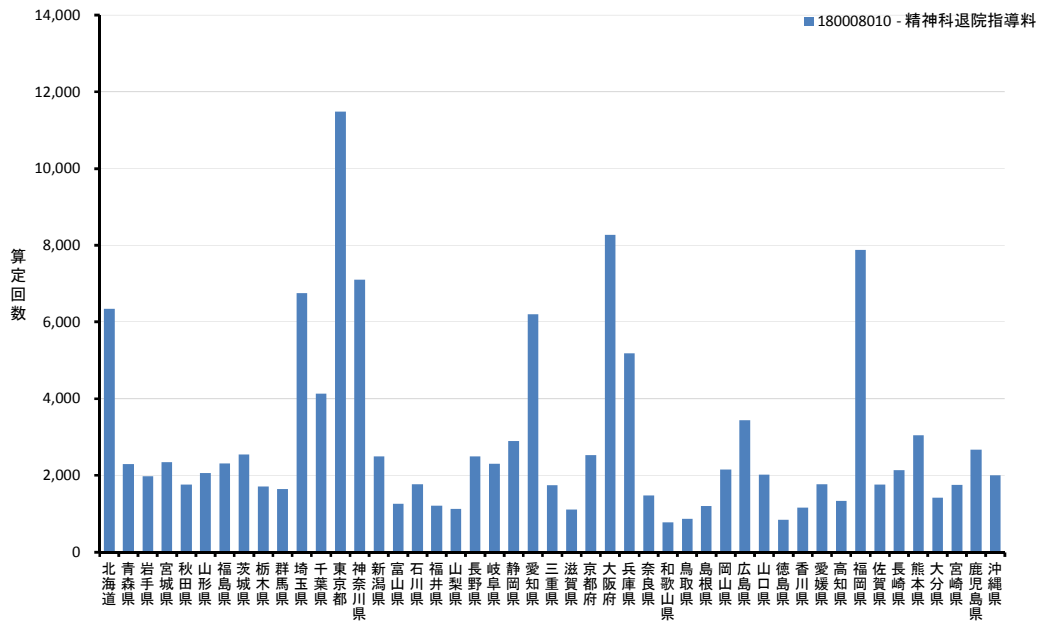
I008 入院生活技能訓練療法：入院中の患者に対して、服薬習慣等の基本生活技能、対人関係保持能力、作業能力等の獲得もたらすことにより、病状の改善と社会生活機能の回復を図る治療法。

I003 標準型精神分析療法(1回につき)



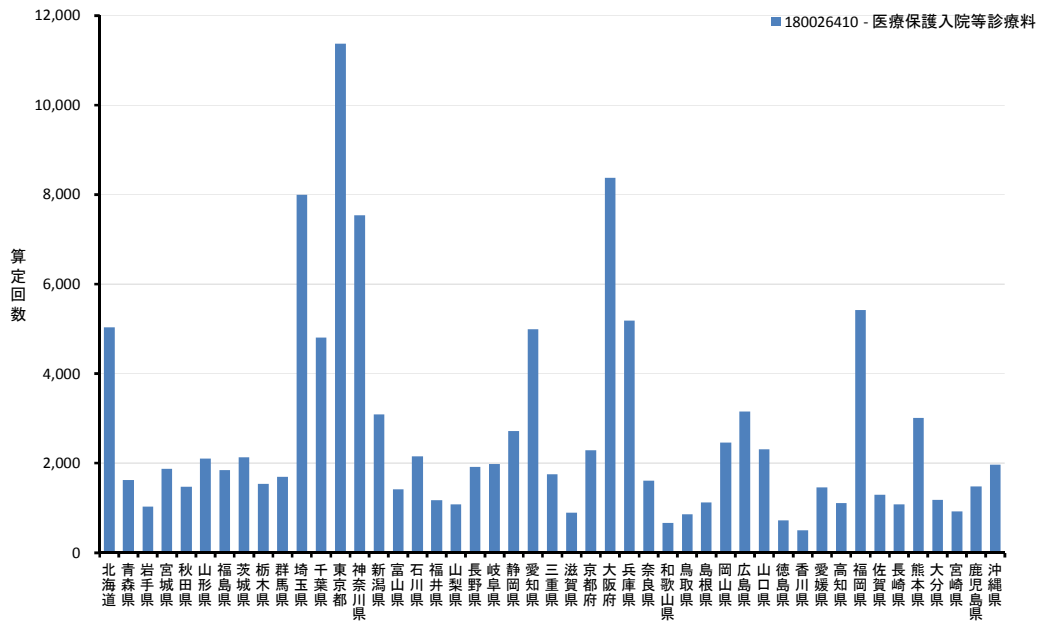
I003 標準型精神分析療法(1回につき) : 口述による自由連想法を用いて分析・解釈を行い、洞察へと導く治療法。診療に要した時間が45分を超えた場合に算定する。

I011 精神科退院指導料



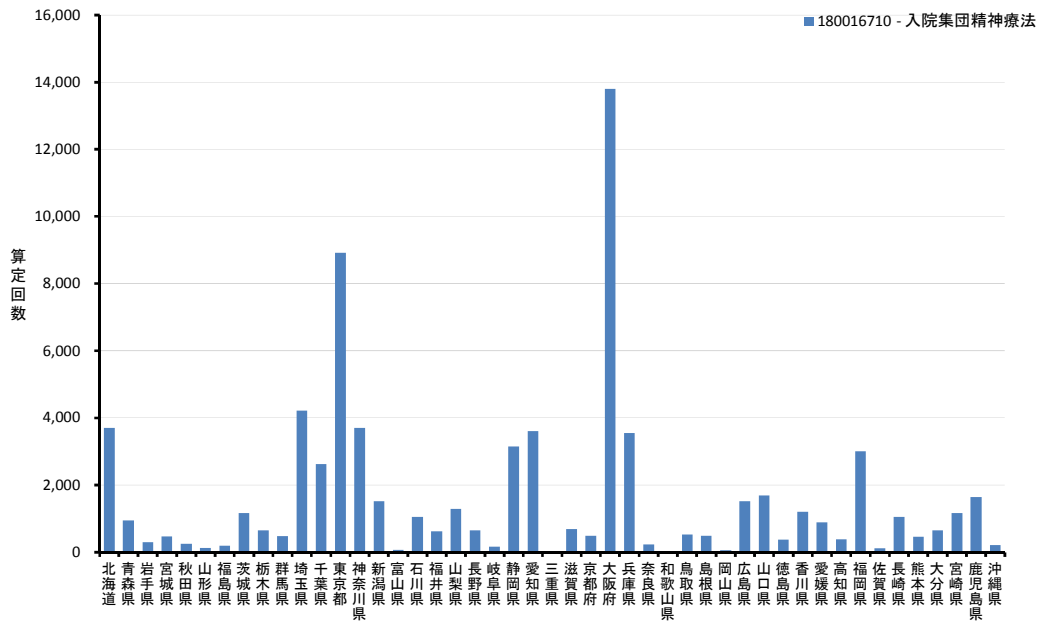
I011 精神科退院指導料 : 患者の退院時に多職種が共同して保健医療・福祉サービスに関する計画を策定し、退院療養計画書を作成した上で、医師が説明を行った場合に算定する。

I014 医療保護入院等診療料



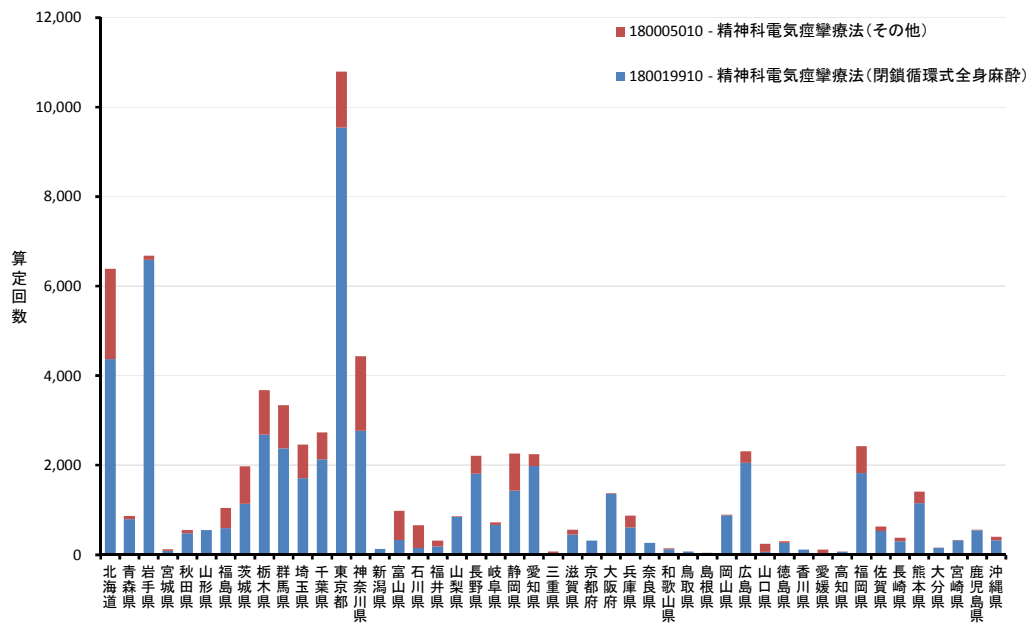
I014 医療保護入院等診療料：措置入院・医療保護入院等に係る患者について、精神保健指定医が治療計画を策定し治療管理を行った場合に算定する。

I005 入院集団精神療法



I005 入院集団精神療法：入院中の患者に対し、自己表現等手法により対人関係の相互作用を用いて病状の改善を図る治療法。1日あたり1回算定する。

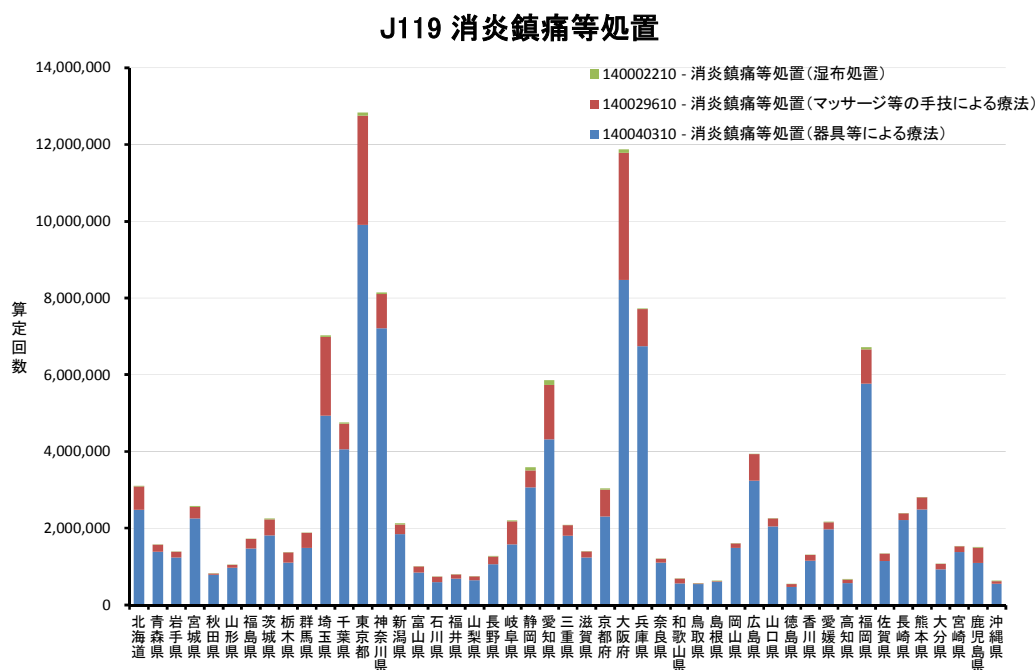
1000 精神科電気痙攣療法



1000 精神科電気痙攣療法：頭部に電流を通電することにより、精神症状の改善を図る治療法。

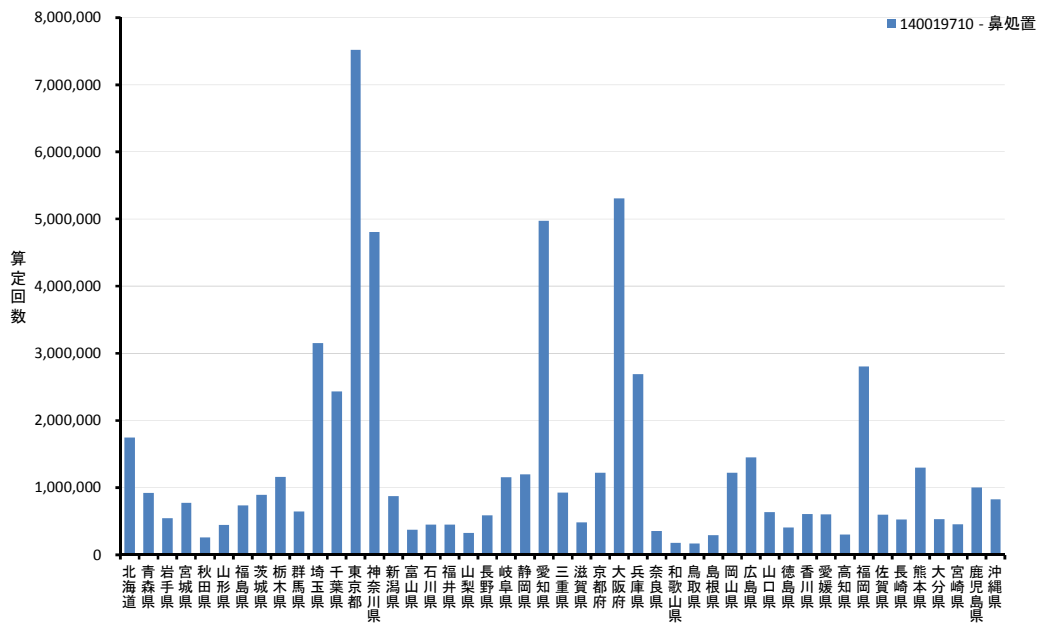
J 処置 ・処置（外来）

【概要】 外来での処置に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



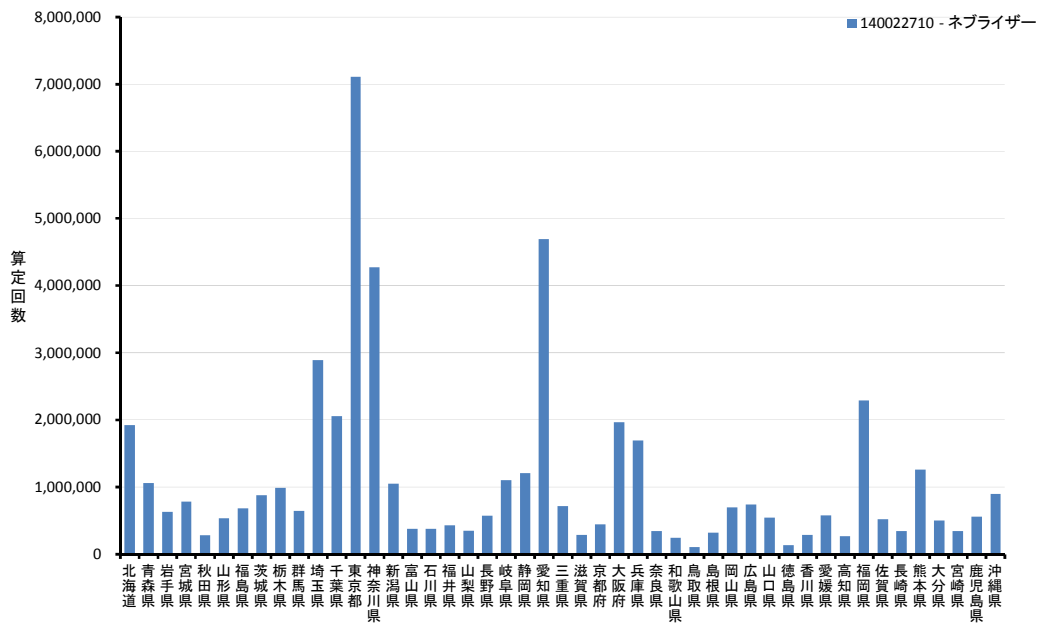
J119 消炎鎮痛等処置：炎症を抑え痛みを和らげる処置。

J097 鼻処置



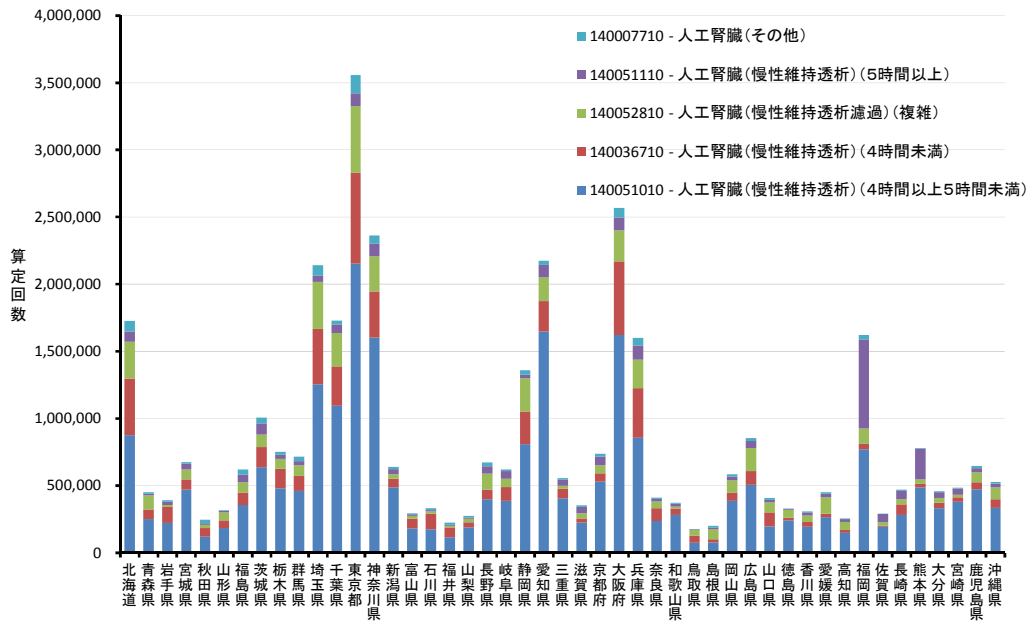
J097 鼻処置：鼻づまり等に対する吸引、鼻血および鼻の入り口付近の炎症等に対する処置（ただしガーゼ充填等を用いた鼻出血止血術は除く）。

J114 ネブライザー



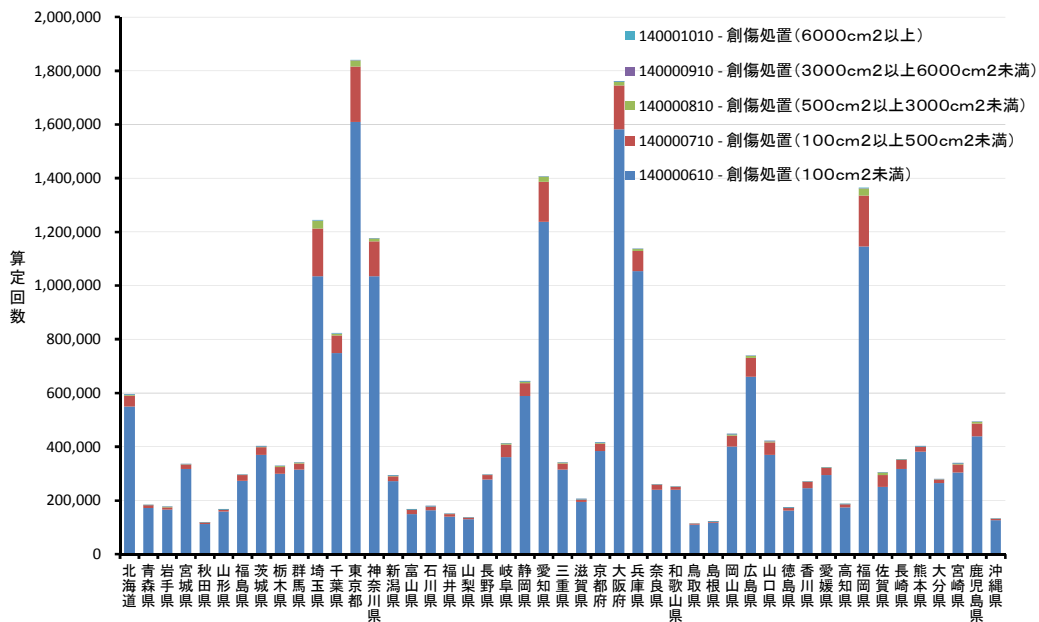
J114 ネブライザー：アレルギー性鼻炎等に対して、噴霧された薬液を患者が吸入すること。

J038 人工腎臓



J038 人工腎臓：血液透析など、機械を用いて血液を浄化する処置。

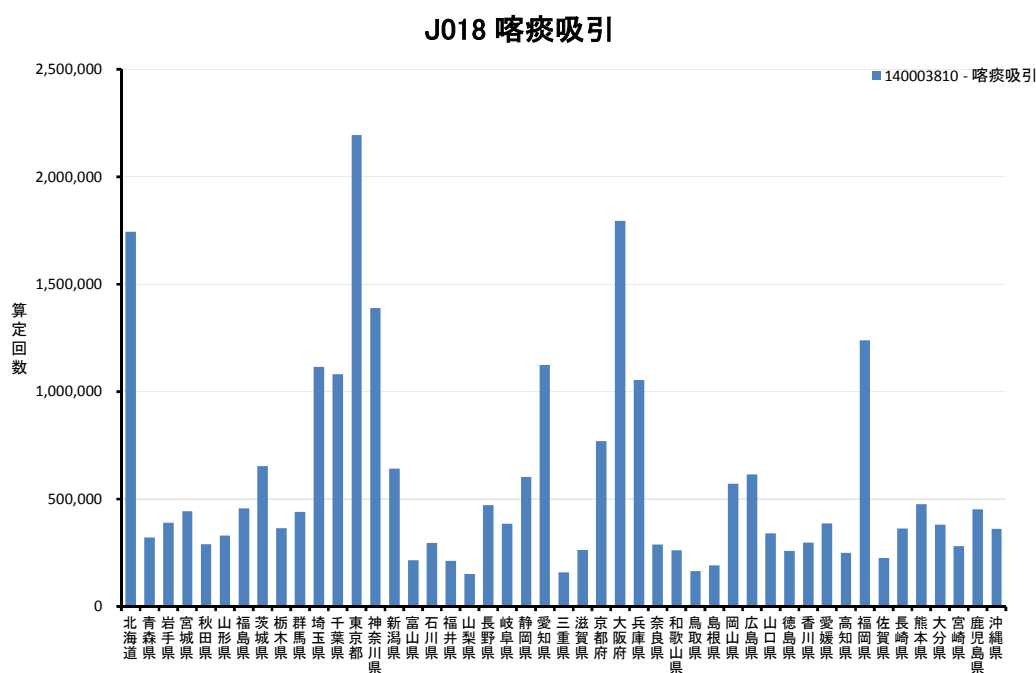
J000 創傷処置



J000 創傷処置：傷に対して消毒やガーゼ交換等を行う処置。

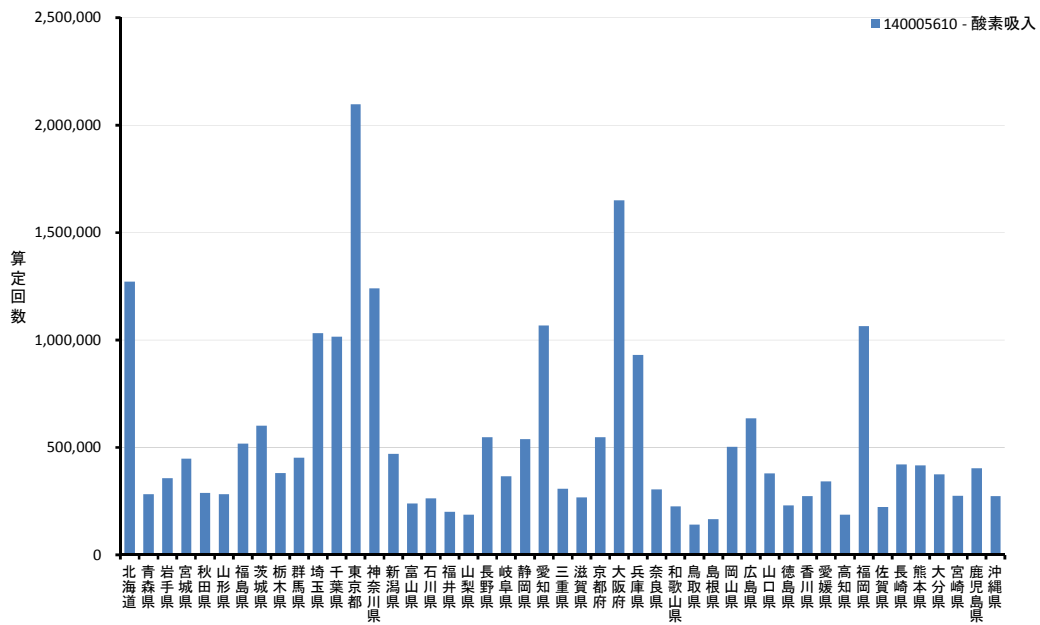
J 処置 ・処置（入院）

【概要】入院での処置に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 10 項目を示す。



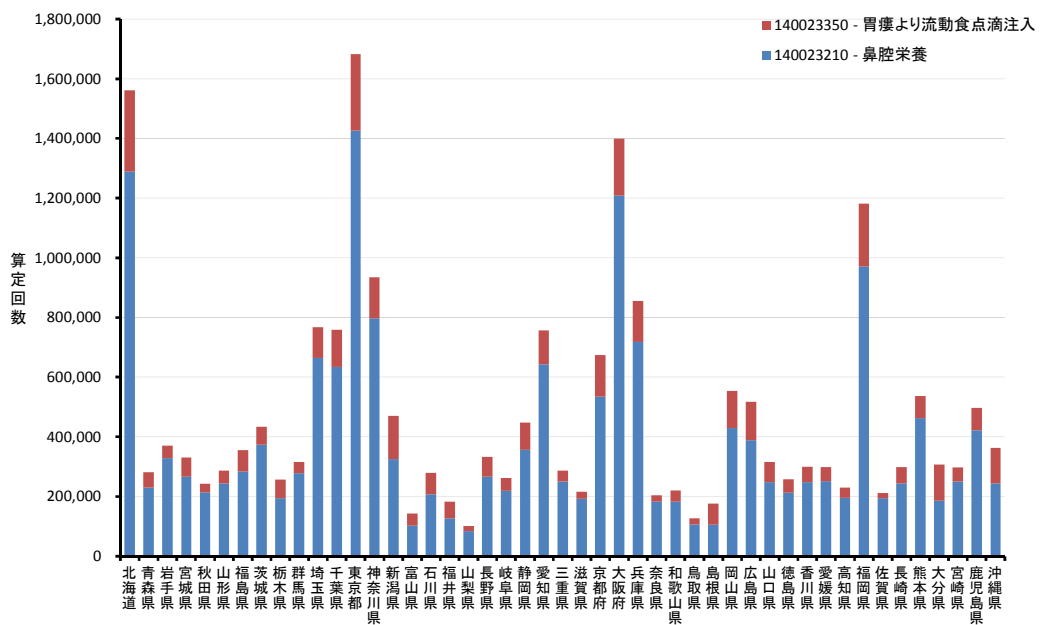
J018 喀痰吸引：痰の塊が気道に停滞し、吐き出すことが困難な患者に対して、チューブ及び吸引器を使用して痰を吸引する処置。

J024 酸素吸入



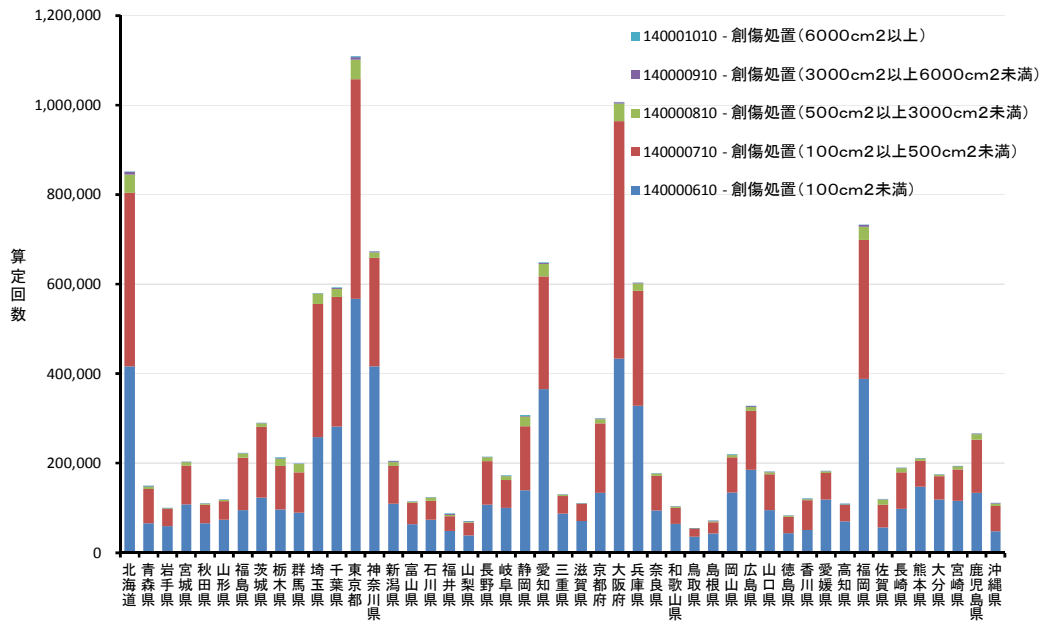
J024 酸素吸入：鼻カニューレ等を用いて、患者が酸素を吸入すること。

J120 鼻腔栄養



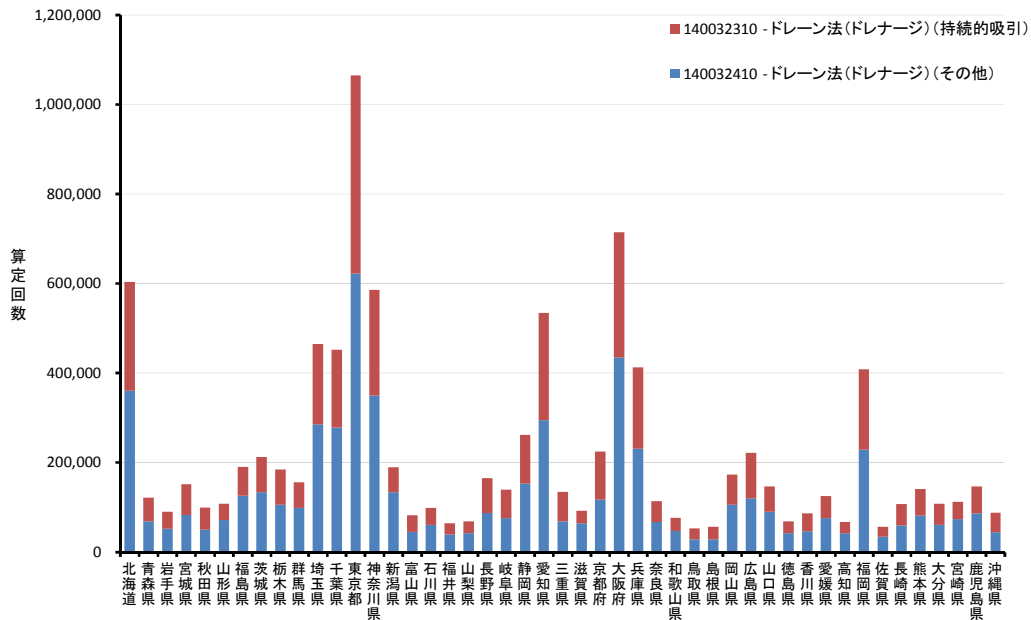
J120 鼻腔栄養：主に鼻腔よりチューブを挿入し、通常チューブ先端を胃内に固定し流動食を投与する処置。

J000 創傷処置



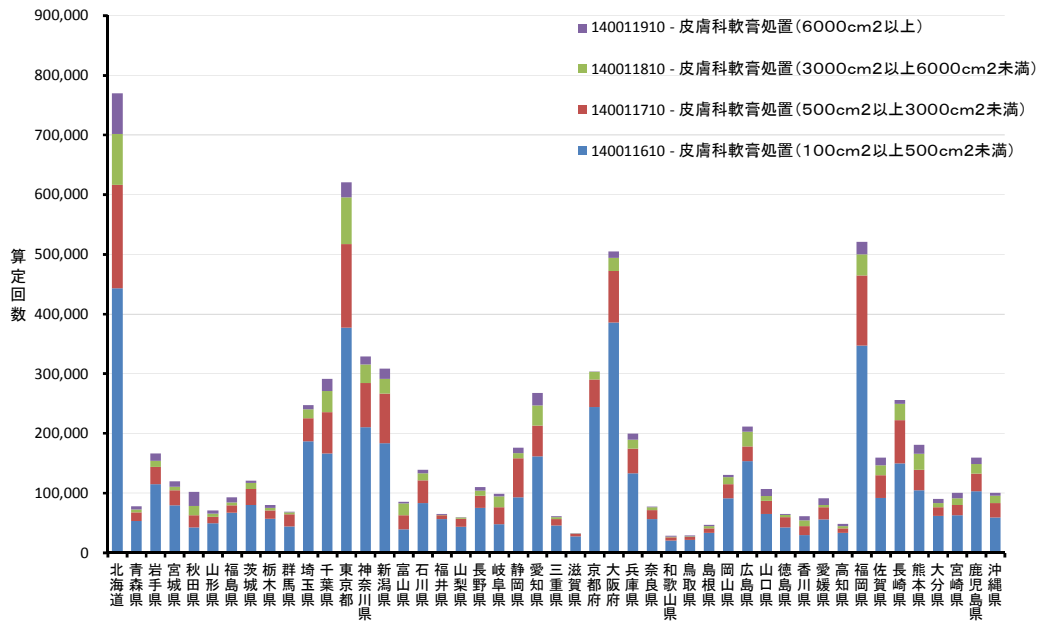
J000 創傷処置：傷に対して消毒やガーゼ交換等をする処置。

J002 ドレーン法(ドレナージ)



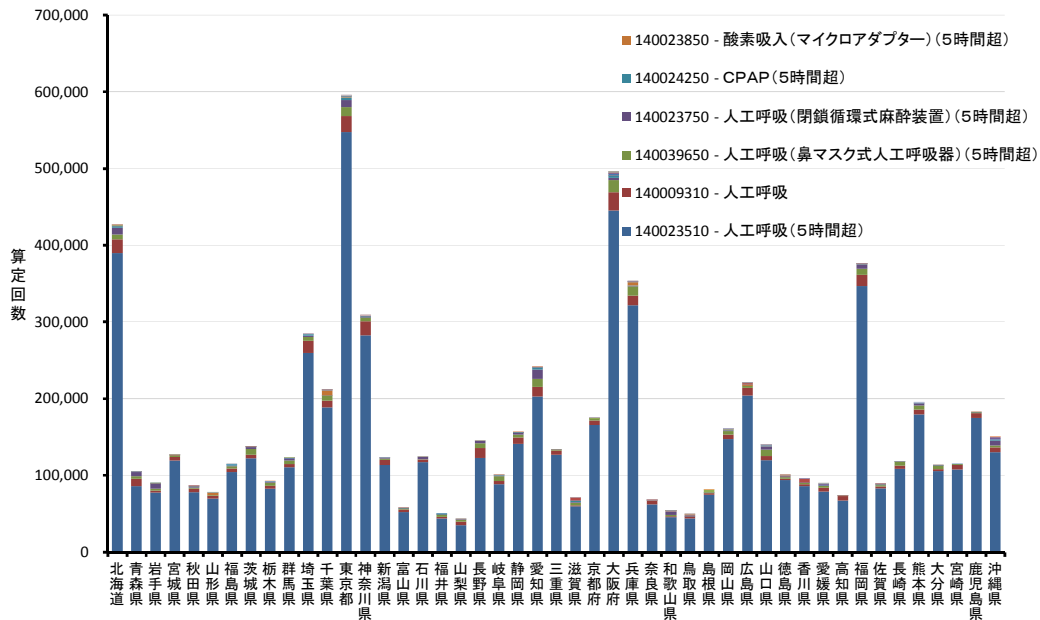
J002 ドレーン法(ドレナージ)：体の中に溜まった液や膿等を、チューブ等を挿入して排出する処置。

J053 皮膚科軟膏処置



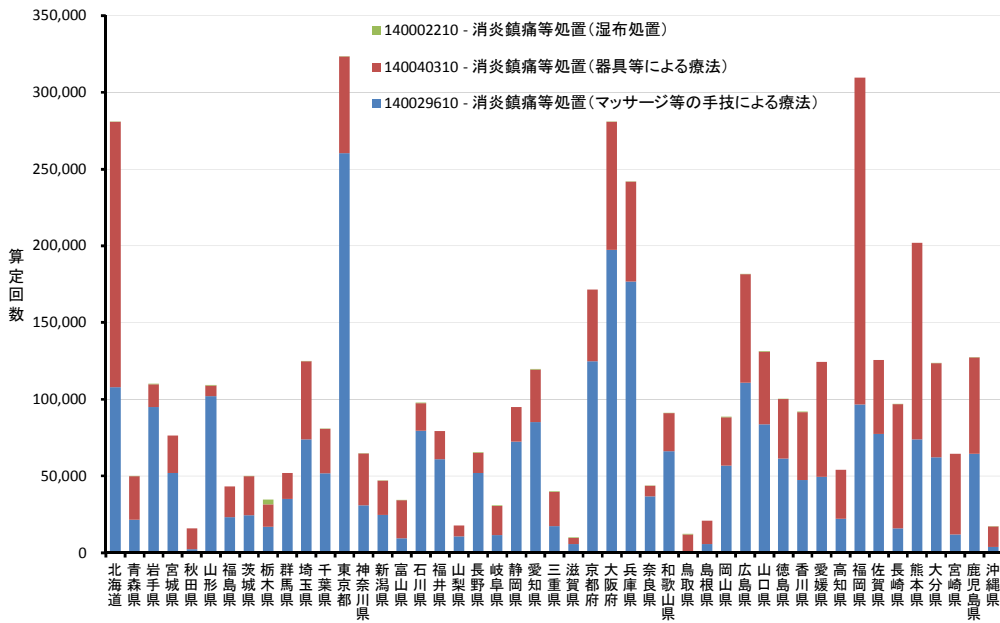
J053 皮膚科軟膏処置：皮膚の病気に対して軟膏を塗る処置。

J045 人工呼吸



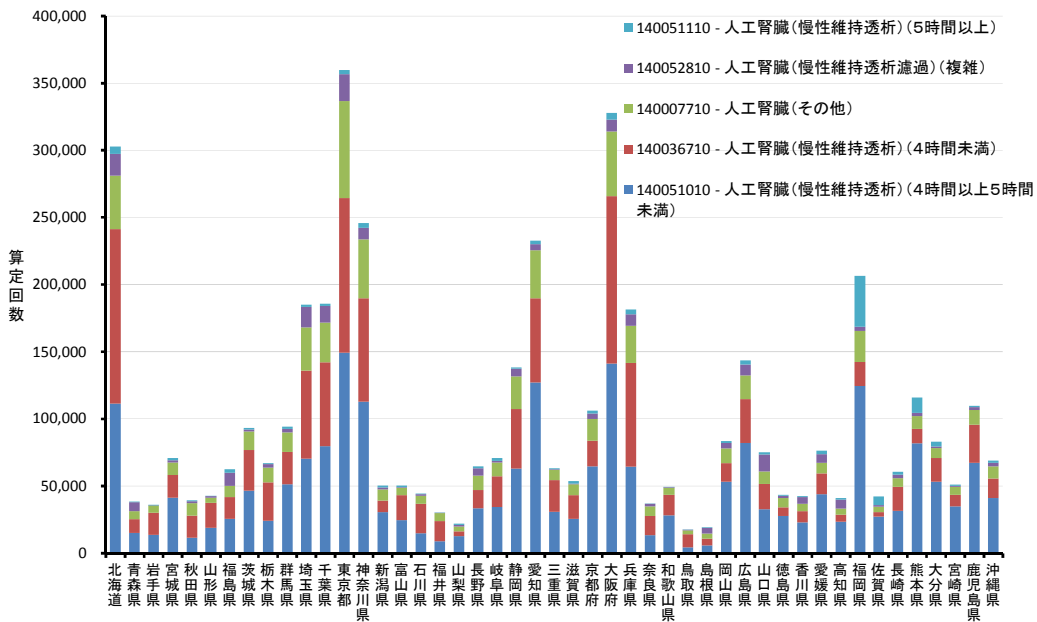
J045 人工呼吸：自発呼吸が不十分な人に対し、人工的に呼吸を補助する処置。

J119 消炎鎮痛等処置



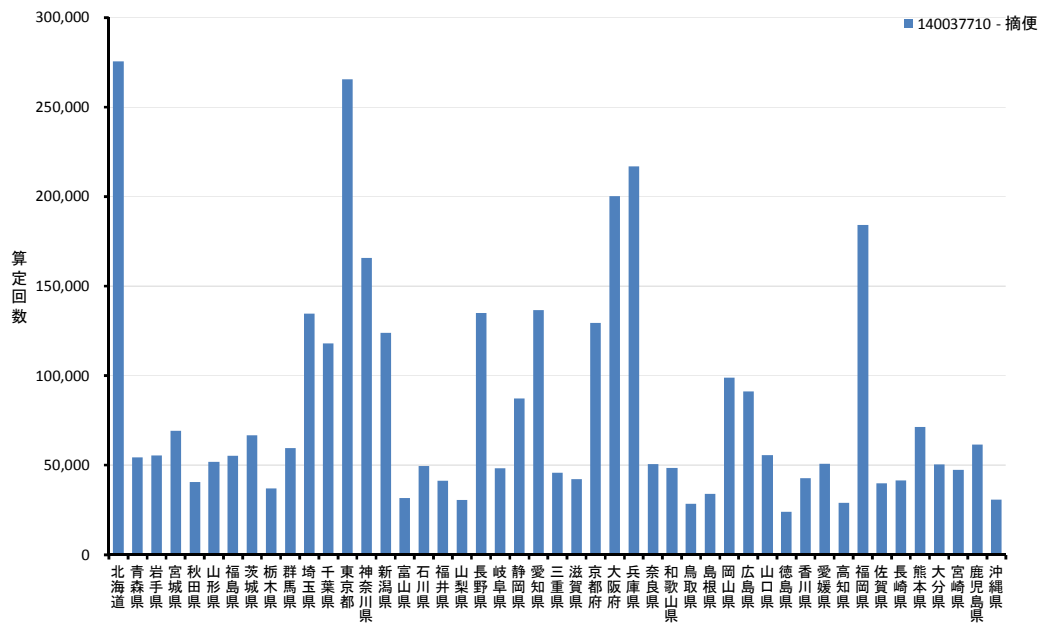
J119 消炎鎮痛等処置：炎症を抑え、痛みを和らげる処置。

J038 人工腎臓



J038 人工腎臓：血液透析など、機械を用いて血液を浄化する処置。

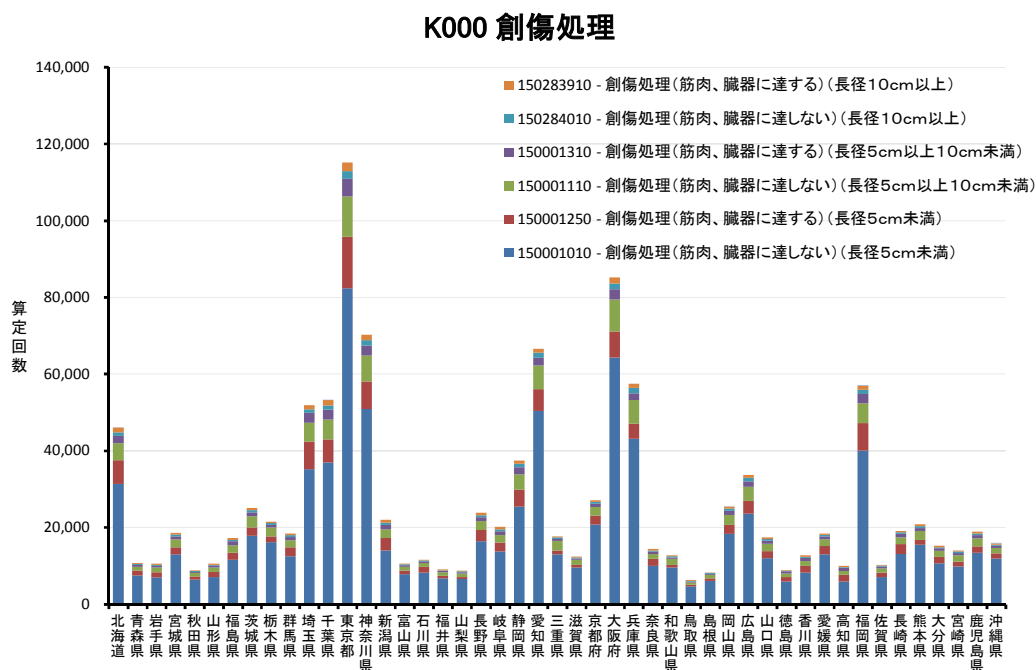
J022-2 摘便



J022-2 摘便：固く排出できなくなった便に対し、肛門から指を入れて摘出する処置。

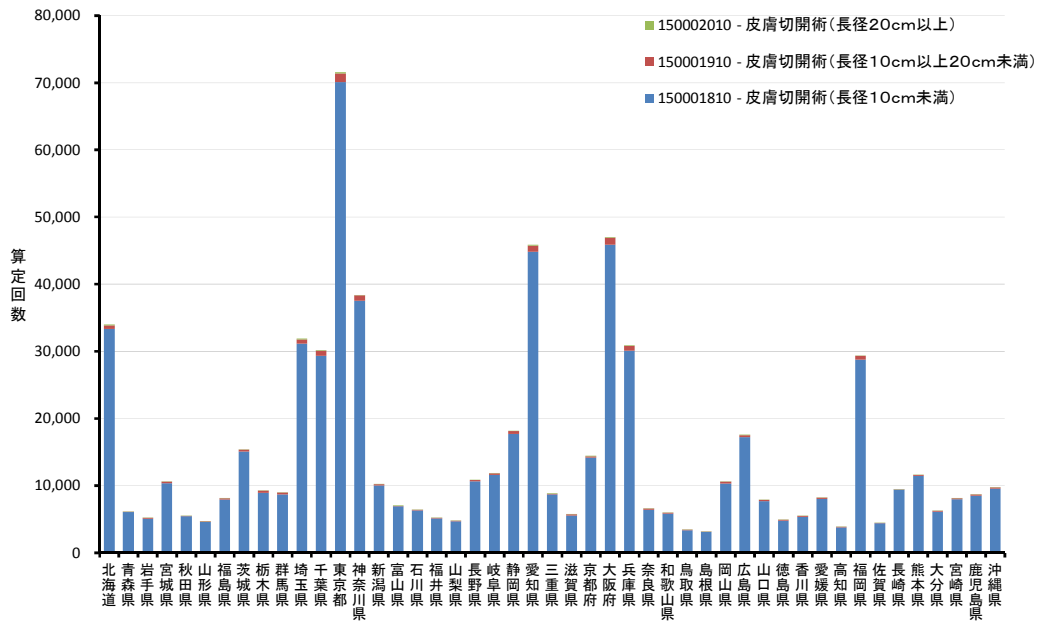
K 手術（皮膚・皮下組織）

【概要】皮膚・皮下組織の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



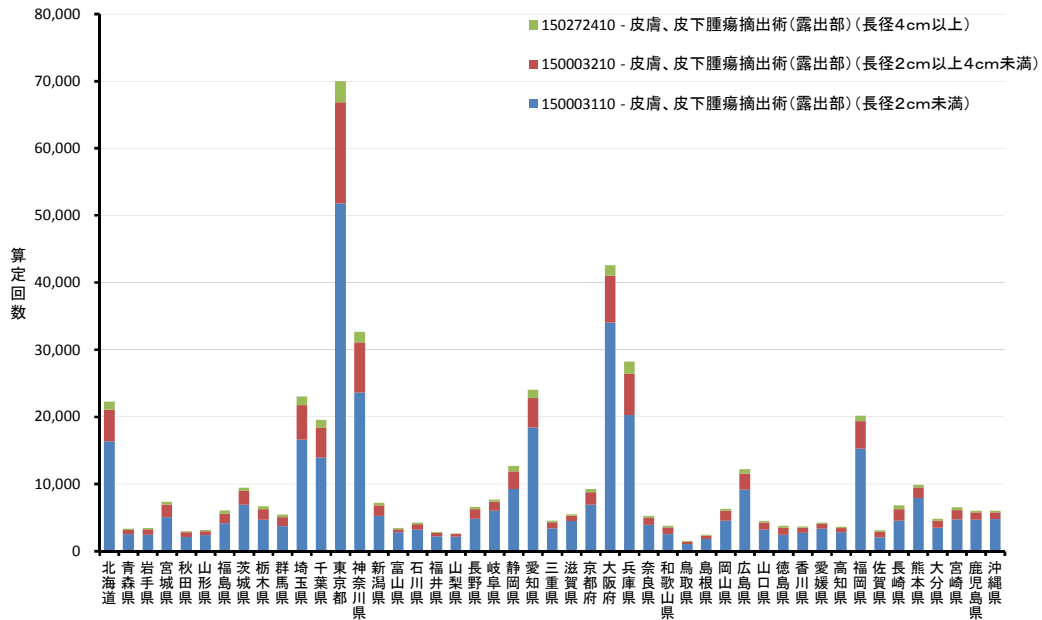
K000 創傷処理：切り傷、刺し傷などに対して、切除、縫合等を行うこと。

K001 皮膚切開術



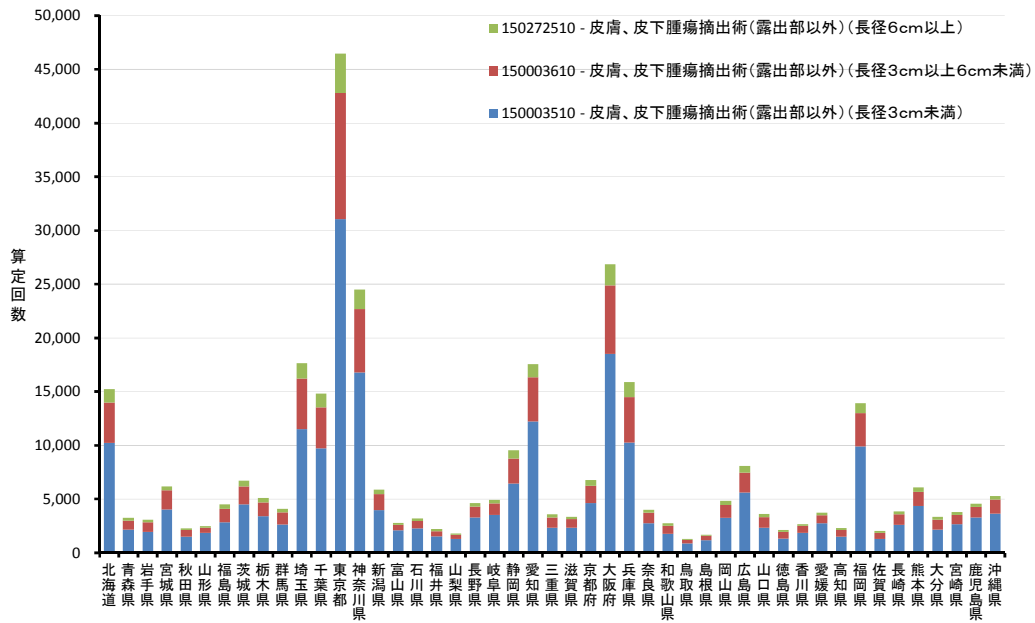
K001 皮膚切開術：皮膚を切って開き、異物や膿の排出などをする手術。

K005 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）



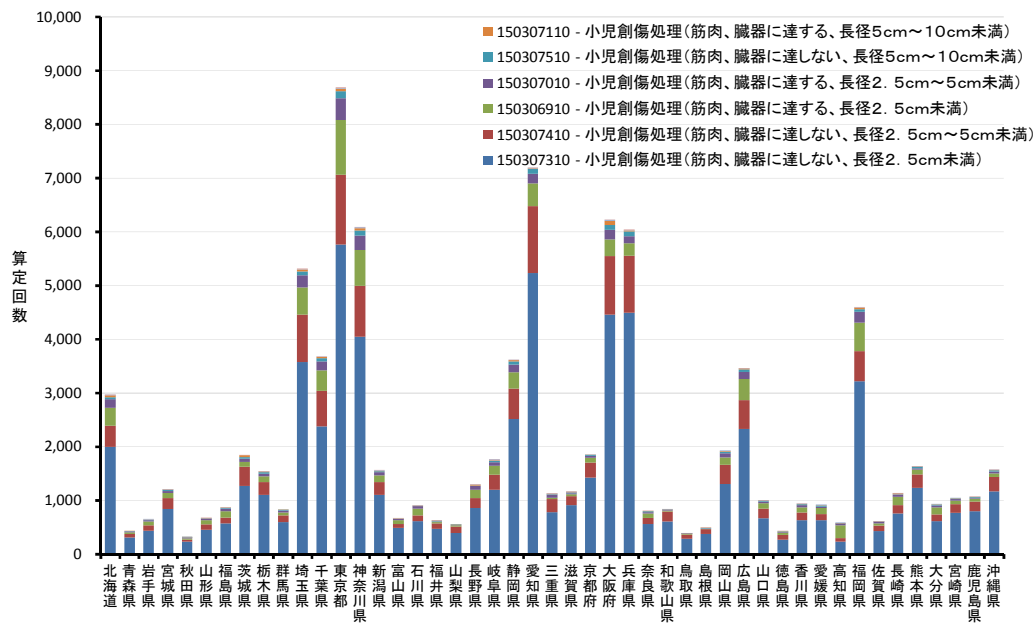
K005 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）：皮膚または皮下の腫瘍を摘出する手術（頭、首、肘以下、および膝以下）。

K006 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)



K006 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)：皮膚または皮下の腫瘍を摘出する手術(頭、首、肘以下、膝以下を除いた全身)。

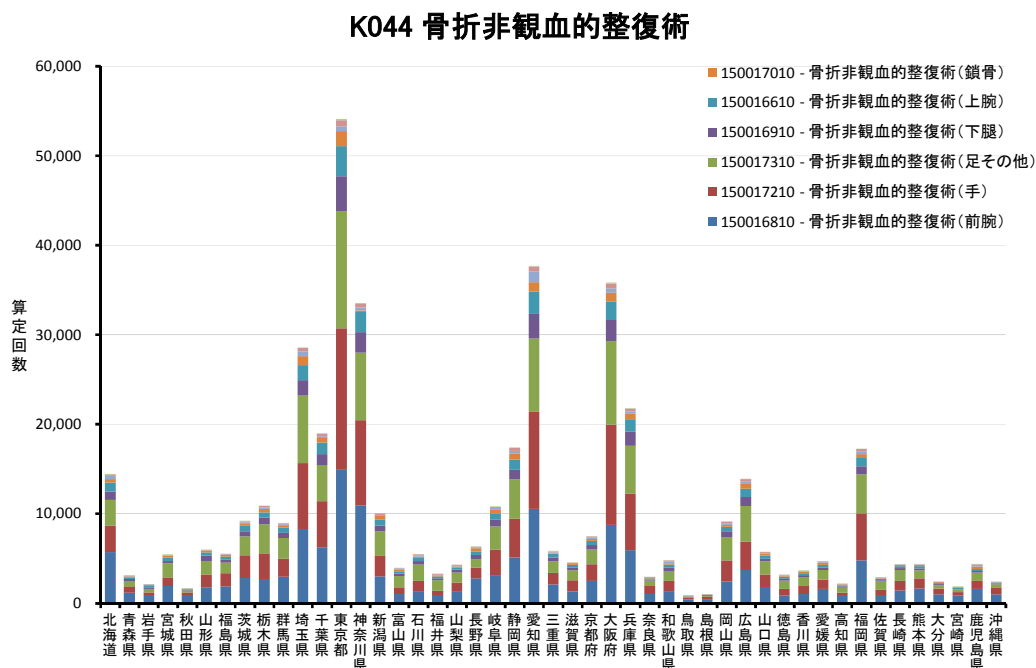
K000-2 小児創傷処理



K000-2 小児創傷処理：小児の切り傷、刺し傷などに対して、切除や縫合等を行うこと。

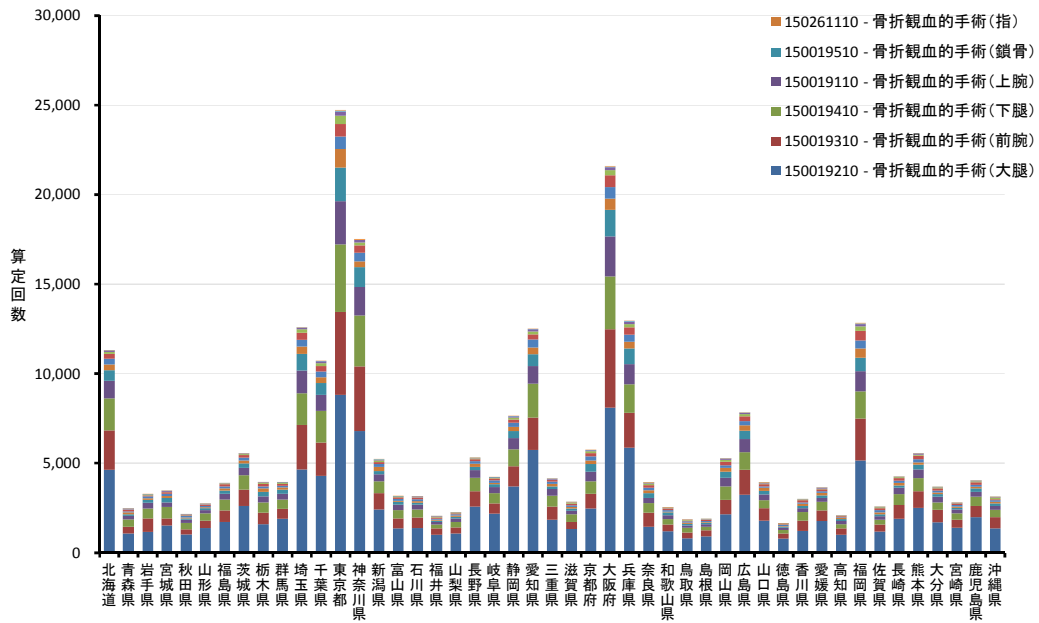
K 手術（筋骨格系・四肢・体幹）

【概要】筋骨格系・四肢・体幹の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



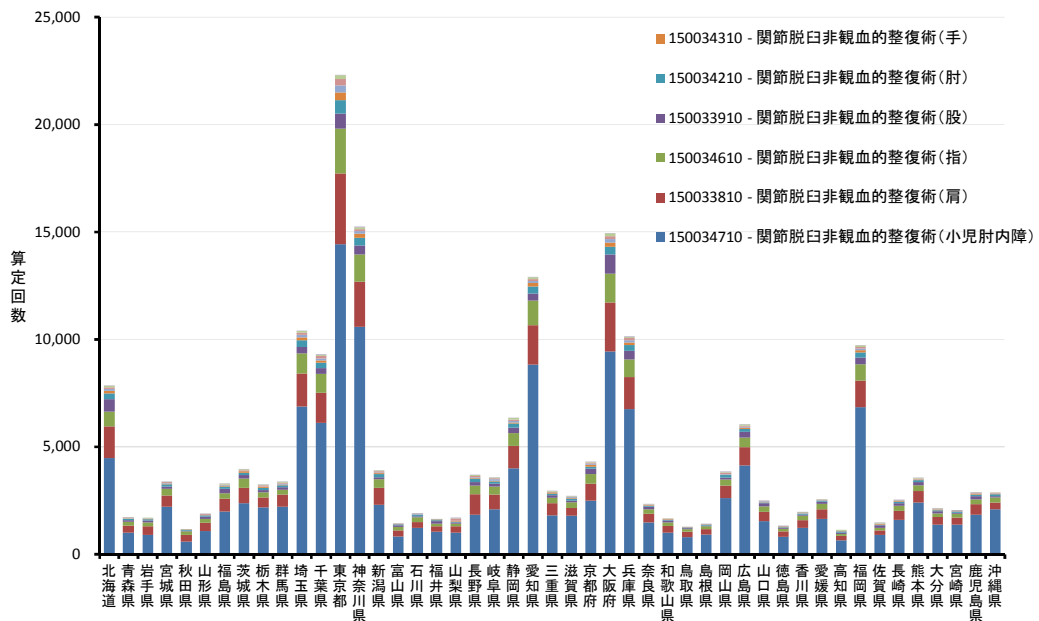
K044 骨折非観血的整復術：骨折に対して、出血を伴わない方法で皮膚の上から手などを用いて元に戻し、ギプス等で固定すること。

K046 骨折観血の手術



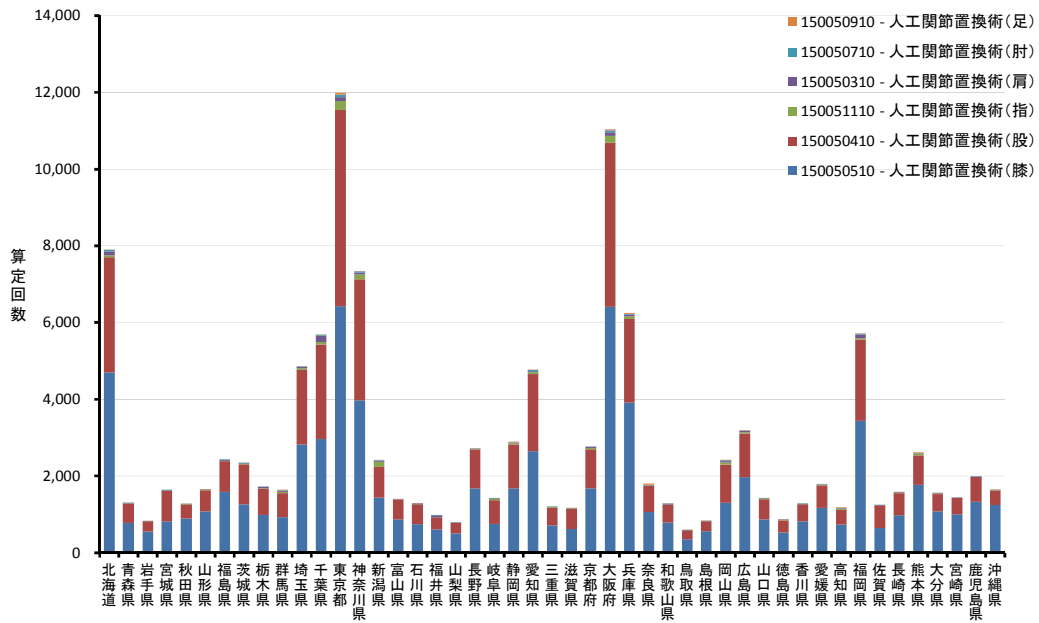
K046 骨折観血の手術：骨折に対して、皮膚切開をして骨折部分をネジやプレート等を用い直接固定する手術。

K061 関節脱臼非観血の整復術



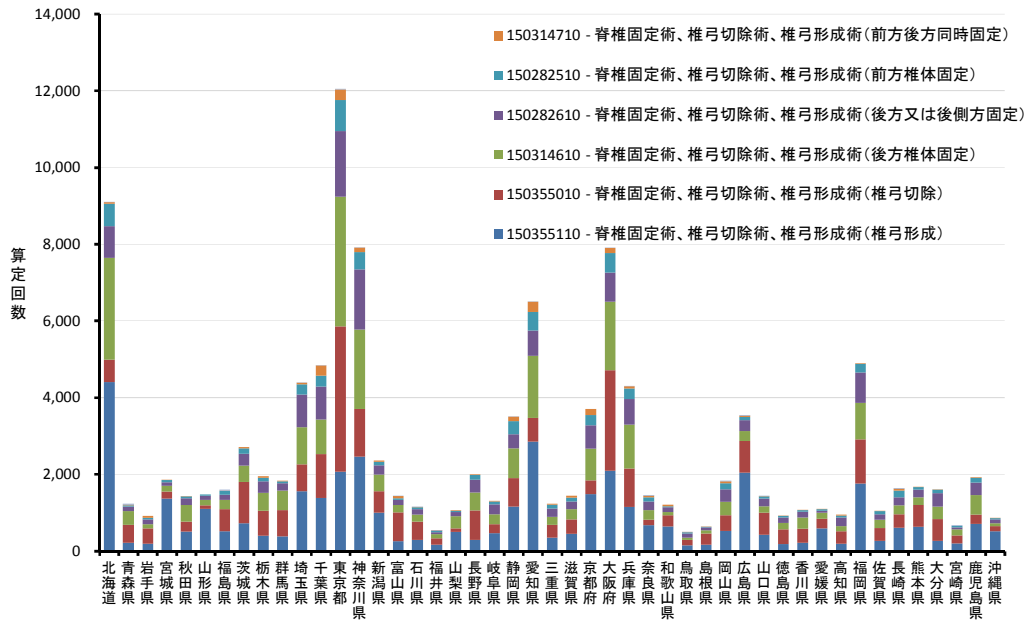
K061 関節脱臼非観血の整復術：脱臼に対して、出血を伴わない方法で、手などを用いて元に戻すこと。

K082 人工関節置換術



K082 人工関節置換術：外傷等で損傷した関節を、人工関節に取り替える手術。

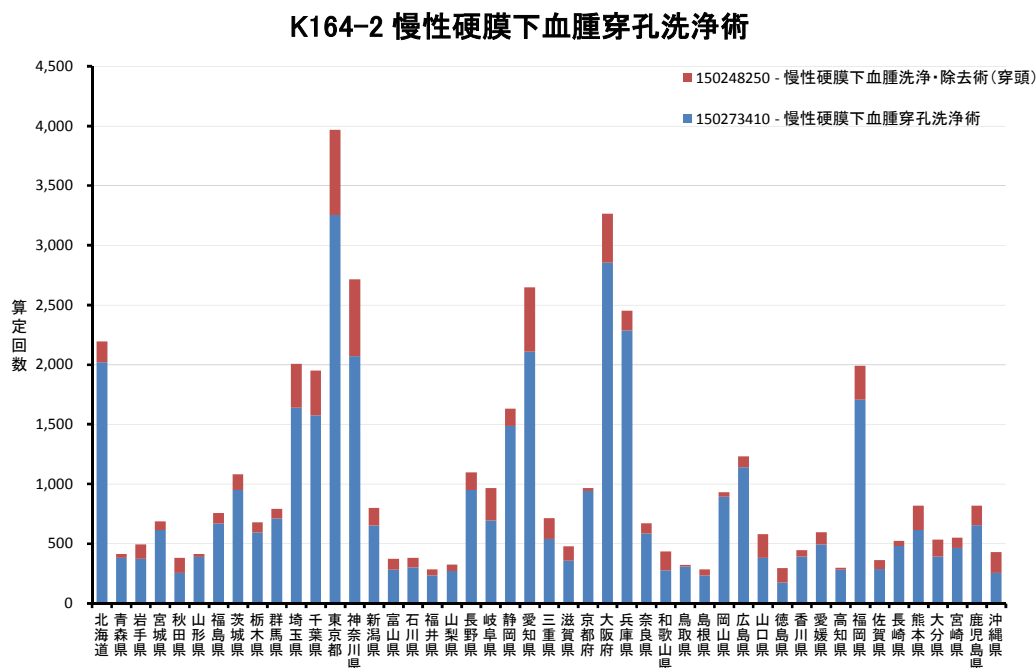
K142 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術



K142 脊椎固定術：骨の移植や器具の埋め込み等によって脊椎間を固定する手術。椎弓切除術・椎弓形成術：脊椎の後方にある環状の骨を切除、形成する手術。

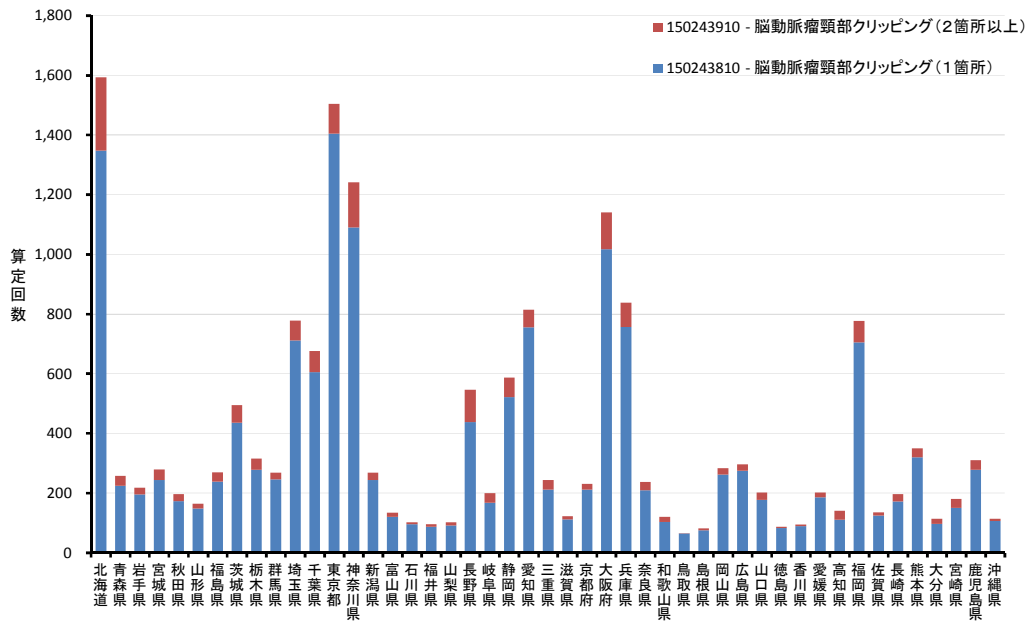
K 手術（神経系・頭蓋）

【概要】神経系・頭蓋の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



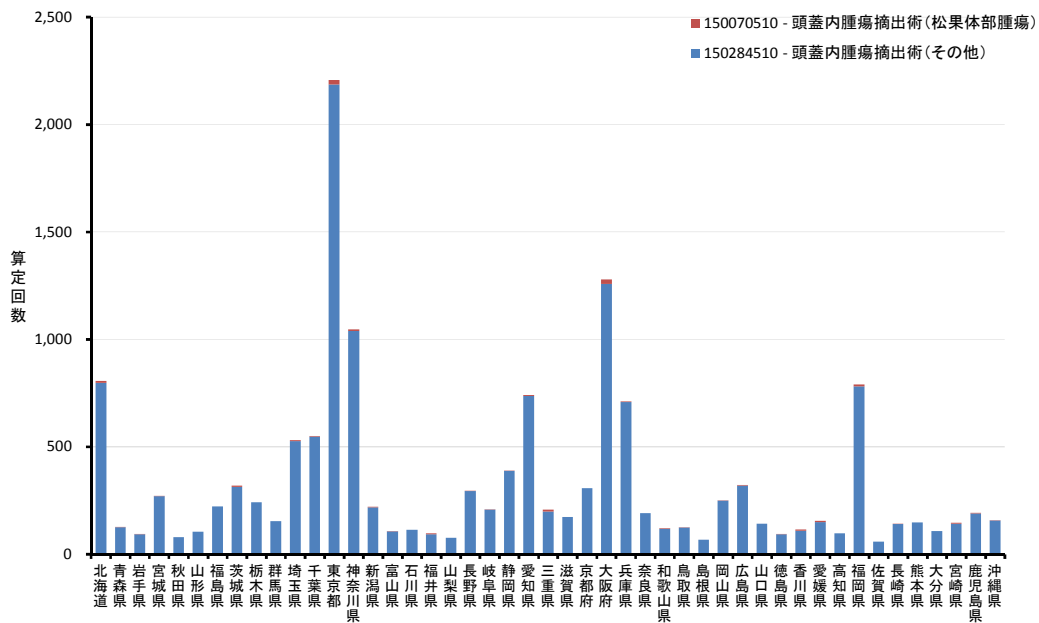
K164-2 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術：脳を覆っている硬膜と脳の間にとまった血の塊を、頭蓋骨に穴を開け、排出し洗浄する手術。

K177 脳動脈瘤頸部クリッピング



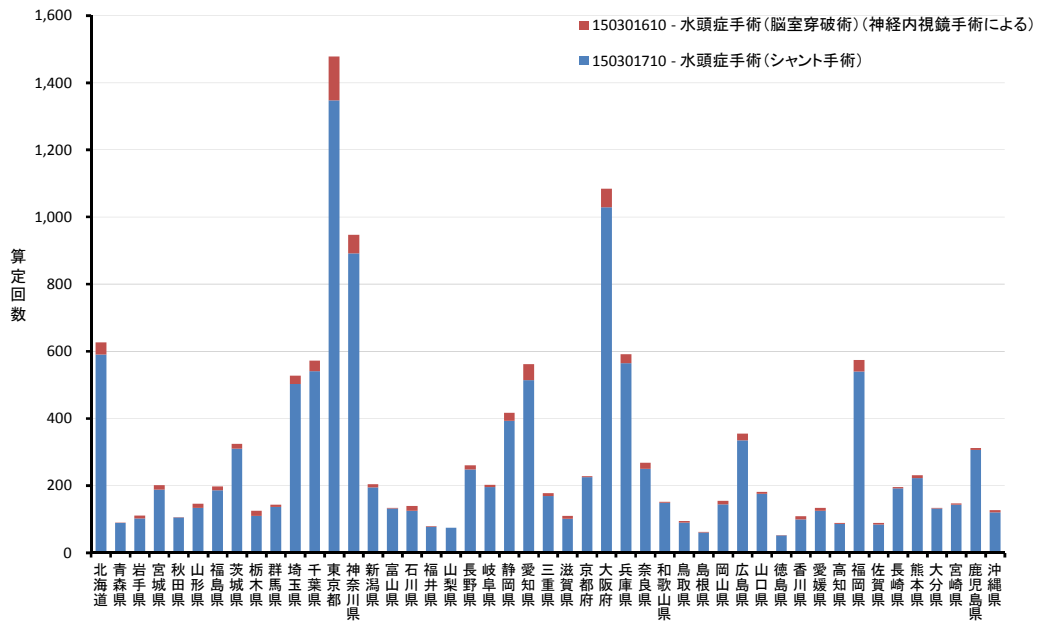
K177 脳動脈瘤頸部クリッピング：脳動脈瘤に対し、クリップを用い動脈瘤内への血流を遮断することで破裂を予防する手術。

K169 頭蓋内腫瘍摘出術



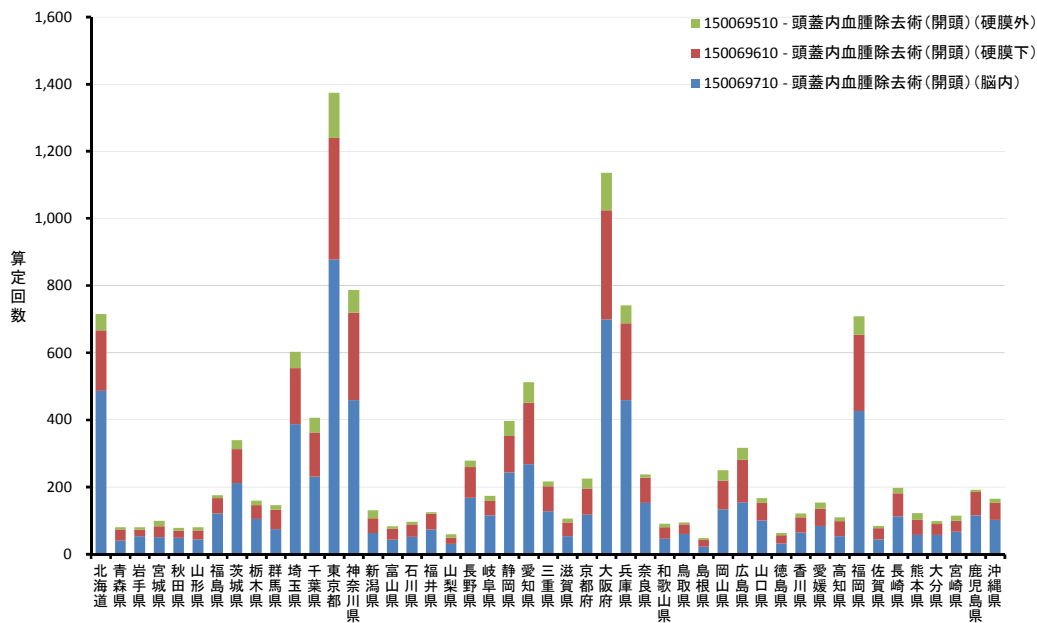
K169 頭蓋内腫瘍摘出術：頭蓋内の腫瘍を摘出する手術。

K174 水頭症手術



K174 水頭症手術：脳室およびクモ膜下腔を満たす髄液の過剰貯留に対し、チューブを用いて髄液を腹腔や心房に排出させる手術。

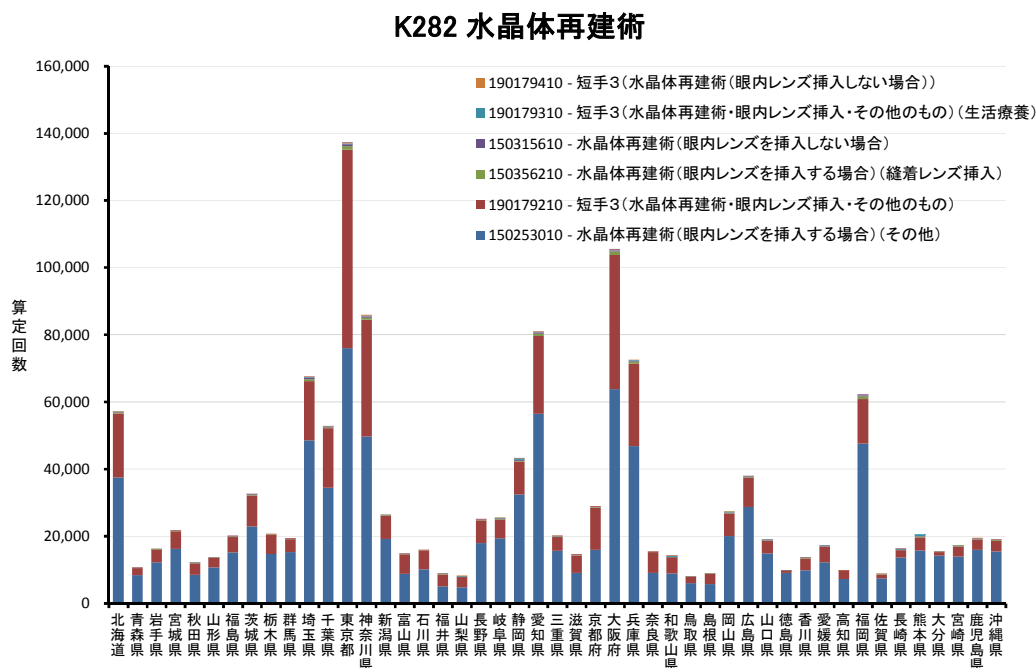
K164 頭蓋内血腫除去術(開頭)



K164 頭蓋内血腫除去術(開頭)：頭蓋内にできた血の塊を、開頭し除去する手術。

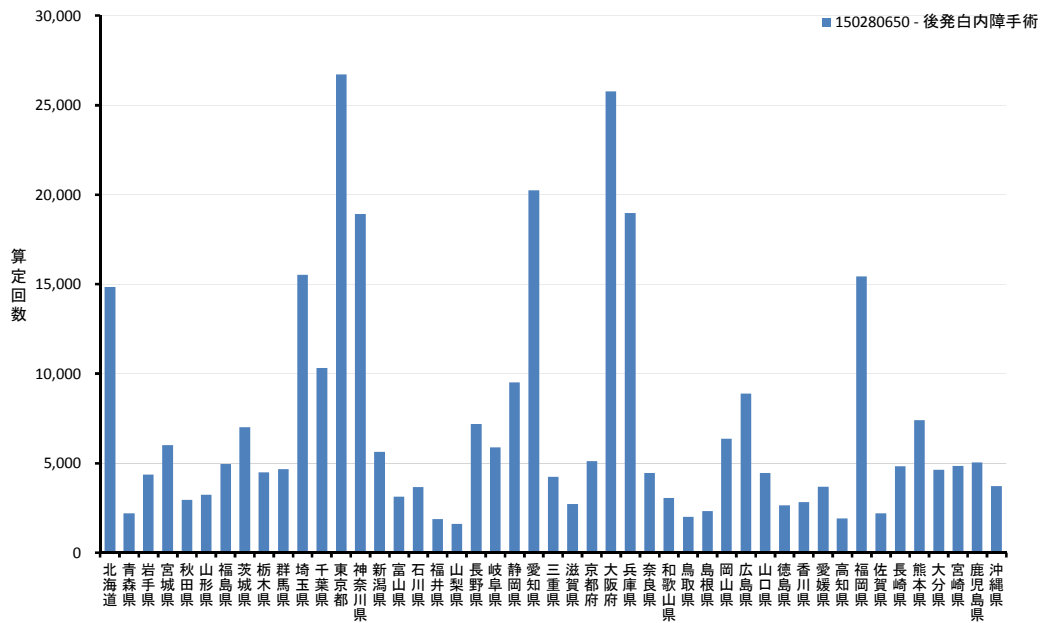
K 手術（眼）

【概要】眼の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



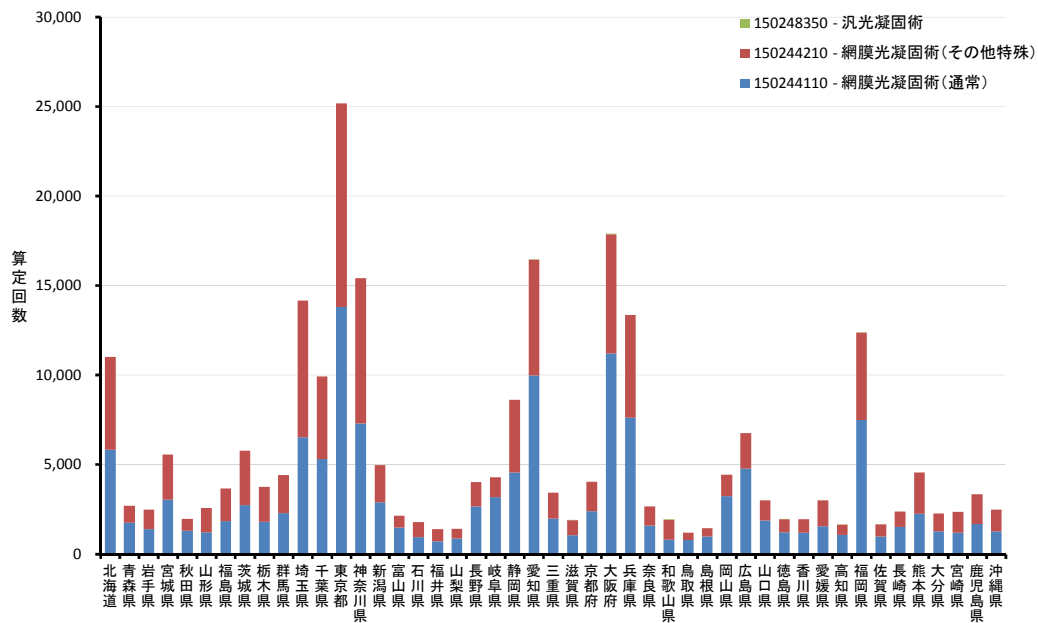
K282 水晶体再建術：目のレンズである水晶体の濁った部分や全部を取り除き、人工の眼内レンズを入れるなどして再建する手術。

K282-2 後発白内障手術



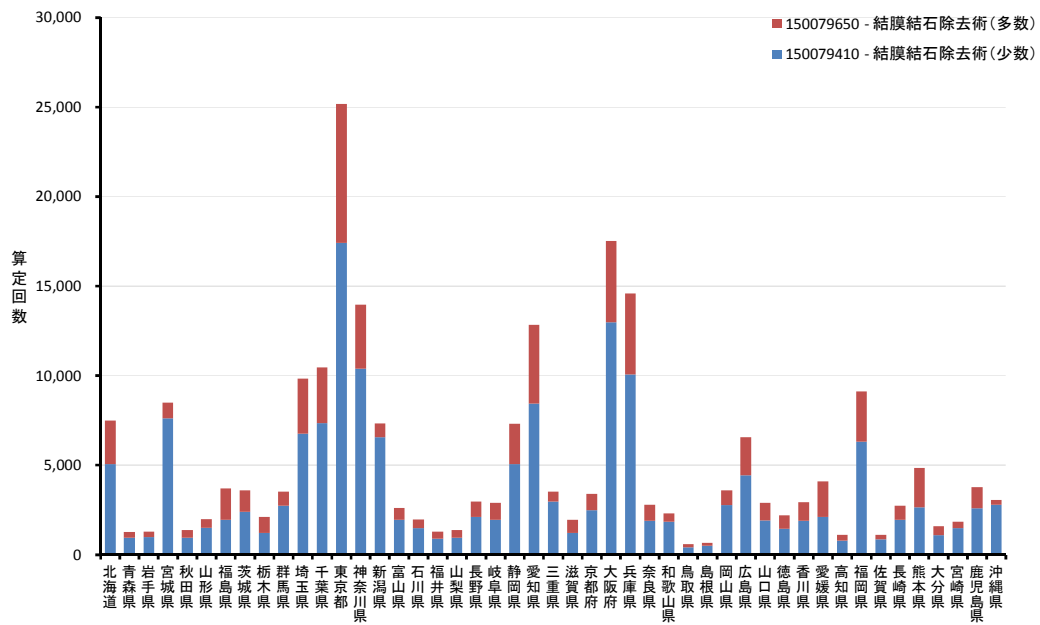
K282-2 後発白内障手術：白内障の術後に濁ってしまった水晶体の袋に対して、レーザー切開をする手術。

K276 網膜光凝固術



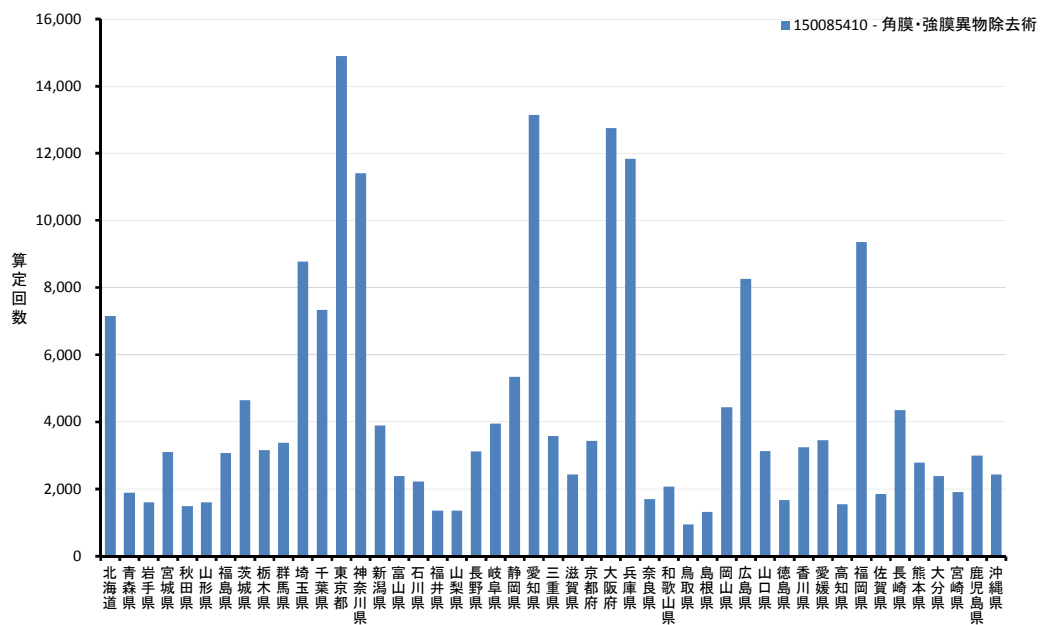
K276 網膜光凝固術：糖尿病性の網膜症等の網膜の病気に対し、レーザー光線を照射して病気の進行を抑える治療。

K221 結膜結石除去術



K221 結膜結石除去術：目の結膜にできた結石を除去する手術。

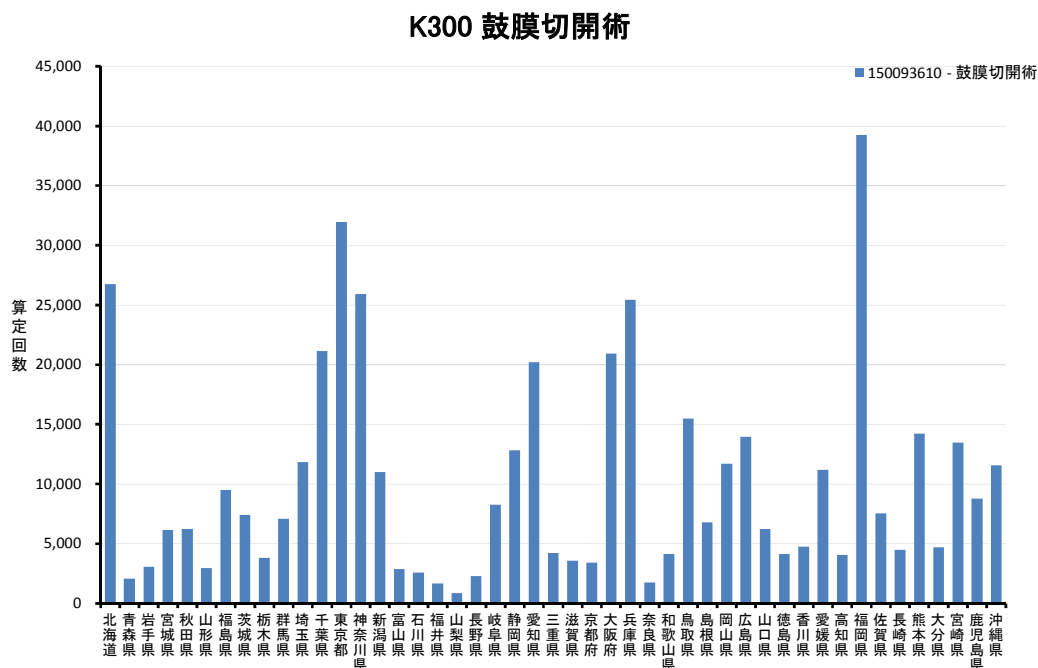
K252 角膜・強膜異物除去術



K252 角膜・強膜異物除去術：目の角膜や強膜部分の異物を除去する治療。

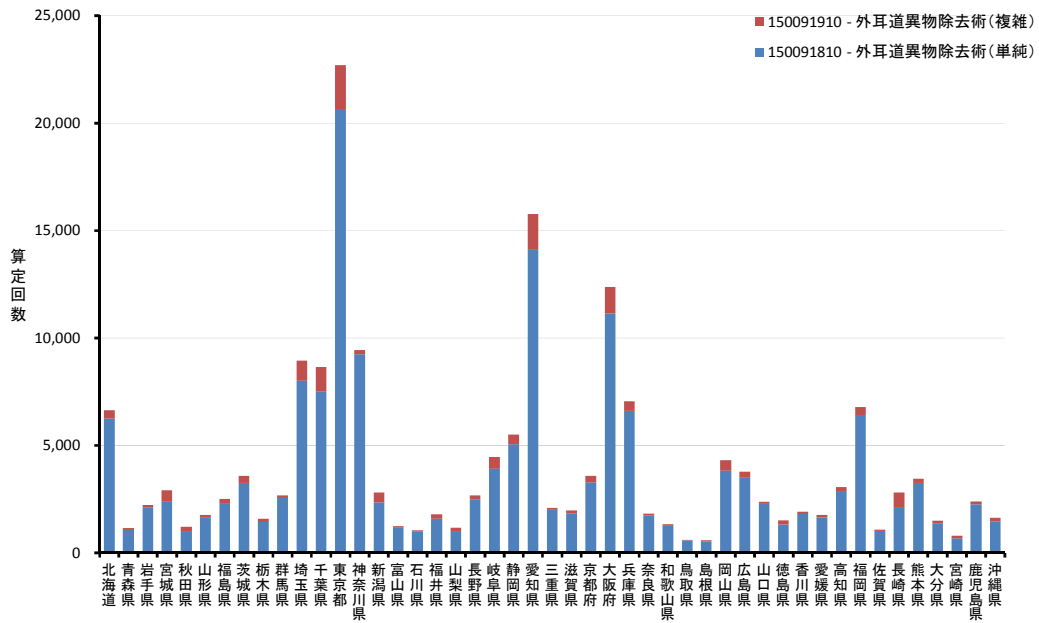
K 手術（耳鼻咽喉）

【概要】耳鼻咽喉の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



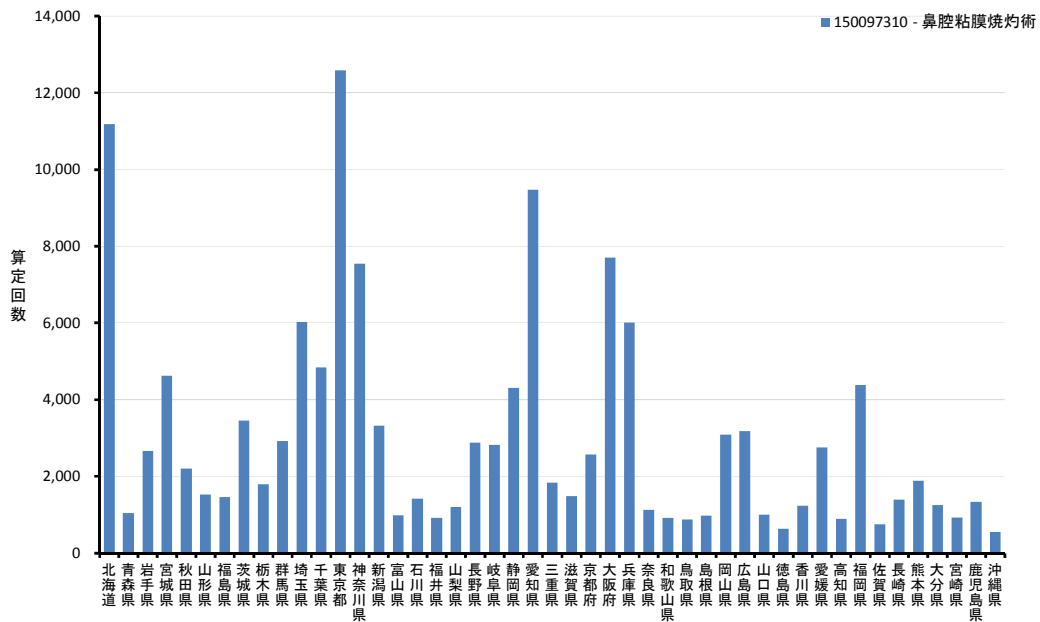
K300 鼓膜切開術：中耳炎等に対して鼓膜の切開を行い、膿や滲出液を排出する治療。

K286 外耳道異物除去術



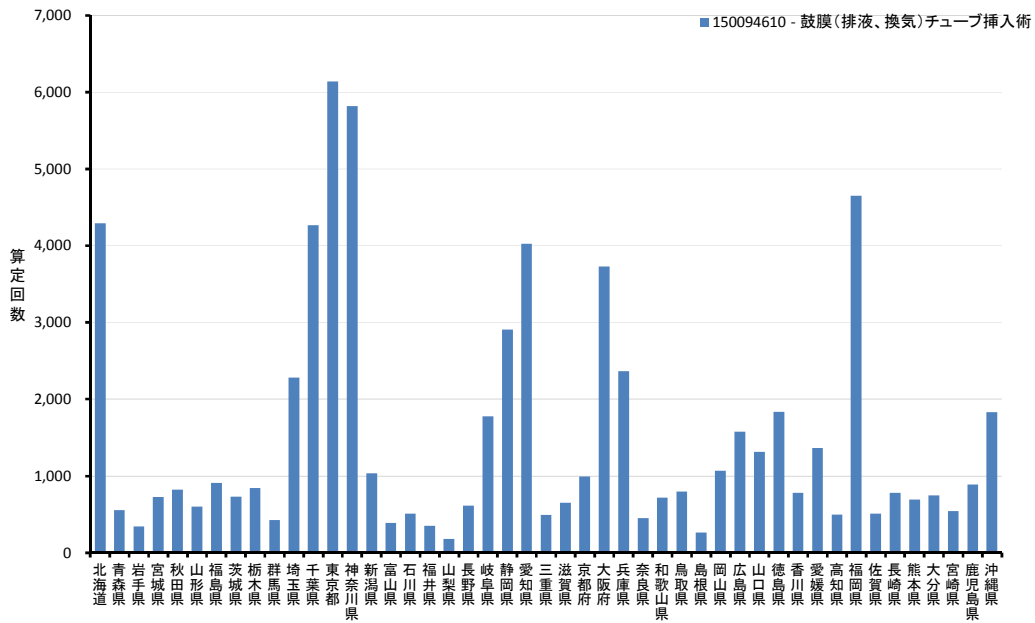
K286 外耳道異物除去術：外耳道に入った異物を取り除く治療。

K331 鼻腔粘膜焼灼術



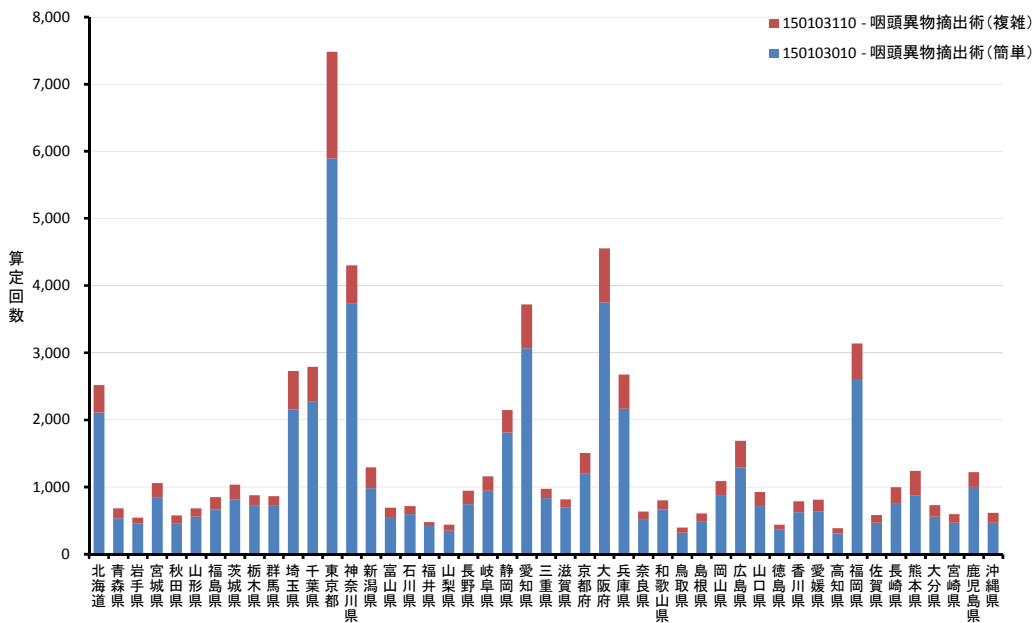
K331 鼻腔粘膜焼灼術：アレルギー性鼻炎等に対して、鼻腔の粘膜をレーザーで焼く治療。

K309 鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術



K309 鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術：中耳炎等に対して鼓膜切開後に鼓膜チューブを留置し、排液または換気を行う手術。

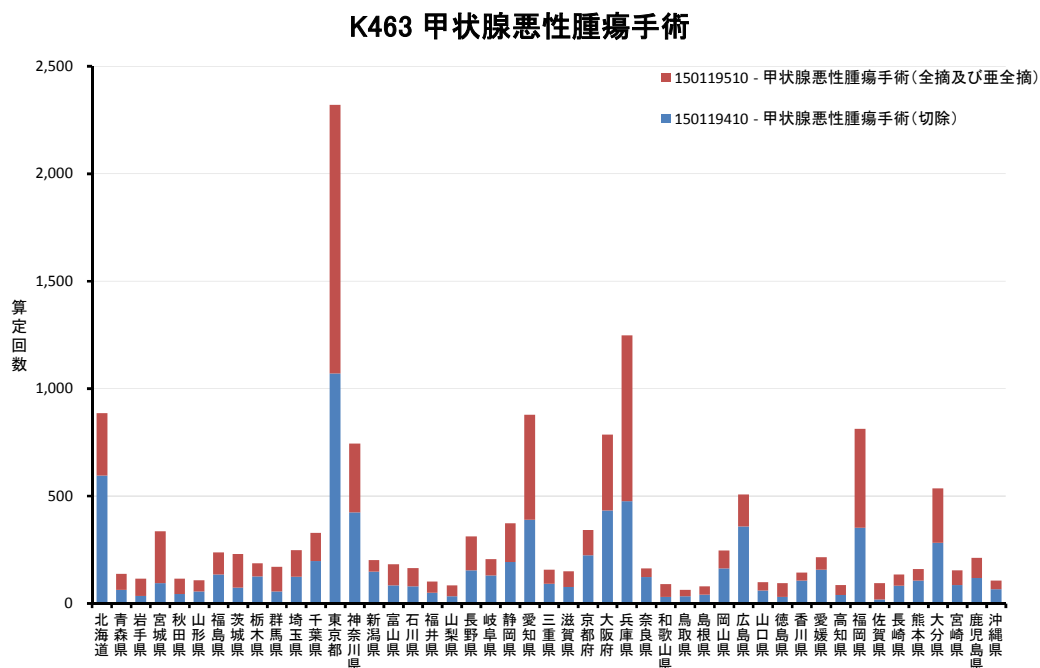
K369 咽頭異物摘出術



K369 咽頭異物摘出術：のどの奥(咽頭)にある異物を除去する手術。

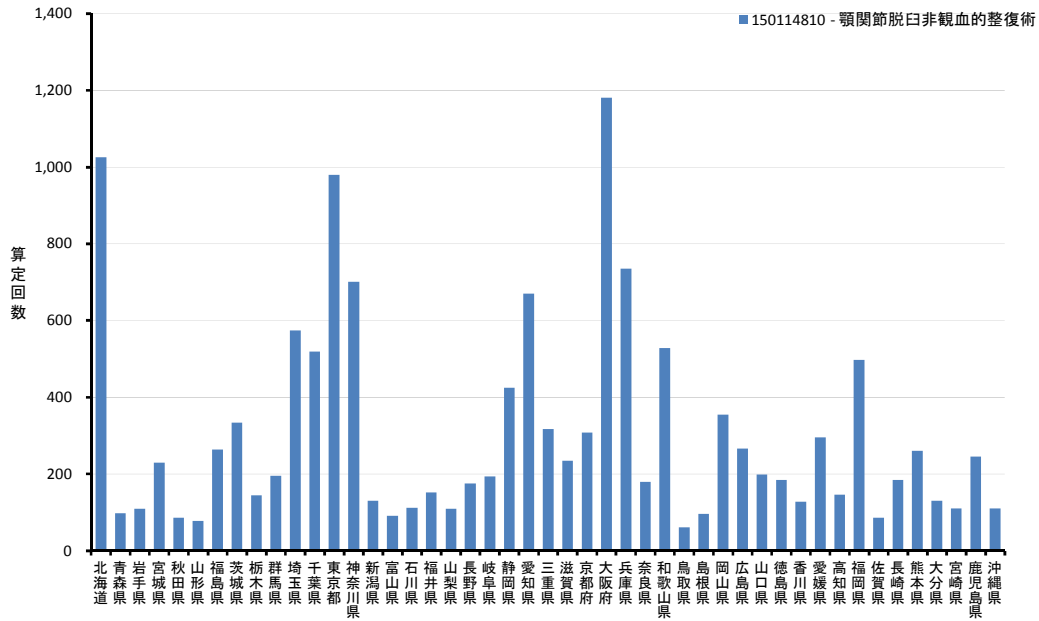
K 手術（顔面・口腔・頸部）

【概要】顔面・口腔・頸部の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



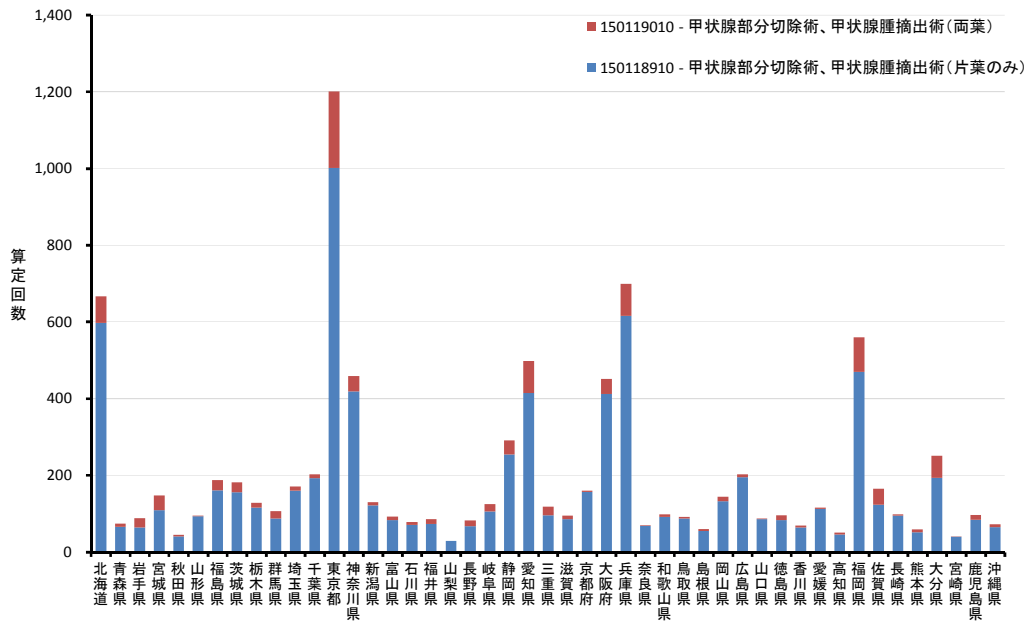
K463 甲状腺悪性腫瘍手術：悪性の甲状腺腫瘍に対して、一部切除、大部分の切除、または全摘出を行う手術。

K430 顎関節脱臼非観血的整復術



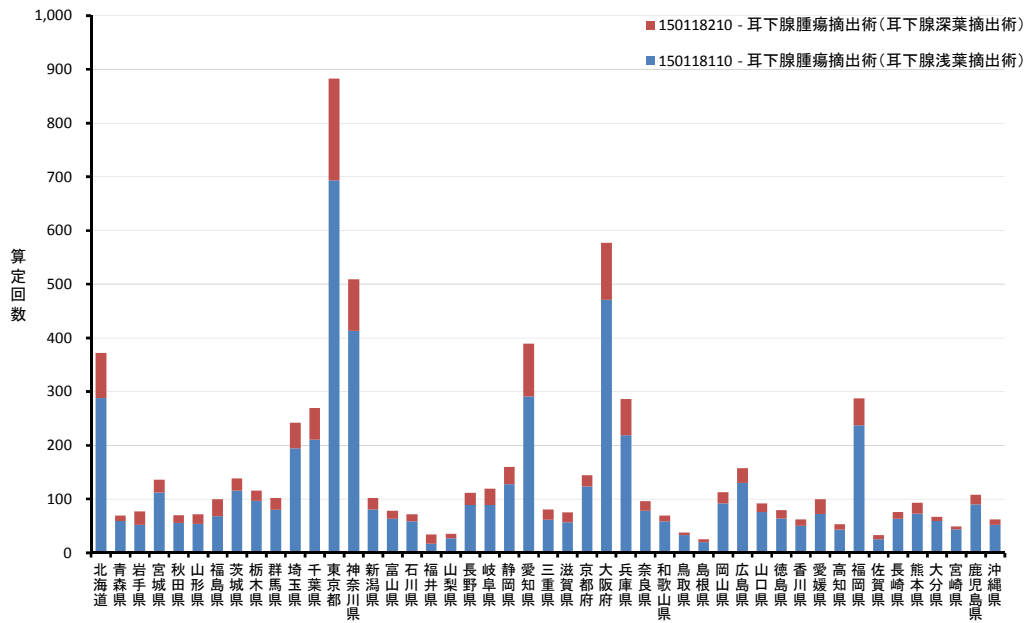
K430 顎関節脱臼非観血的整復術：顎の関節の脱臼に対して、メスを使わず、手などを用いて元に戻す治療。

K461 甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術



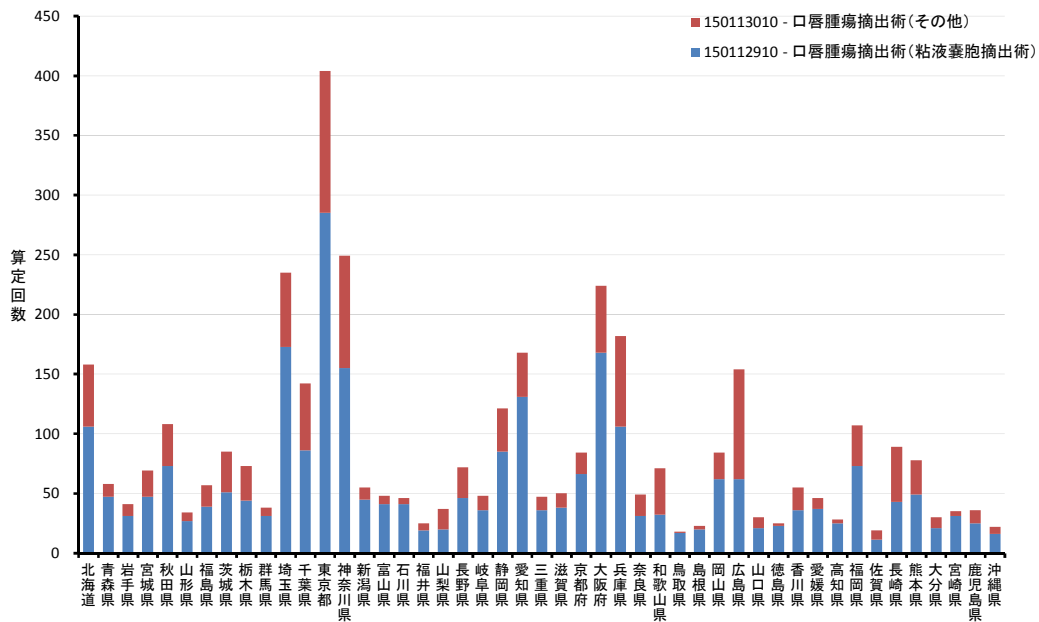
K461 甲状腺部分切除術：甲状腺を部分的に切除する手術。甲状腺腫摘出術：甲状腺にできた腫瘍を摘出する手術。

K457 耳下腺腫瘍摘出術



K457 耳下腺腫瘍摘出術：耳下腺にできた腫瘍を摘出する手術。

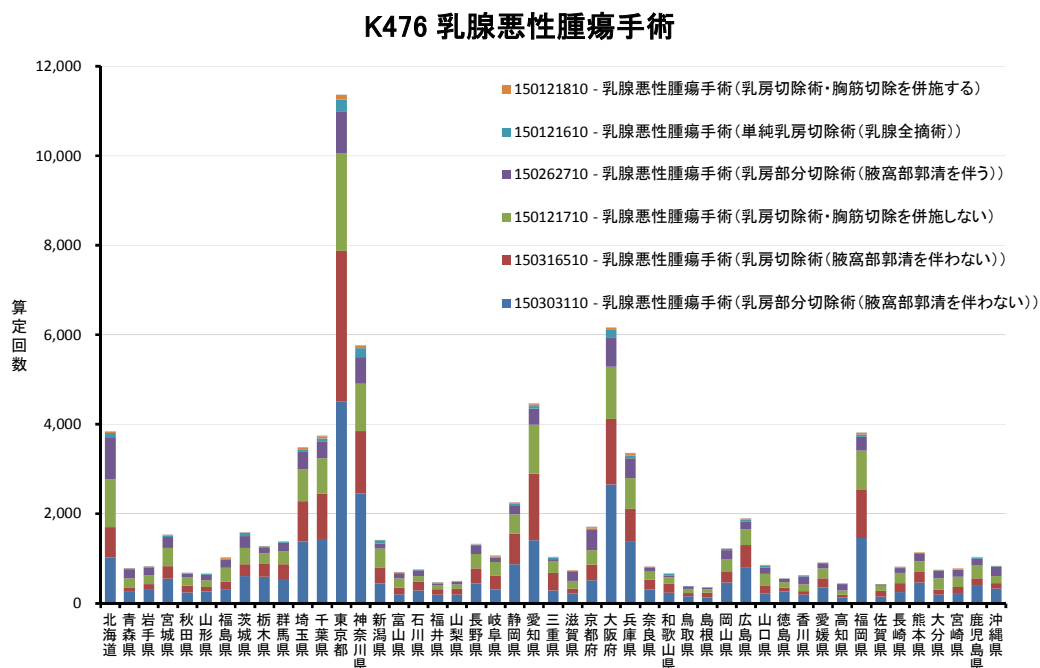
K421 口唇腫瘍摘出術



K421 口唇腫瘍摘出術：唇にできた腫瘍を摘出する手術。

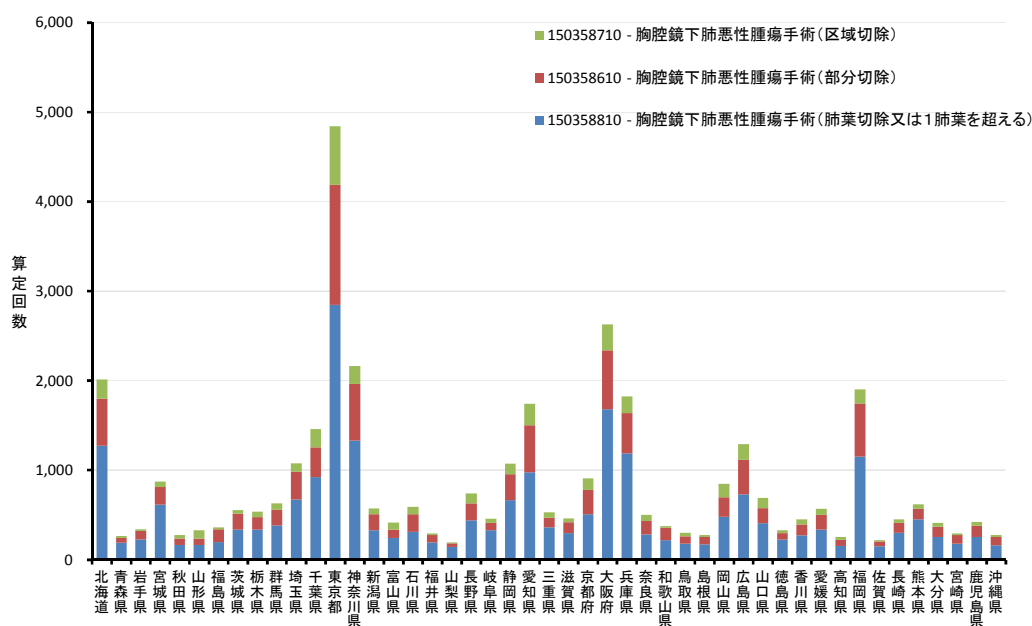
K 手術（胸部）

【概要】胸部の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



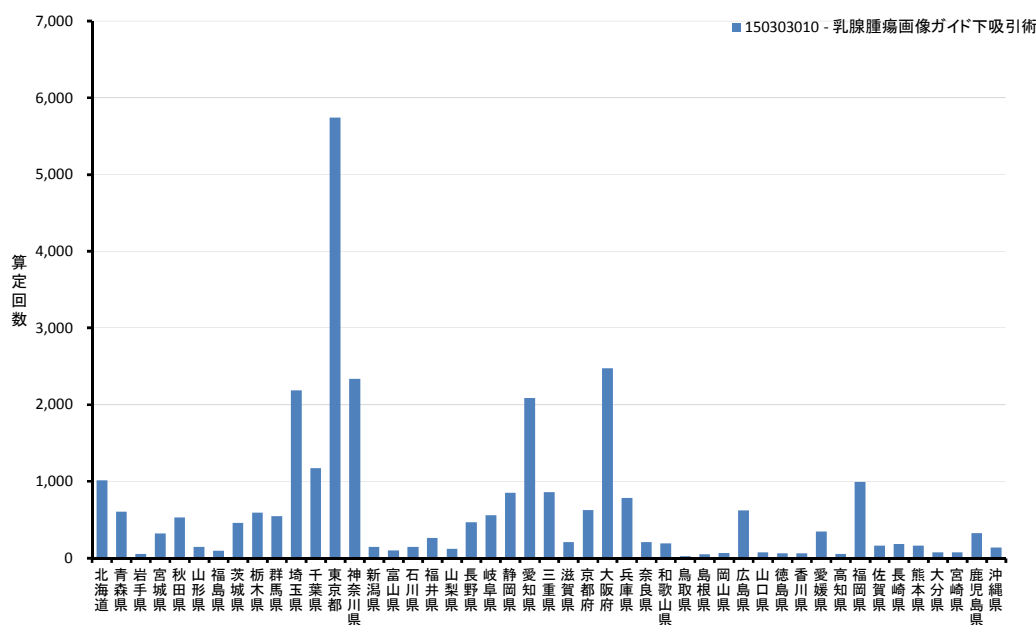
K476 乳腺悪性腫瘍手術：悪性の乳腺の腫瘍に対して、乳房の切除等を行う手術。

K514-2 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術



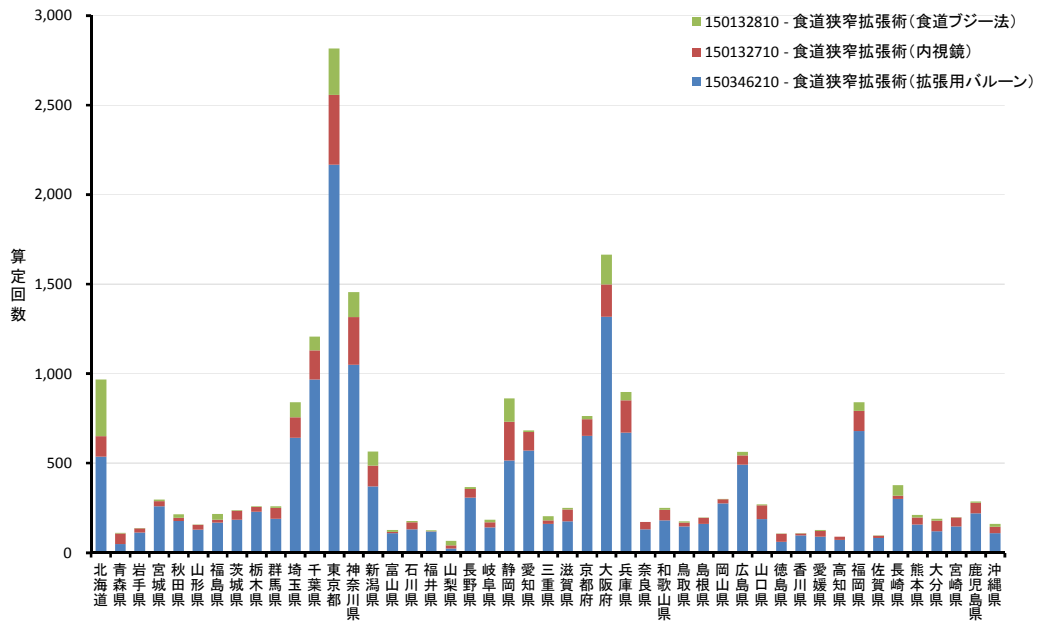
K514-2 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術：胸腔鏡を用いて肺の悪性腫瘍を取り除く手術。

K474-3 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術



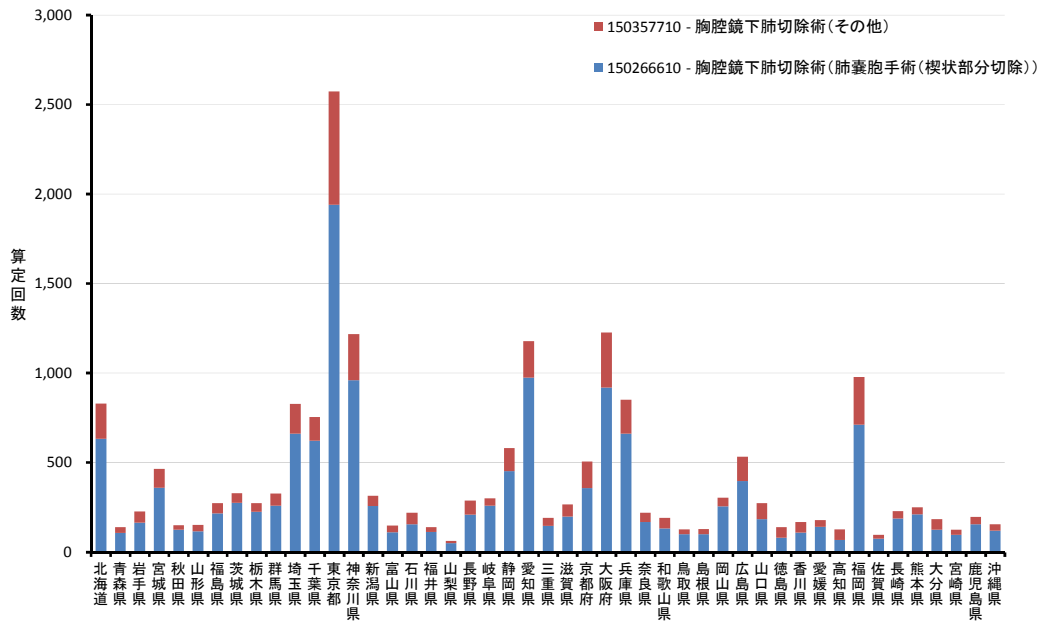
K474-3 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術：乳腺の腫瘍に対して、超音波等を用いながら、吸引圧をかけた針で腫瘍の組織を集める検査や手術。

K522 食道狭窄拡張術



K522 食道狭窄拡張術：狭くなった食道を、バルーン、拡張用の管、またはステントを用いて拡張する治療。

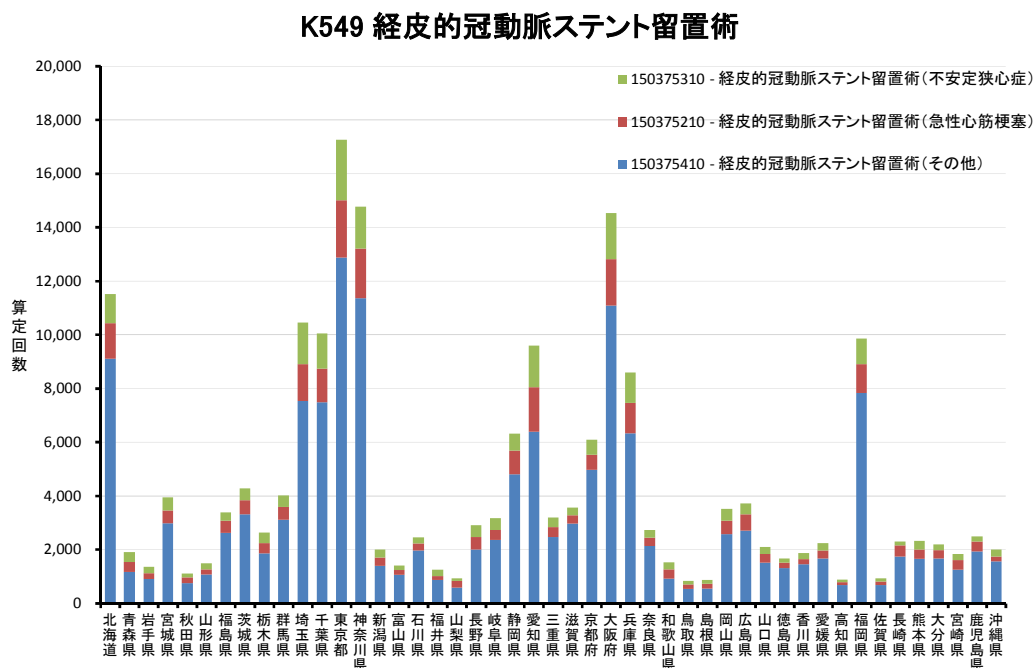
K513 胸腔鏡下肺切除術



K513 胸腔鏡下肺切除術：胸腔鏡を用いて、肺を切除する手術。

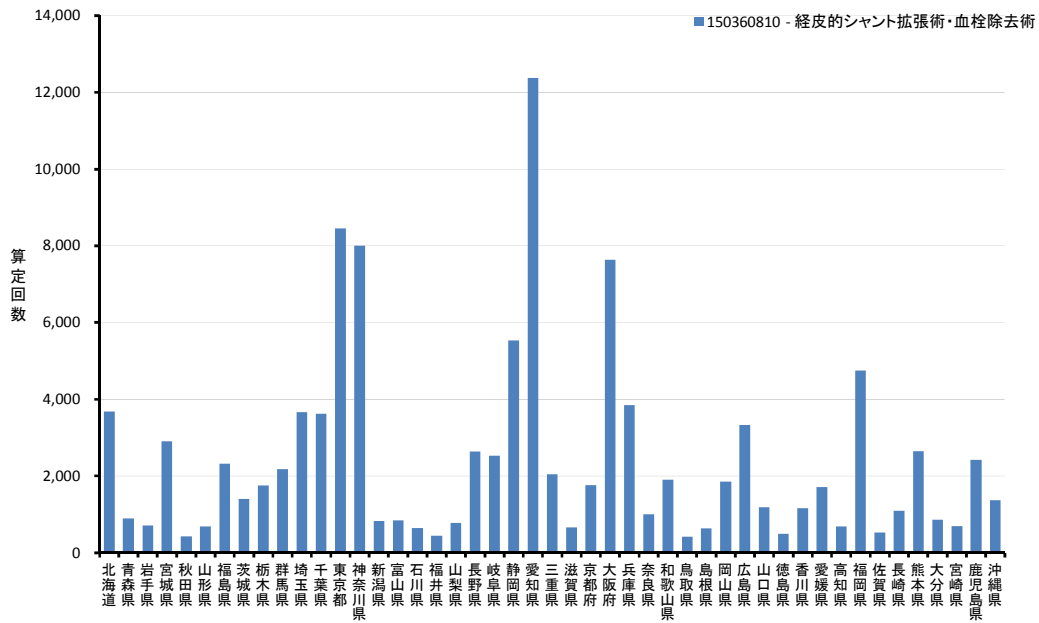
K 手術（心・脈管）

【概要】心・脈管の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



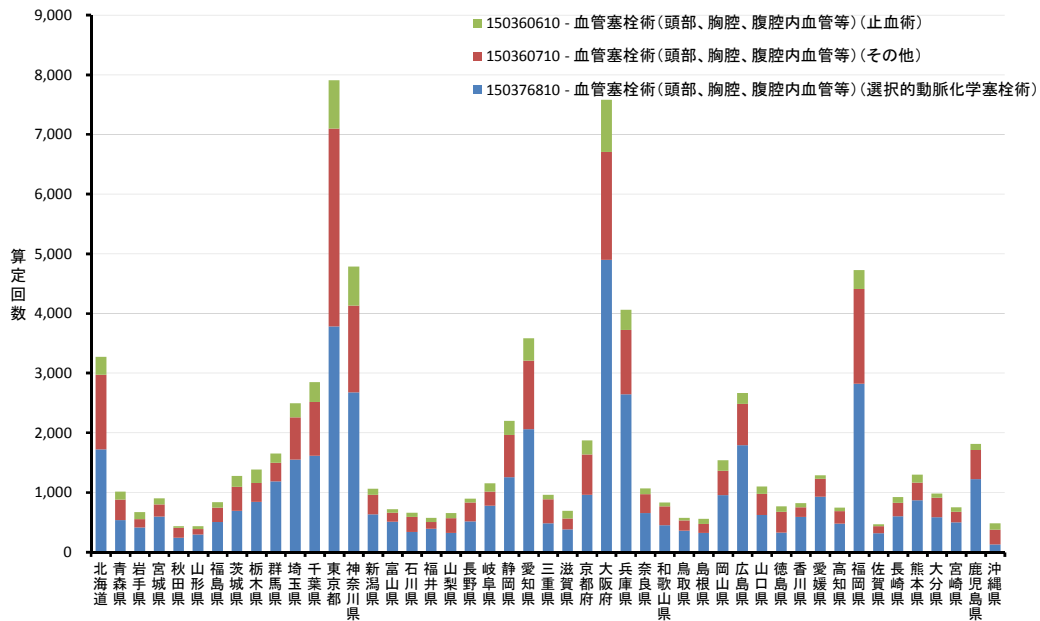
K549 経皮的冠動脈ステント留置術：カテーテルを用いて、狭窄した心臓の冠動脈にステントを留置し、冠動脈の血流量を増やす治療。

K616-4 経皮的シャント拡張術・血栓除去術



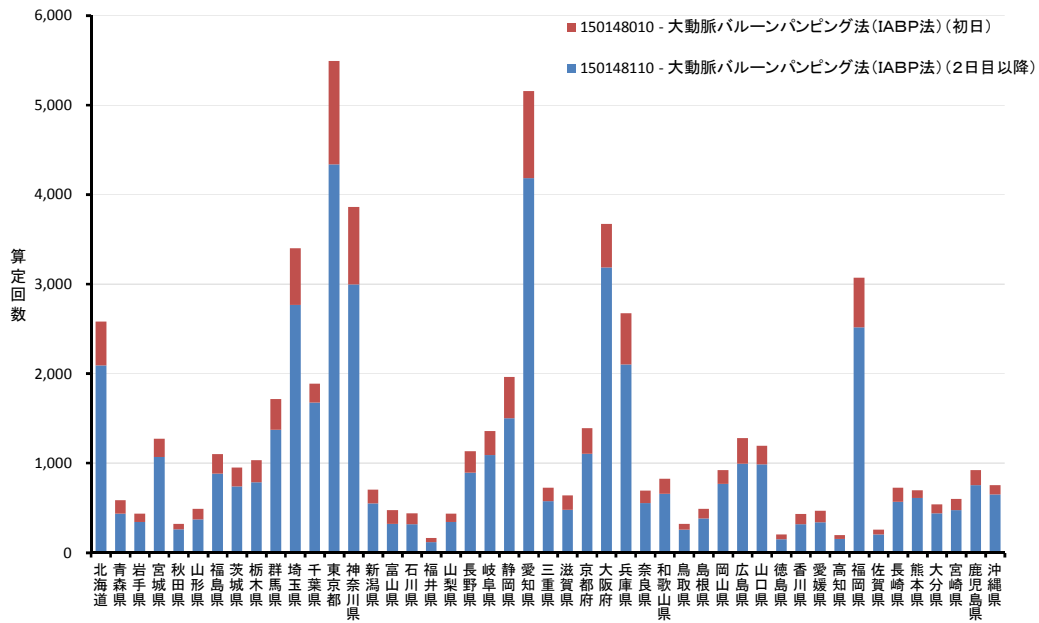
K616-4 経皮的シャント拡張術・血栓除去術：透析のための腕のシャントを、カテーテルとバルーンを用いて拡張する治療、および血栓を取り除く治療。

K615 血管塞栓術



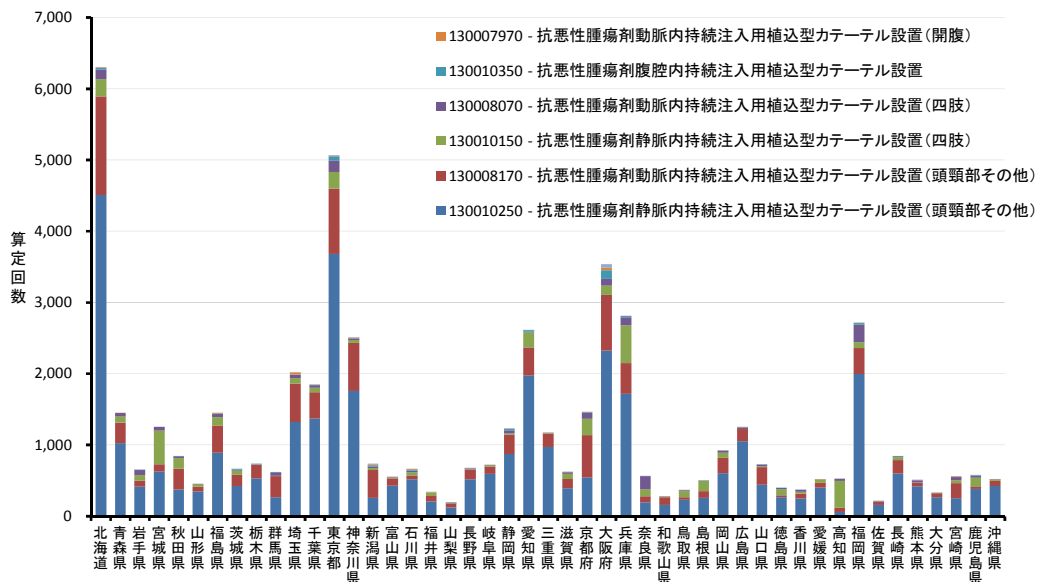
K615 血管塞栓術:カテーテルを用いて動脈を詰まらせ、出血を止める、または腫瘍を破壊する治療。

K600 大動脈バルーンパンピング法



K600 大動脈バルーンパンピング法：大動脈弁の近くにバルーンを置き、心臓の動きに合わせて拡張・収縮させることで心臓の働きを助ける治療。

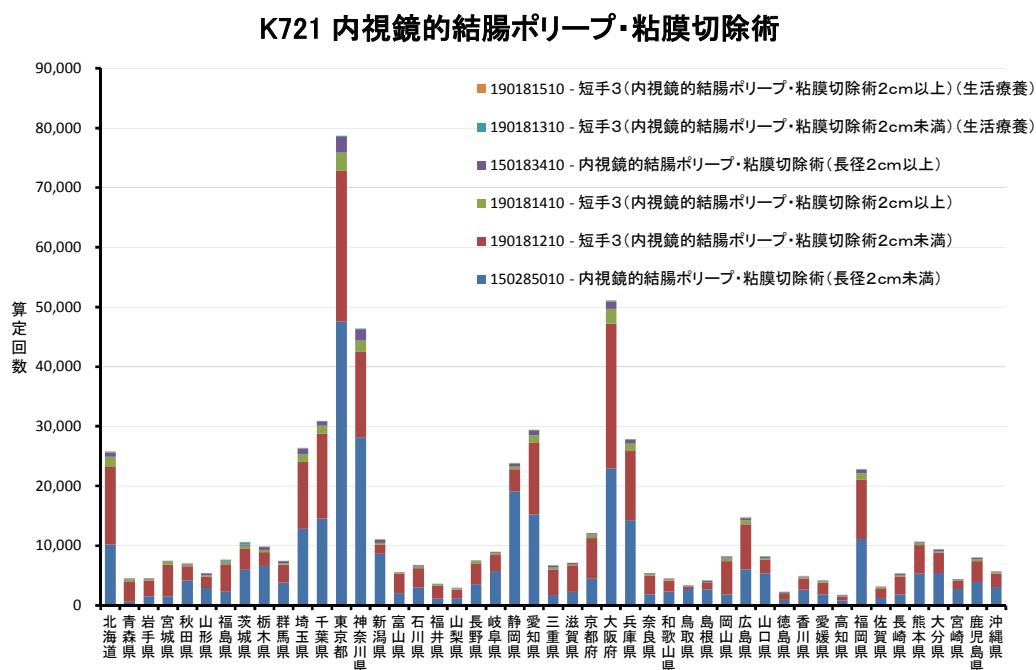
K611 抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置



K611 抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置：悪性腫瘍に対して、薬を持続的に注入するためにカテーテルを留置する治療。

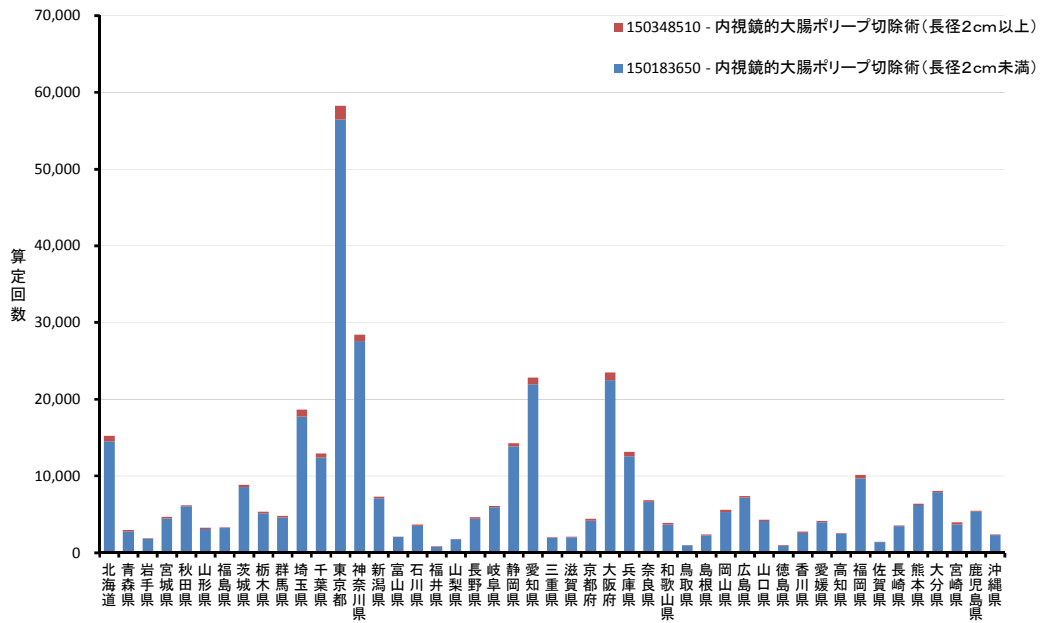
K 手術（腹部）

【概要】腹部の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



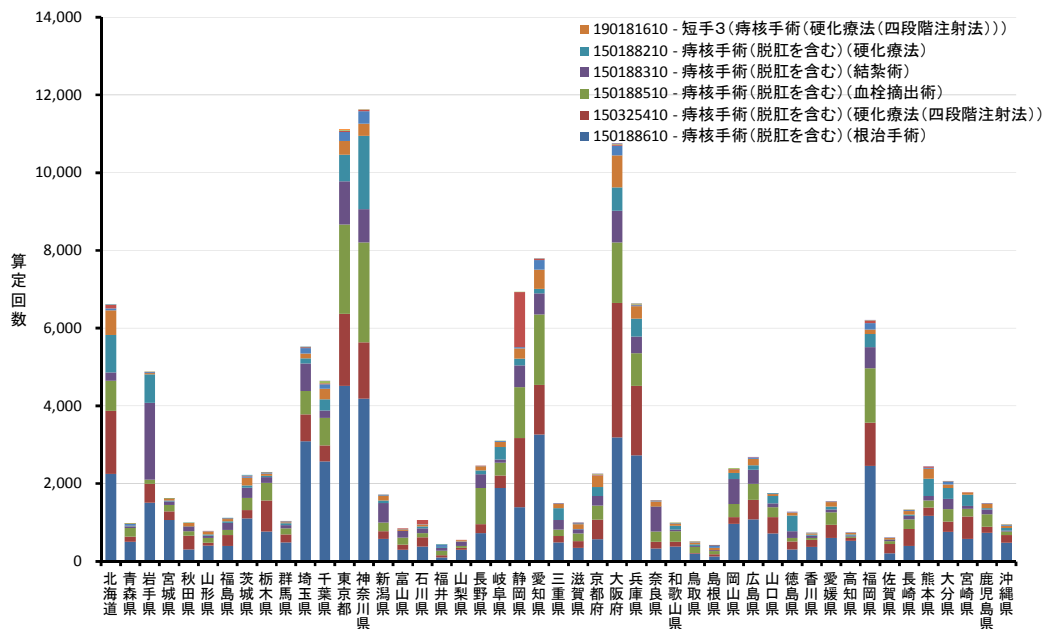
K721 内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術：大腸の内視鏡を用いて結腸のポリープや粘膜を切除する治療。

K721-2 内視鏡的大腸ポリープ切除術



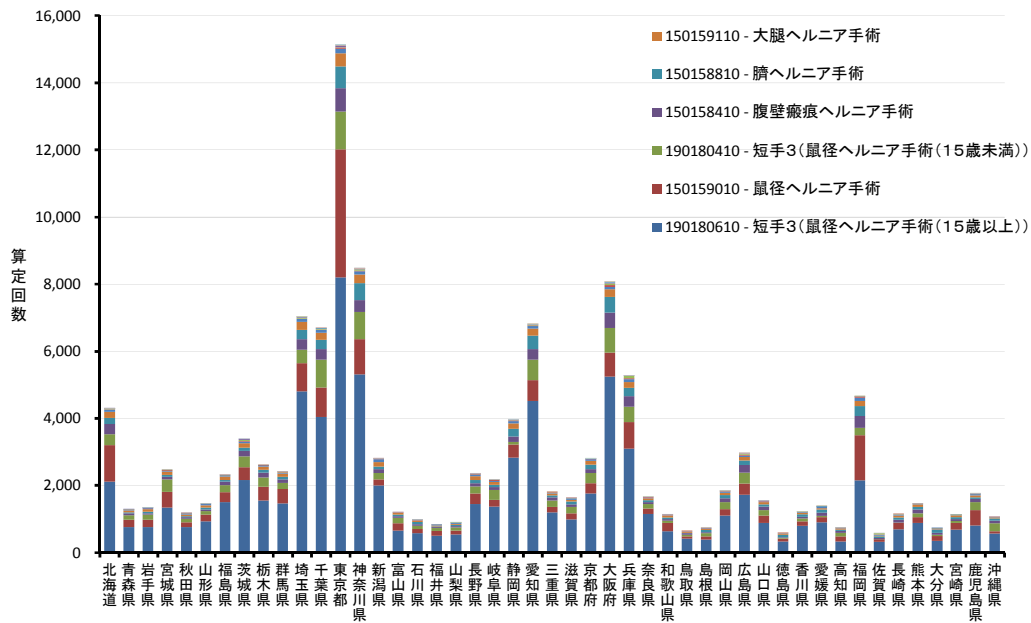
K721-2 内視鏡的大腸ポリープ切除術：内視鏡を用いて大腸ポリープを切除する治療。

K743 痔核手術



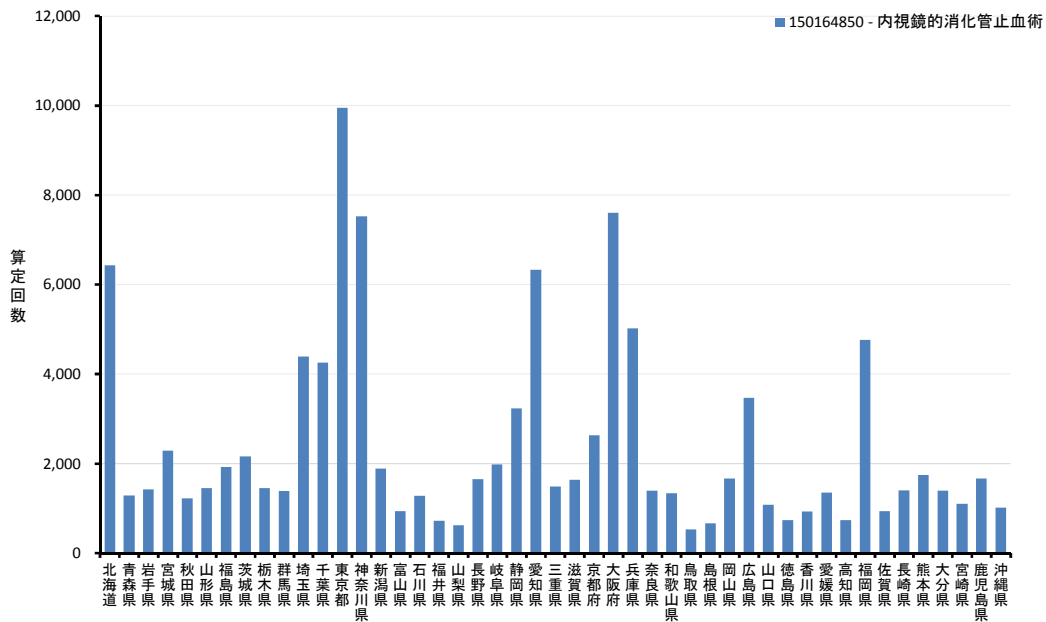
K743 痔核手術：痔や脱肛を治療する手術。

K633 ヘルニア手術



K633 ヘルニア手術：臍や足の付け根で腹腔外へ飛び出た腸管の袋を元に戻す手術。

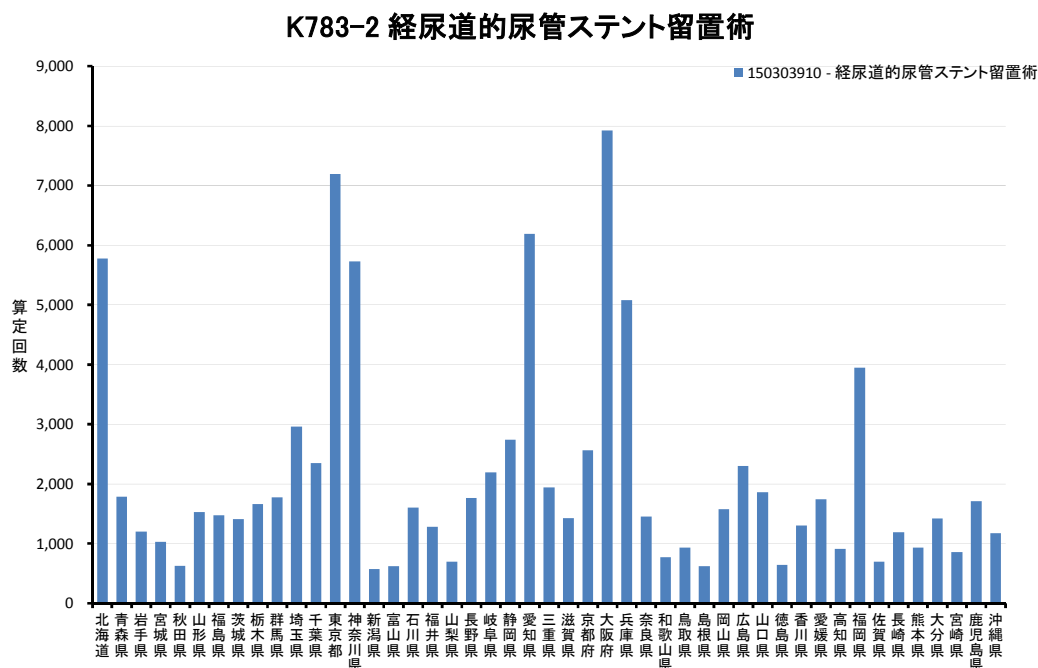
K654 内視鏡的消化管止血術



K654 内視鏡的消化管止血術：内視鏡を用いて消化管からの出血を止血する治療。

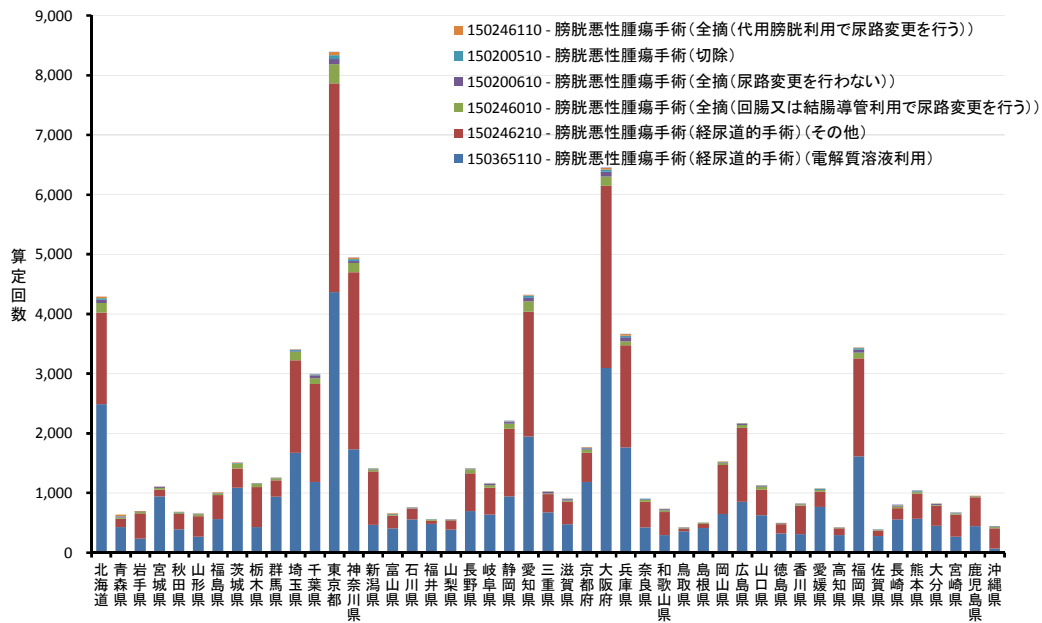
K 手術（尿路系・副腎）

【概要】 尿路系・副腎の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



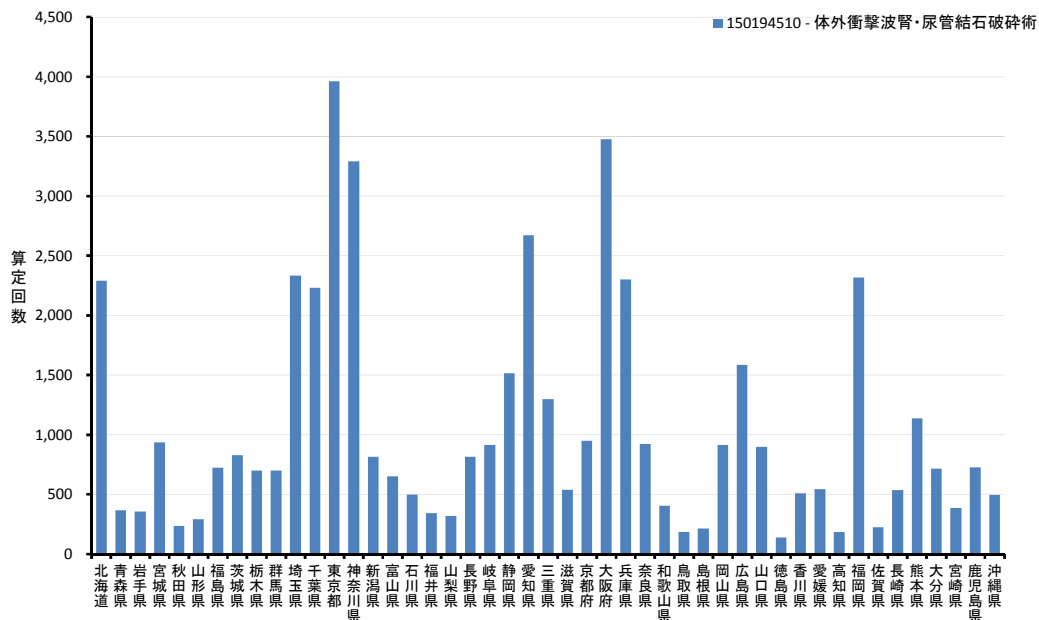
K783-2 経尿道的尿管ステント留置術：尿道からカテーテルを入れ、狭窄した尿管をステントで広げる治療。

K803 膀胱悪性腫瘍手術



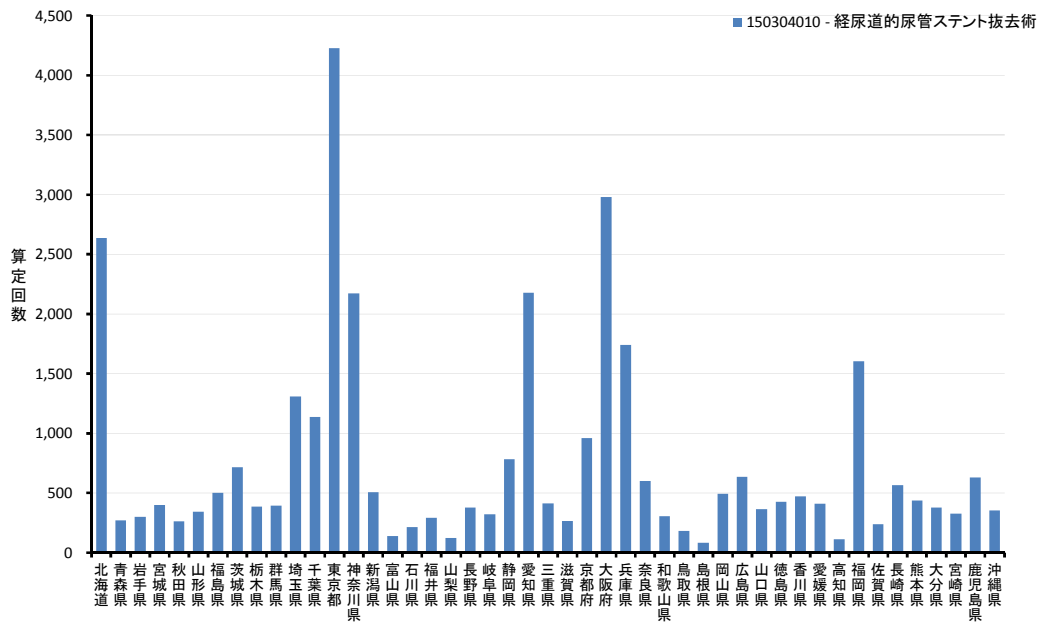
K803 膀胱悪性腫瘍手術：膀胱にできた悪性の腫瘍に対する、尿道からアプローチする腫瘍の切除、または膀胱の全摘出などの手術。

K768 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術



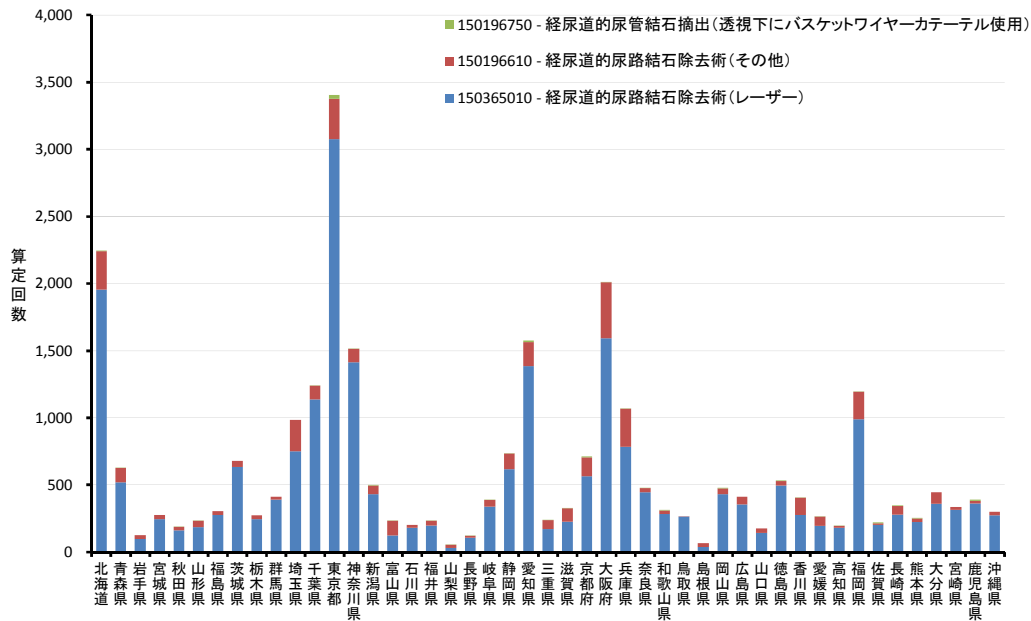
K768 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術：腎臓や尿管にできた結石に対して、体の外から音波の衝撃波を当てて、結石を破壊する治療。

K783-3 経尿道的尿管ステント抜去術



K783-3 経尿道的尿管ステント抜去術：尿管に留置していたステントを、尿道からアプローチして抜去する手術。

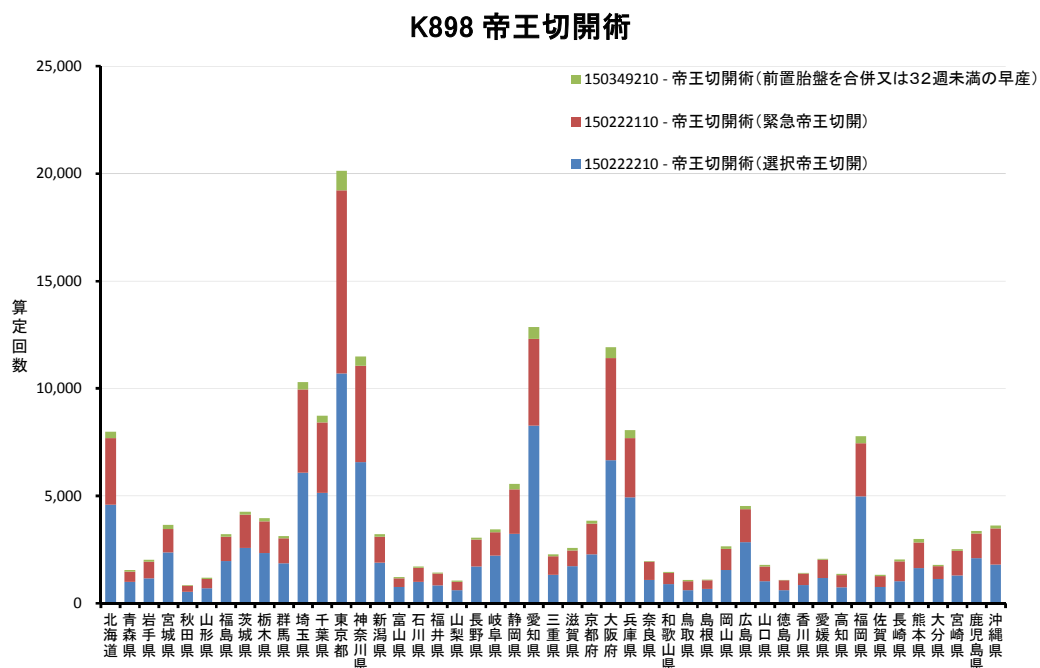
K781 経尿道的尿路結石除去術



K781 経尿道的尿路結石除去術：尿路にできた結石を、尿道からカテーテル等を使用して除去する治療。

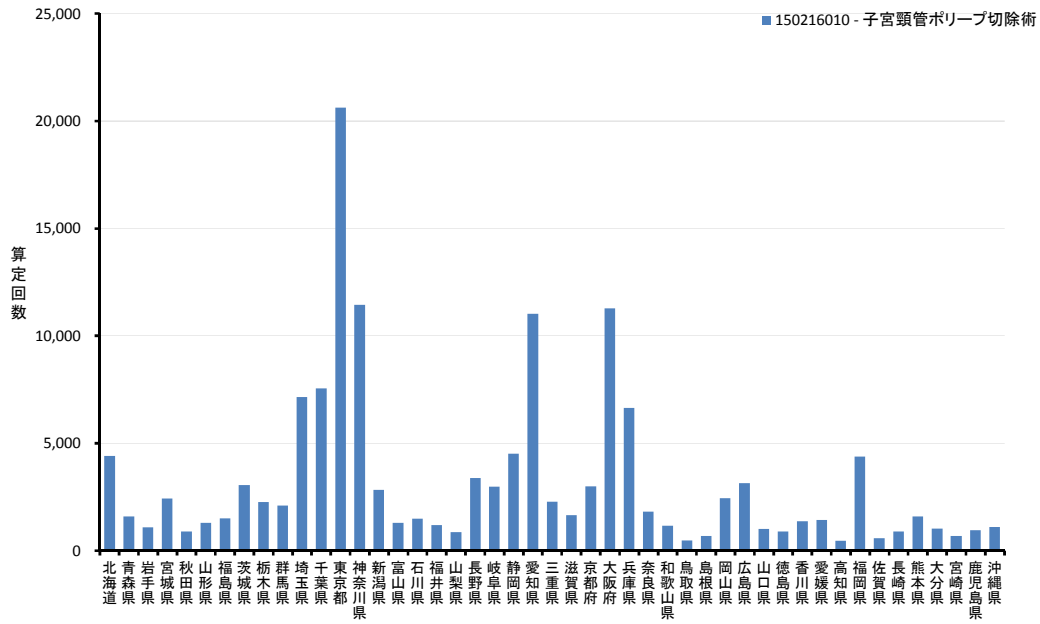
K 手術（性器）

【概要】性器の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



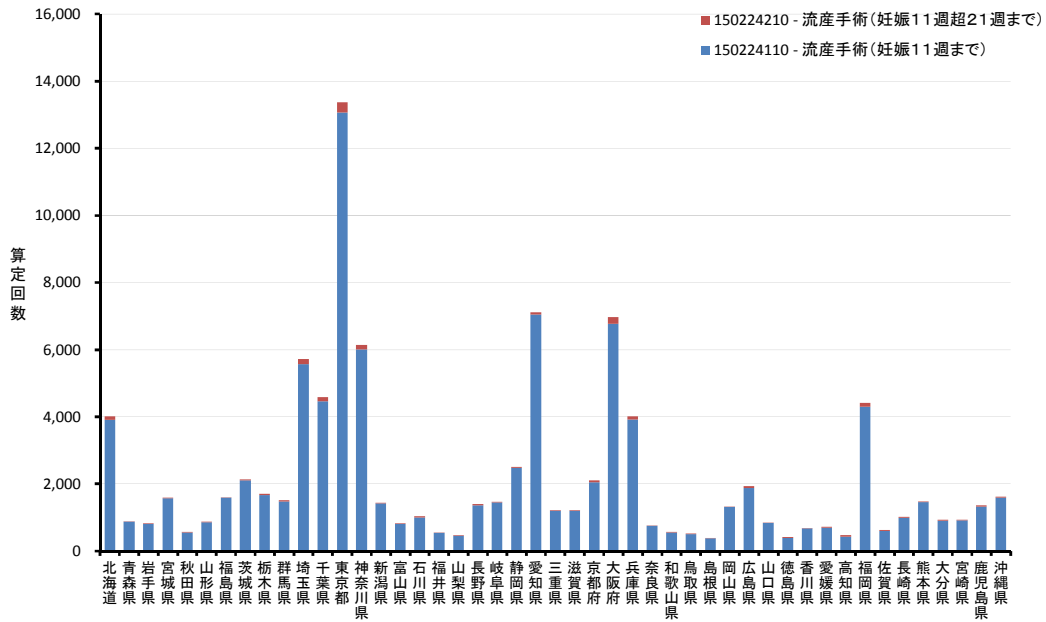
K898 帝王切開術：子宮切開によって胎児を取り出す手術。

K866 子宮頸管ポリープ切除術



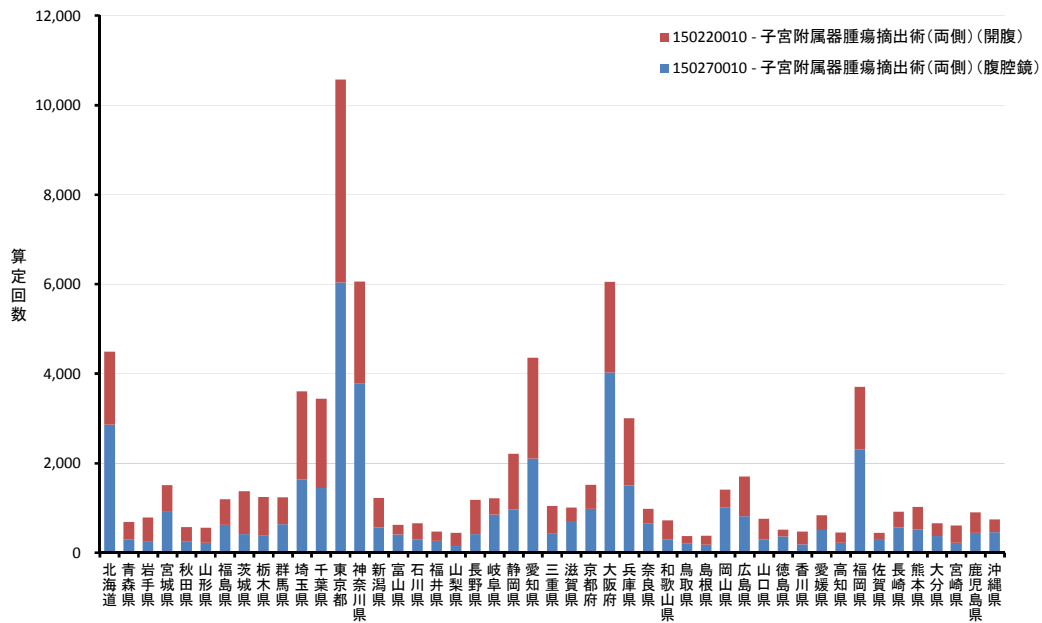
K866 子宮頸管ポリープ切除術：子宮の入り口部分にできたポリープの切除手術。

K909 流産手術



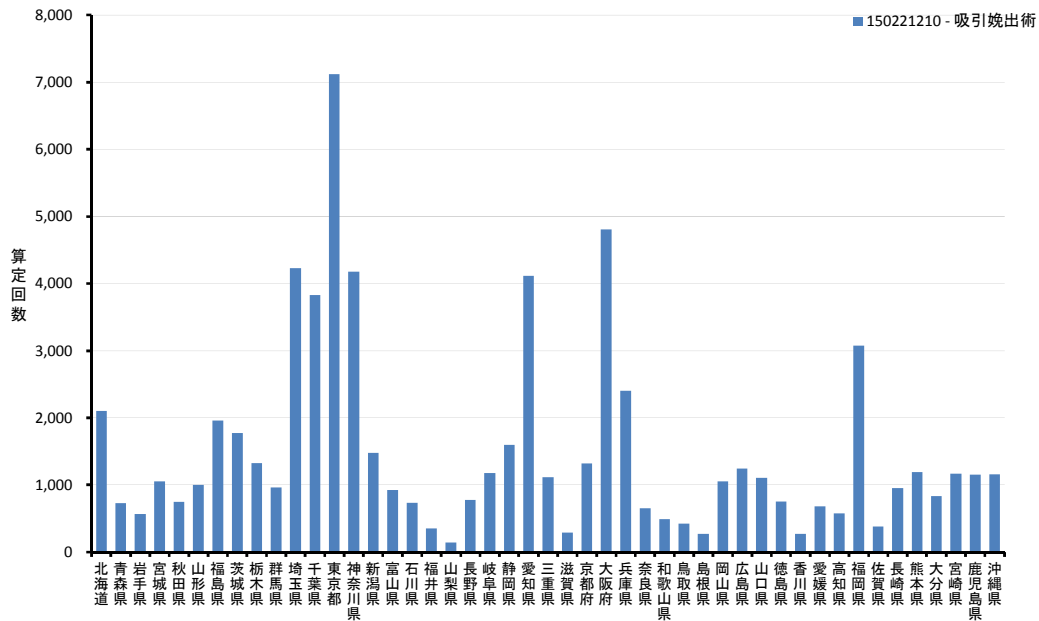
K909 流産手術：流産した時に、子宮内容物を摘出する手術。

K888 子宮附属器腫瘍摘出術



K888 子宮附属器腫瘍摘出術：子宮または卵巣にできた悪性腫瘍等の結果、子宮と卵巣を摘出する手術。

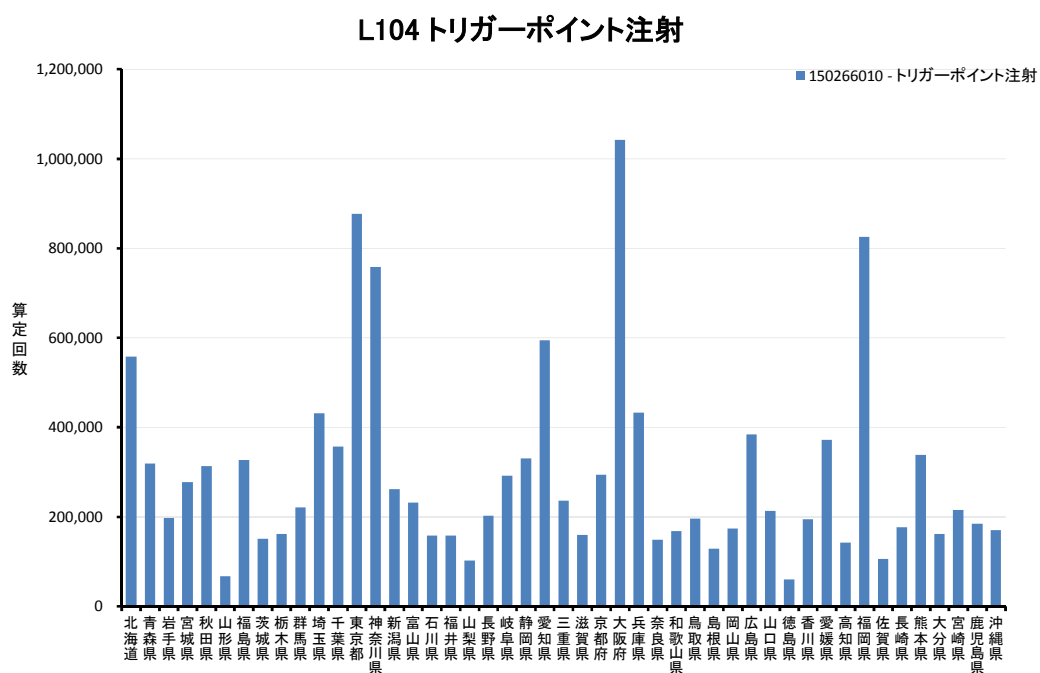
K893 吸引娩出術



K893 吸引娩出術：分娩時に吸引カップを児の頭に装着し、牽引しながら胎児を娩出すること。

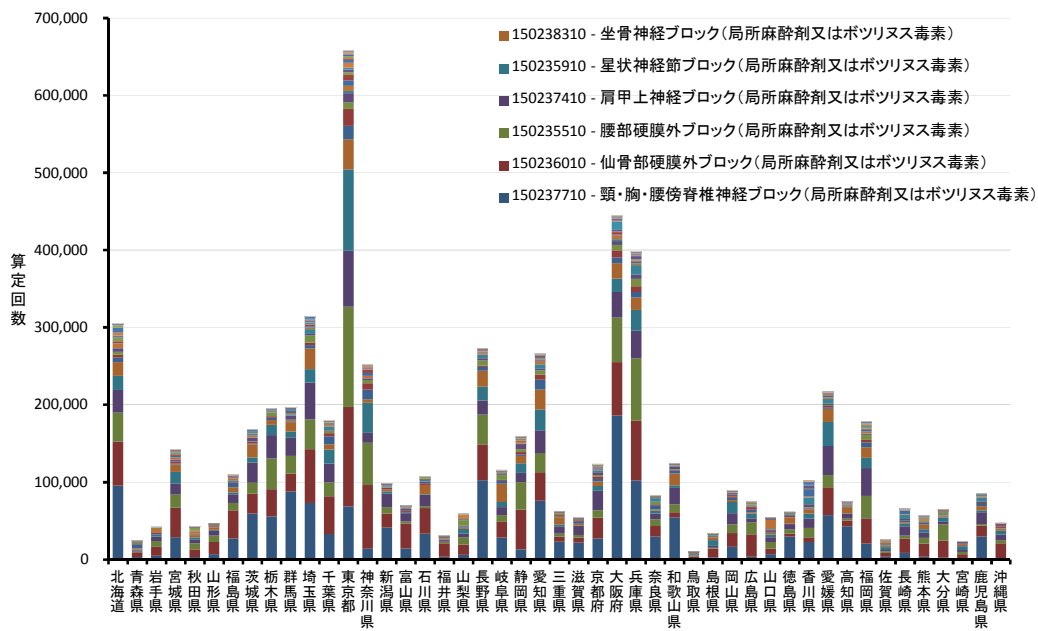
L 麻酔 ・麻酔（外来）

【概要】 外来での麻酔に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



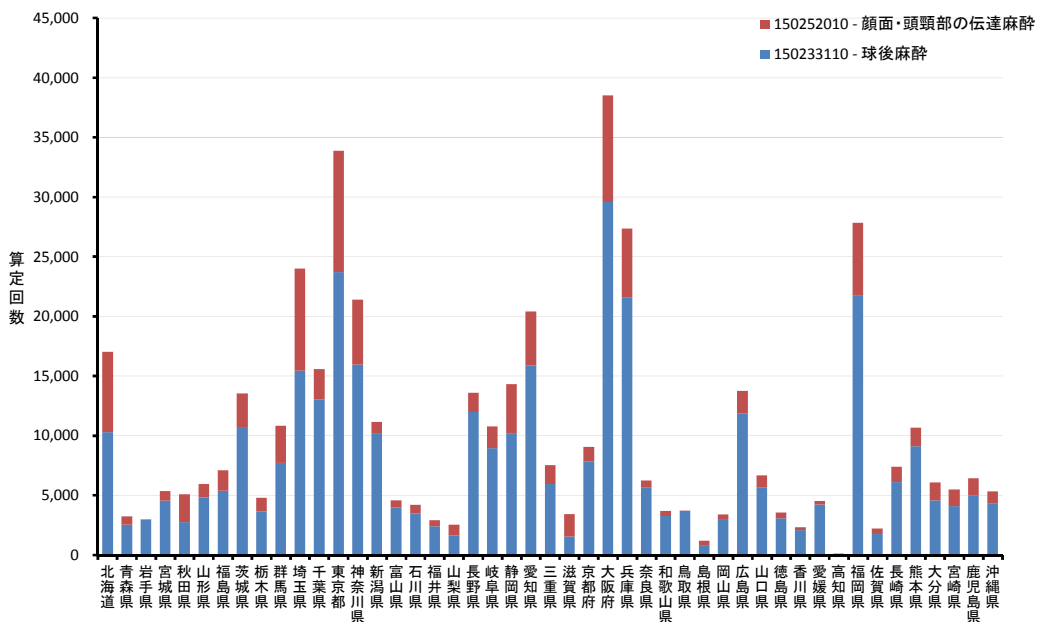
L104 トリガーポイント注射：押すと痛みのある部分を確認し、そこに痛み止めを注射すること。

L100 神経ブロック(局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用)



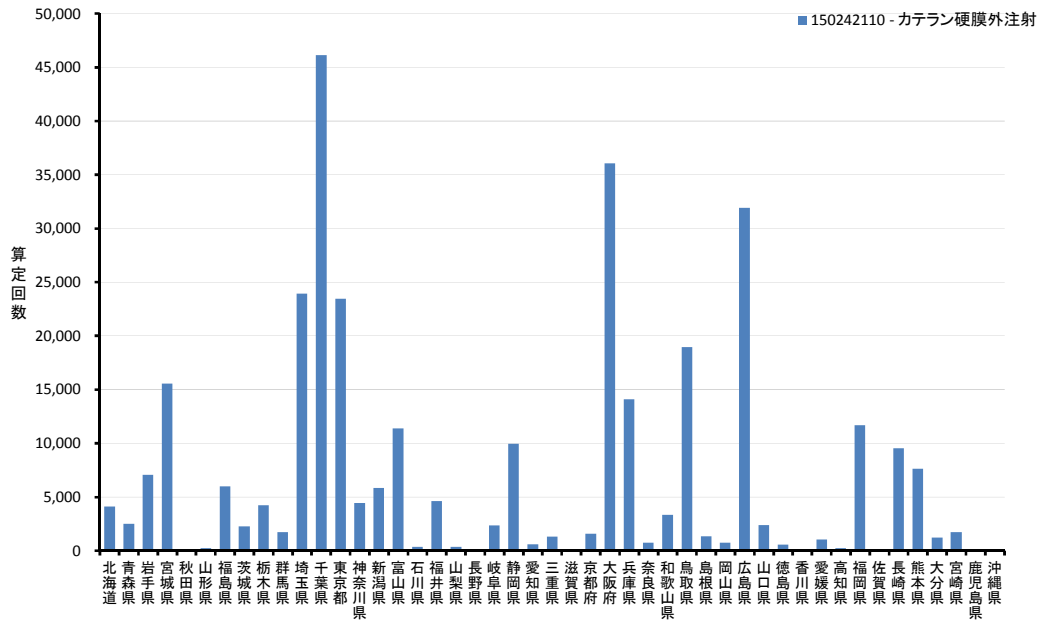
L100 神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）：神経周囲に痛み止めを注射し、神経の伝達をブロックすることで、病気の部分の痛みを取り除く治療。

L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔



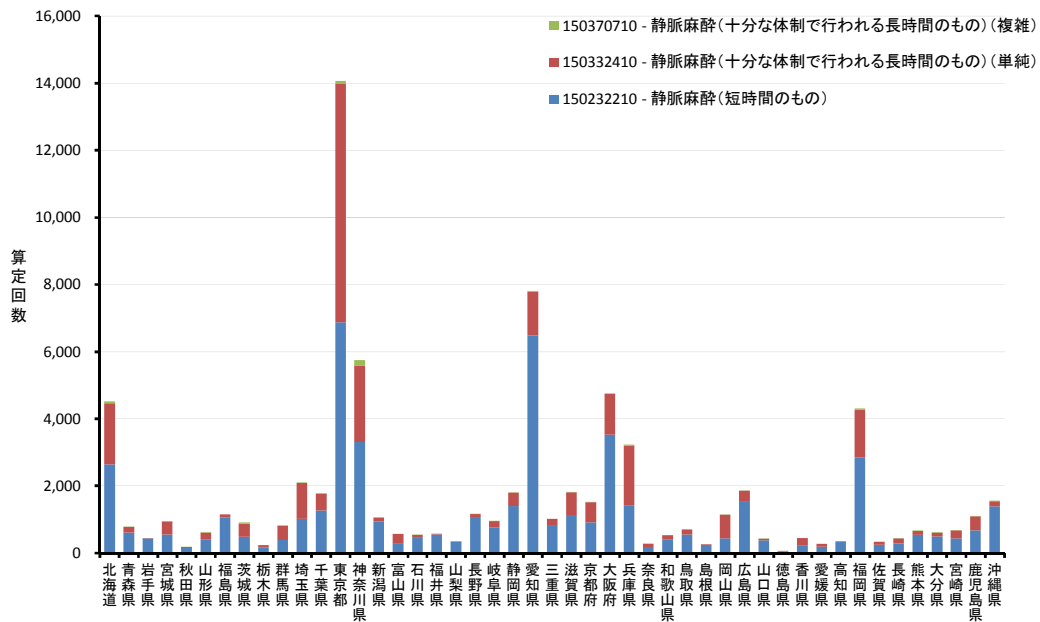
L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔：（瞬目麻酔及び眼輪筋内浸潤麻酔を含む。）球後麻酔は、下瞼の下の眼の窪みから曲がった針を刺して、目玉よりも後ろの方に痛み止めを注射する麻酔法。眼科の手術などで行われる。顔面・頭頸部の伝達麻酔は、顔、頭部、頸部の一部に痛み止めを注射し、神経の伝達をブロックすることで顔面・頭頸部の痛みを取り除く麻酔法。

L103 カテラン硬膜外注射



L103 カテラン硬膜外注射：椎間板ヘルニアや、仙腸関節炎の治療の際に打たれる注射。

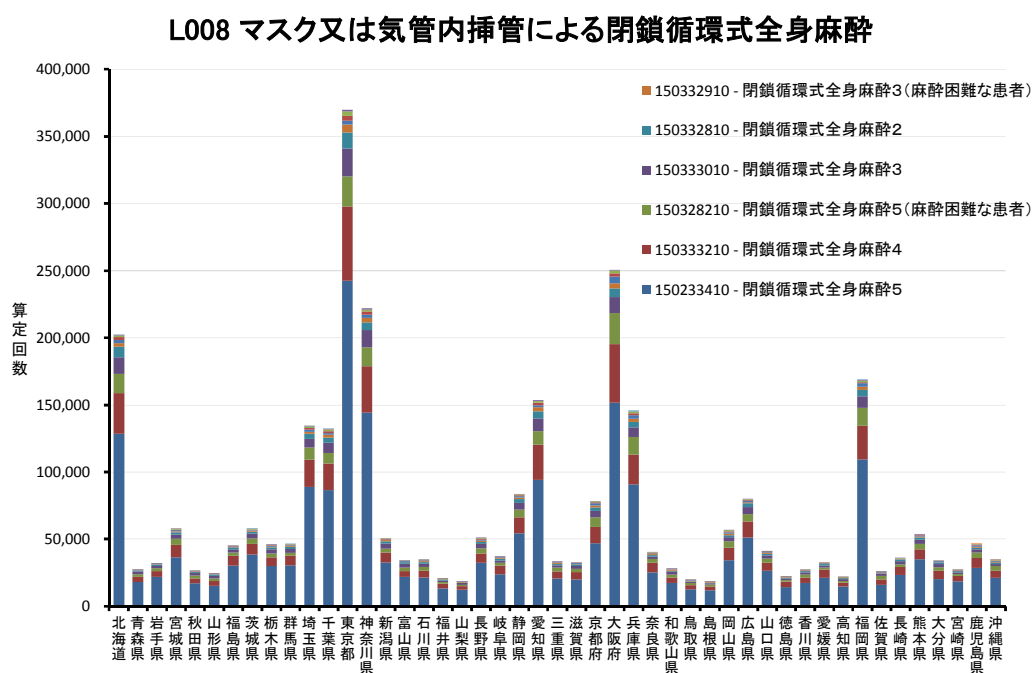
L001-2 静脈麻酔



L001-2 静脈麻酔：点滴から静脈注射用麻酔薬を入れる麻酔法。

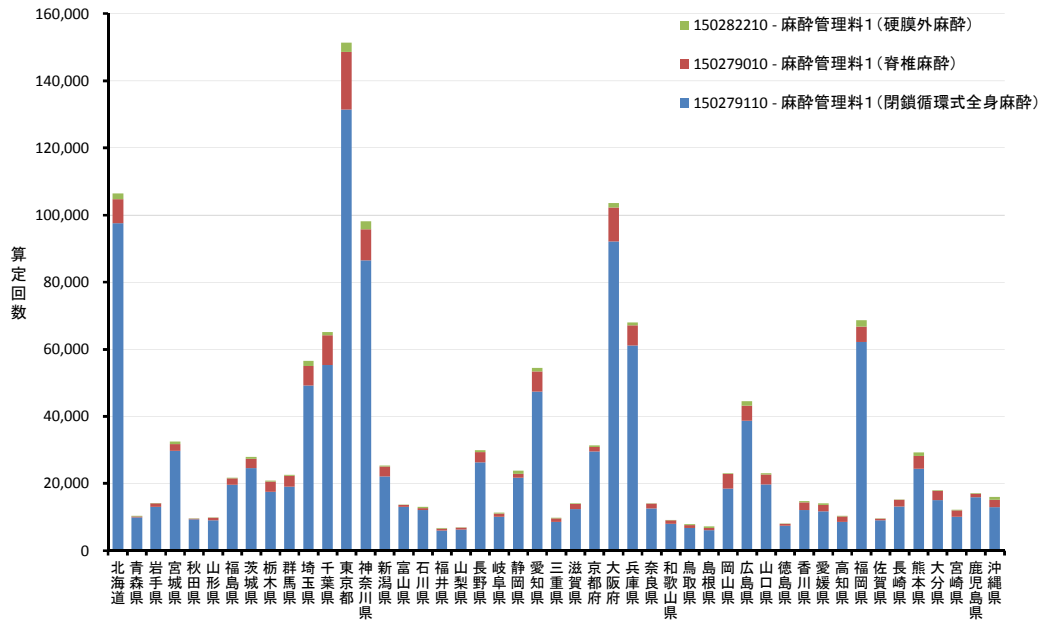
L 麻酔 ・麻酔（入院）

【概要】入院での麻酔に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 10 項目を示す。



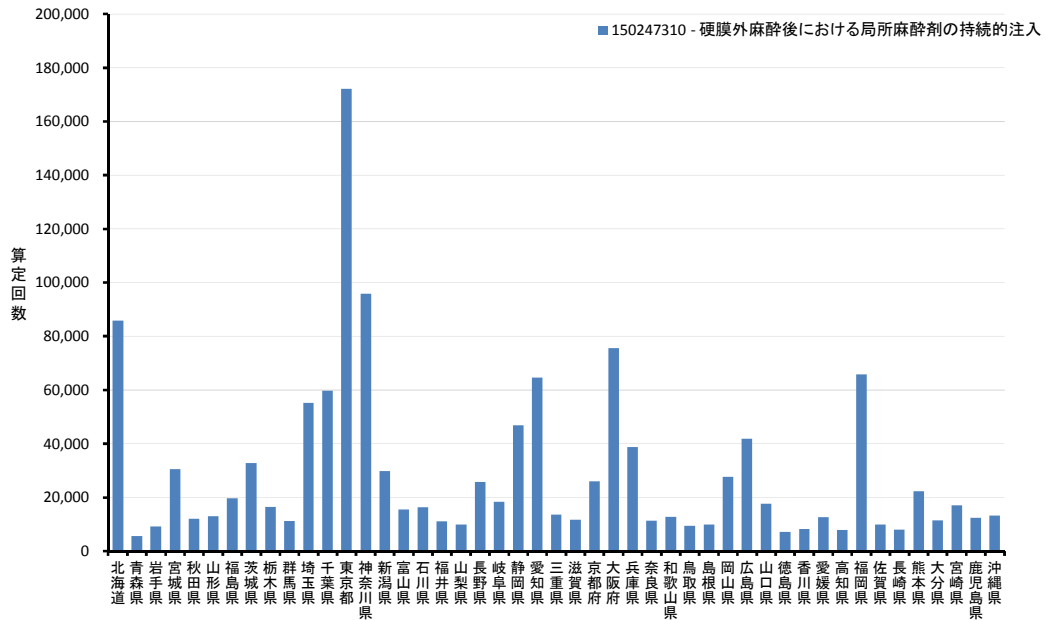
L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔：時間の短いものを除いた一般的な全身麻酔のこと。

L009 麻酔管理料(1)



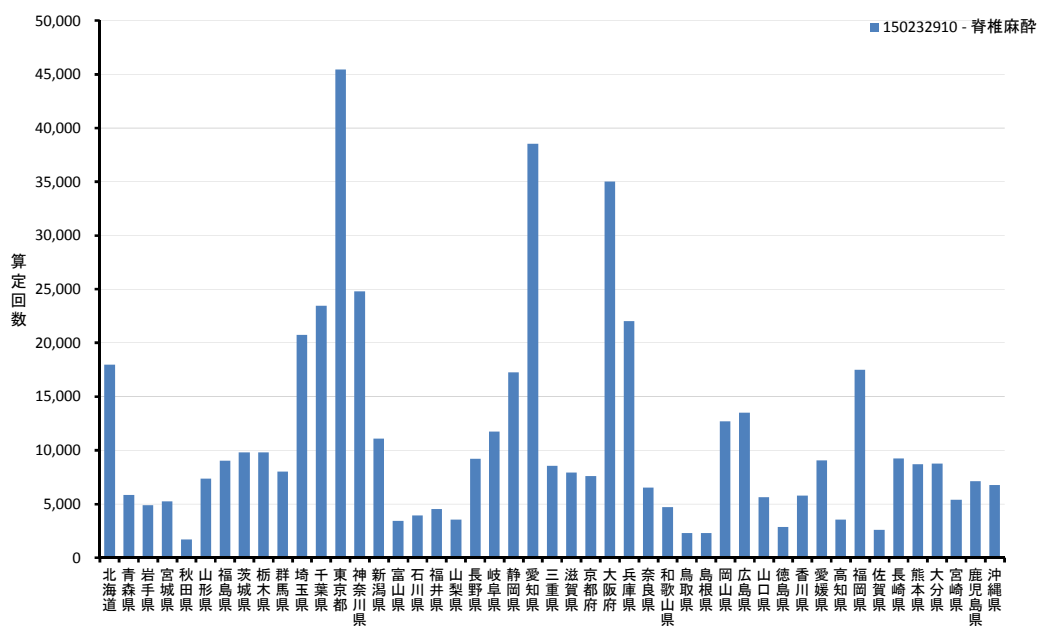
L009 麻酔管理料(1)：常勤の麻酔科標榜医が麻酔前後の診察、麻酔管理を行った場合に算定する。

L003 硬膜外麻酔後における局所麻酔剤の持続的注入



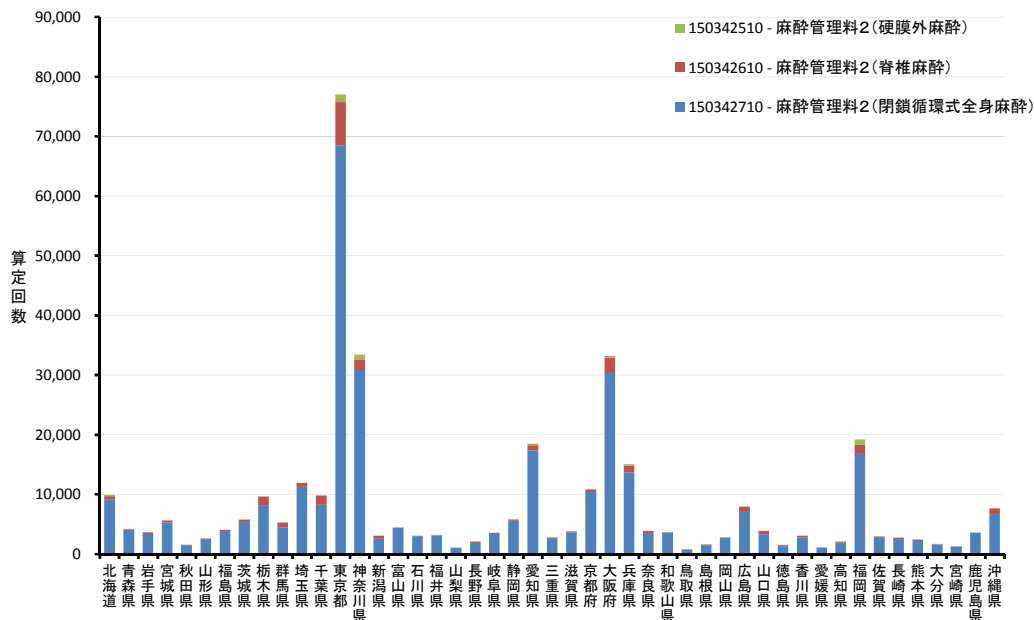
L003 硬膜外麻酔後における局所麻酔剤の持続的注入：硬膜外麻酔後に疼痛コントロールを目的として、接続したカテーテルから持続的に痛み止めの薬を投与すること。

L004 脊椎麻酔



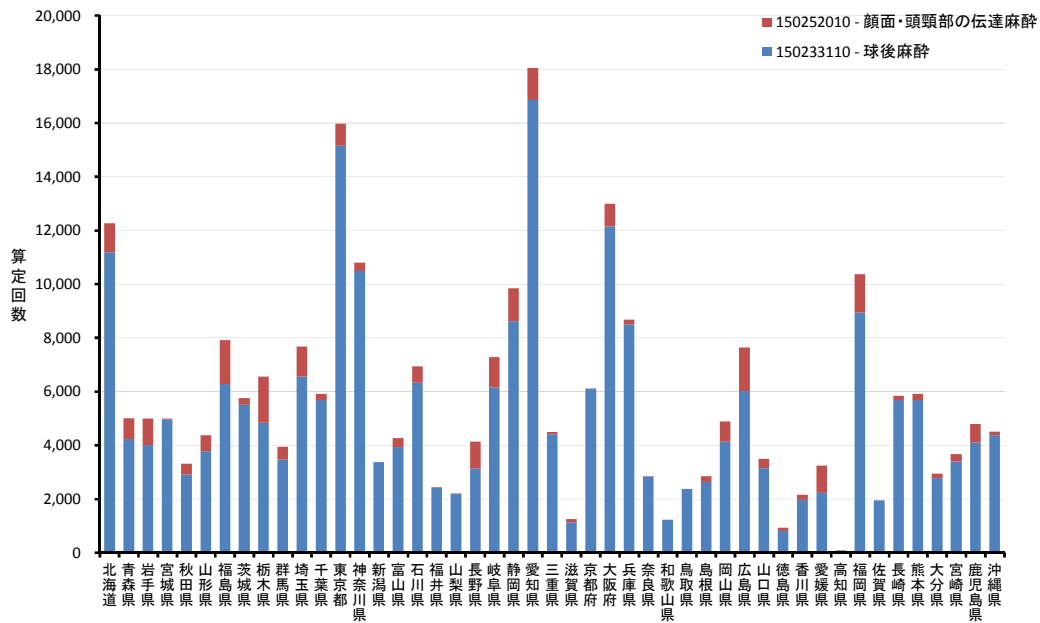
L004 脊椎麻酔：細い針を背骨の間に針を刺して痛み止めを注射し、下腹部から下肢の感覚をなくす麻酔法。

L010 麻酔管理料(2)



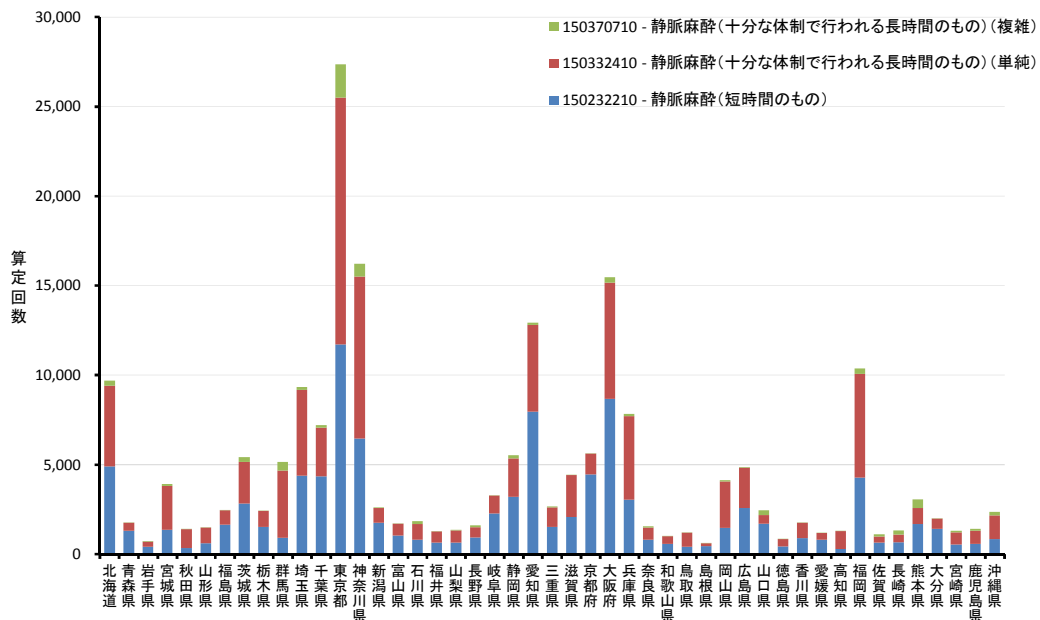
L010 麻酔管理料(2)：麻酔科標榜医の指導の下、麻酔を担当する医師が麻酔前後の診察、麻酔管理を行った場合に算定する。

L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔



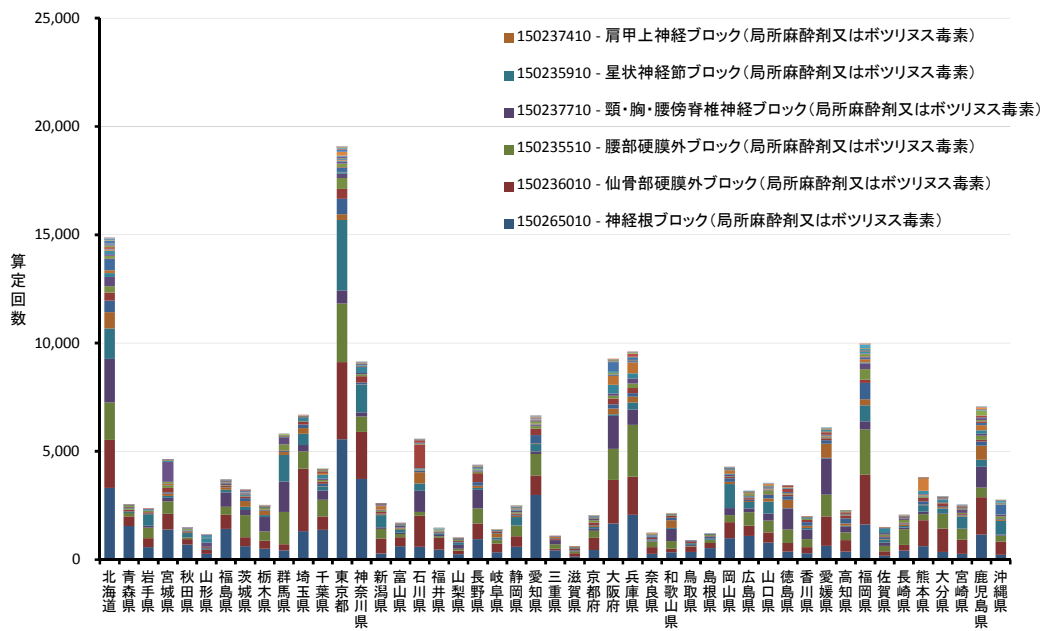
L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔：（瞬目麻酔及び眼輪筋内浸潤麻酔を含む。）球後麻酔は、下瞼の下の眼の窪みから曲がった針を刺して、目玉よりも後ろの方に痛み止めを注射する麻酔法。眼科の手術など出られる。顔面・頭頸部の伝達麻酔は、顔、頭部、頸部の一部に痛み止めを注射し、神経の伝達をブロックすることで顔面・頭頸部の痛みを取り除く麻酔法。

L001-2 静脈麻酔



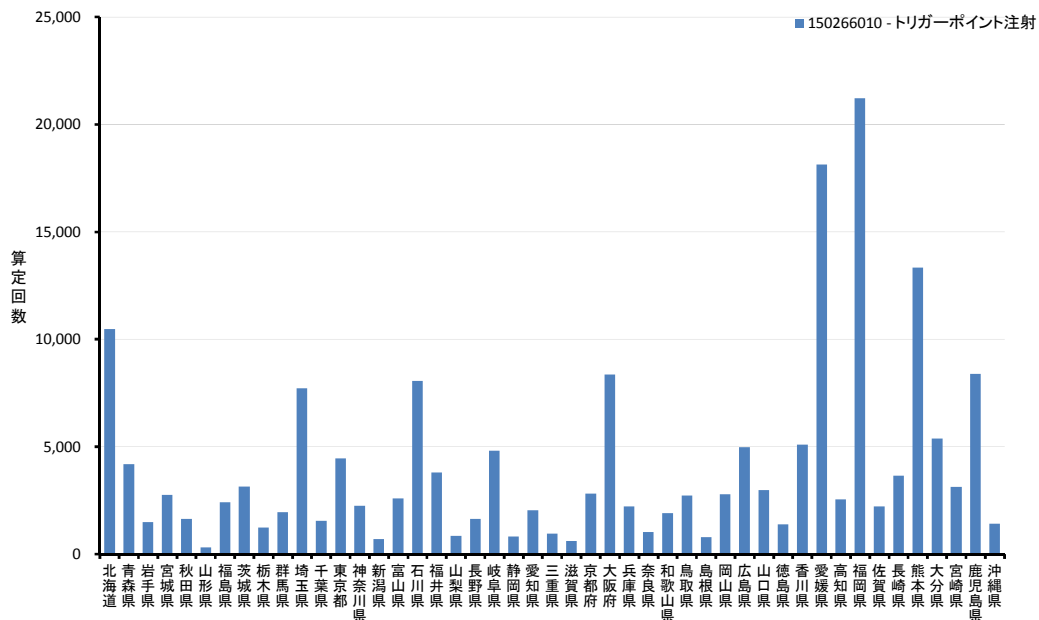
L001-2 静脈麻酔：点滴から静脈注射用麻酔薬を入れる麻酔法。

L100 神経ブロック(局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用)



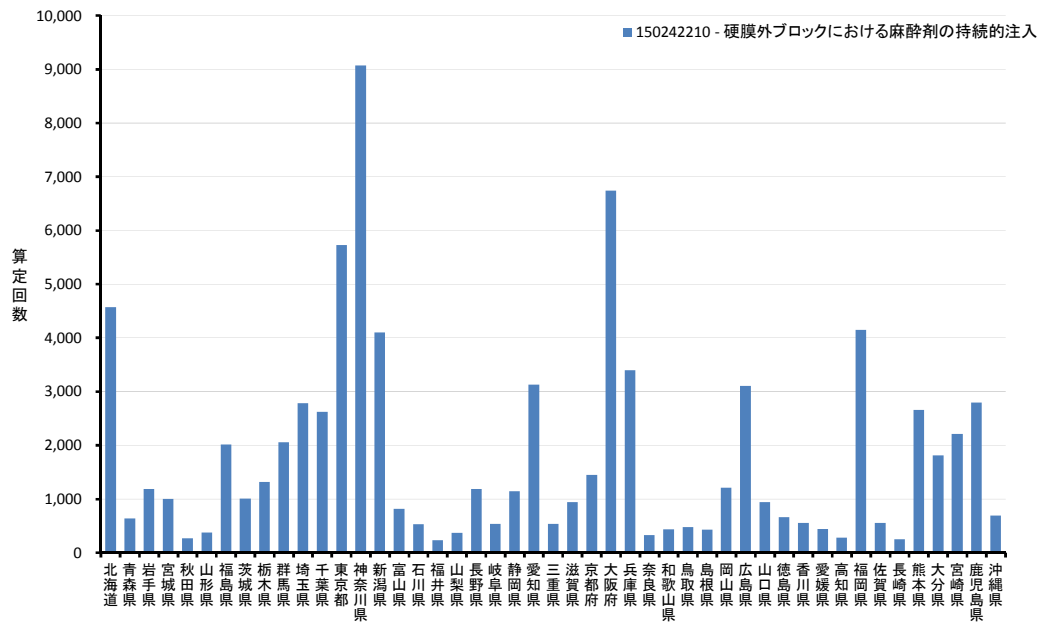
L100 神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）：神経周囲に痛み止めを注射し、神経の伝達をブロックすることで、病気の部分の痛みを取り除く治療。

L104 トリガーポイント注射



L104 トリガーポイント注射：押すと痛みのある部分を確認し、そこに痛み止めを注射すること。

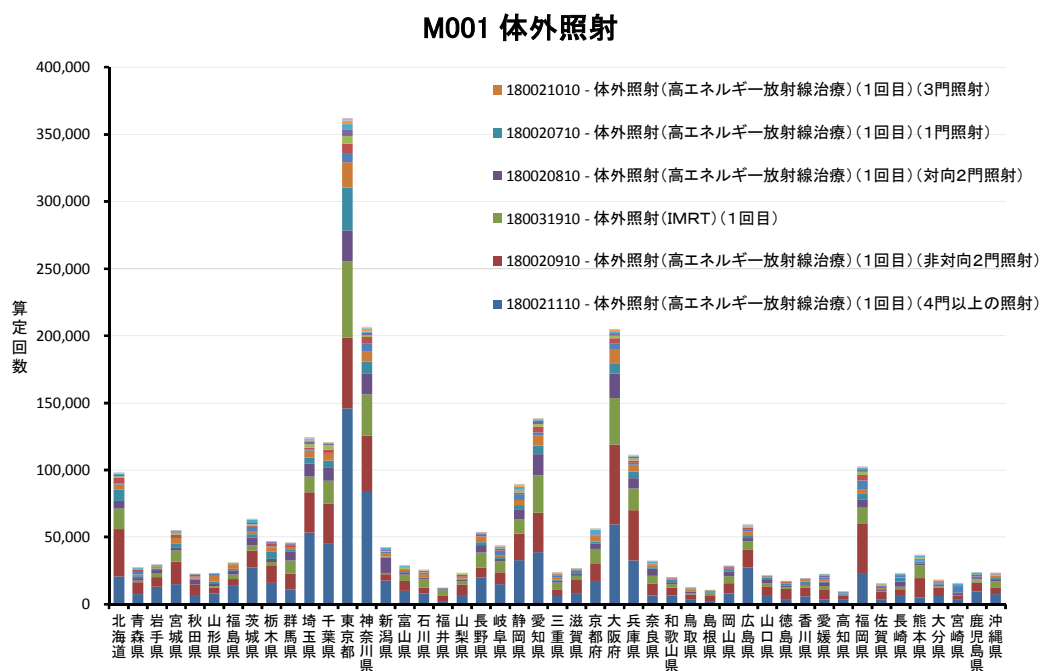
L105 硬膜外ブロックにおける麻酔剤の持続的注入



L105 硬膜外ブロックにおける麻酔剤の持続的注入：硬膜外ブロック後に疼痛コントロールを目的として、接続したカテーテルから持続的に痛み止めの薬を流すこと。

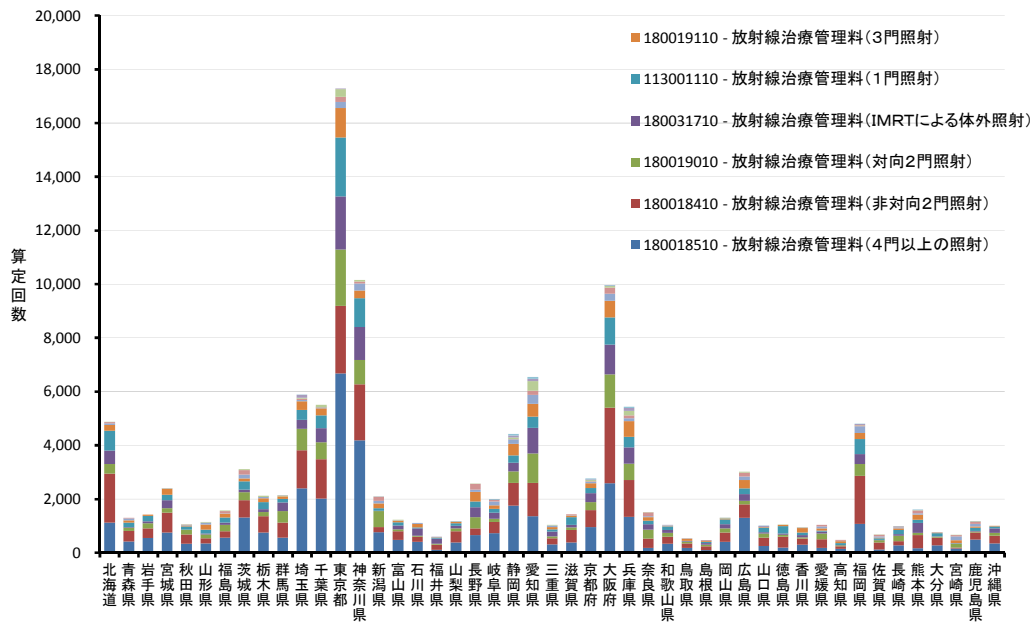
M 放射線治療
・放射線治療（外来）

【概要】 外来での放射線治療に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



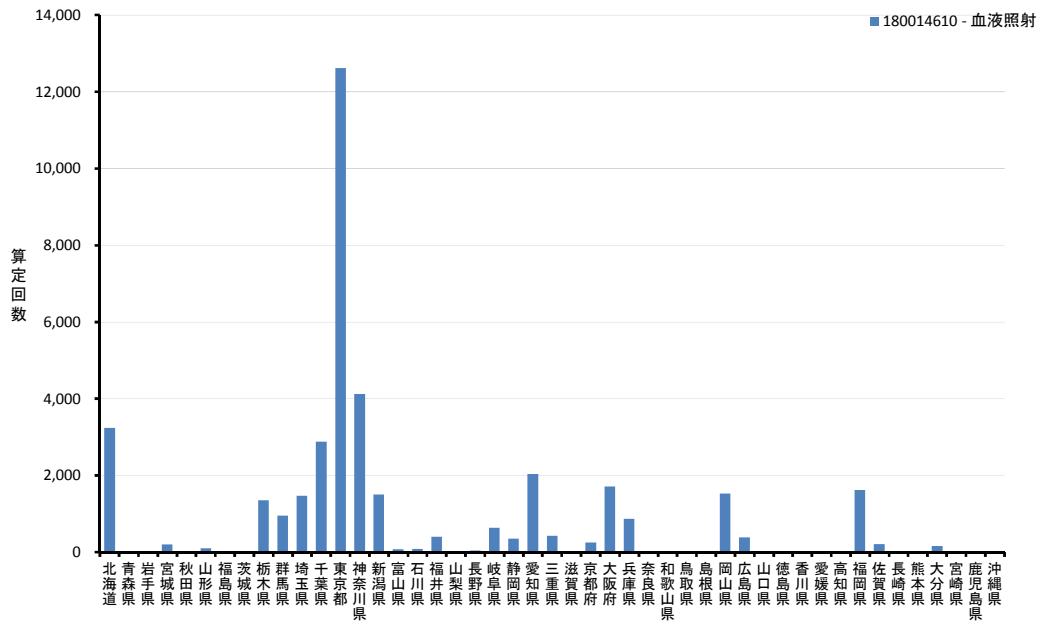
M001 体外照射：放射線を体外から照射して行う治療法。照射する放射線の種類や回数、門数ごとに算定する。

M000 放射線治療管理料



M000 放射線治療管理料：放射線治療を行うに際して、あらかじめ作成した照射計画により放射線照射を行った場合に算定する。

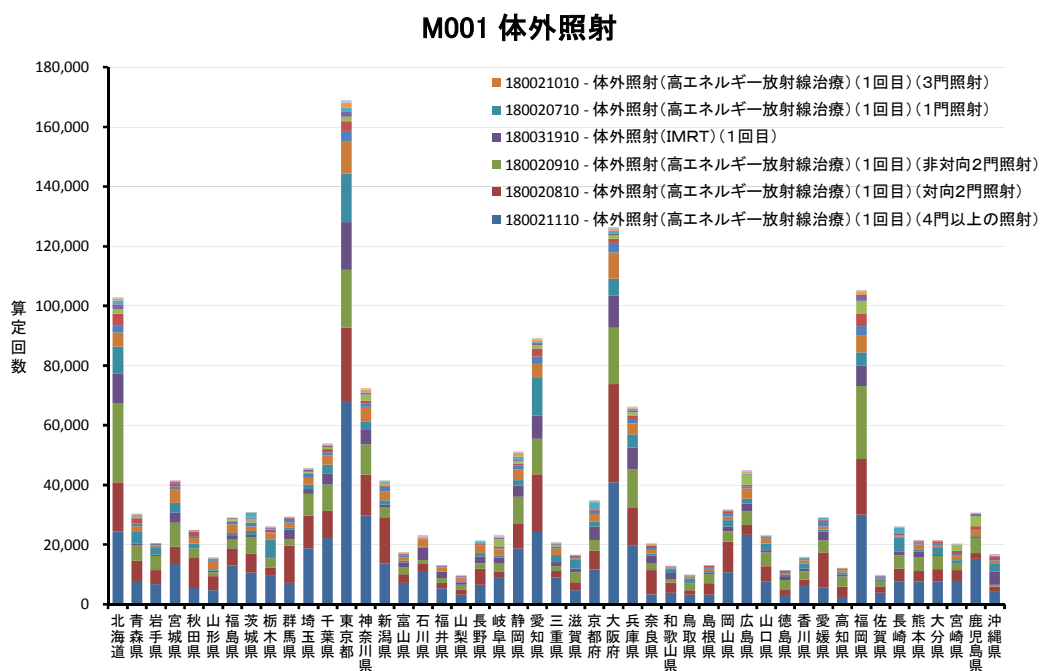
M005 血液照射



M005 血液照射：輸血後移植片対宿主病（GVHD）の予防のために、輸血用血液に対して放射線照射を行った場合に算定する。

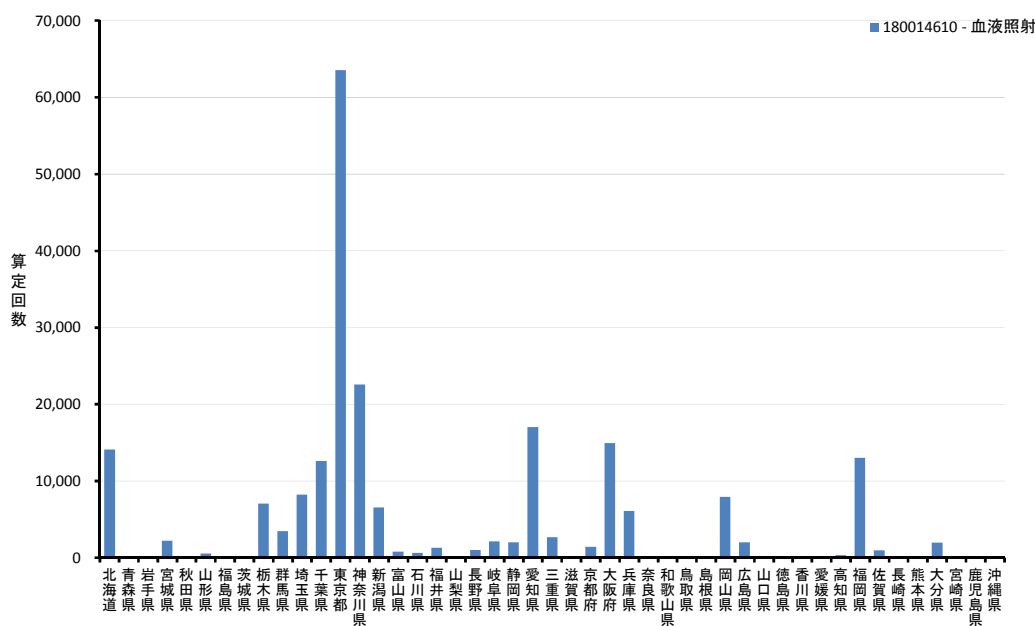
M 放射線治療
・放射線治療（入院）

【概要】入院での放射線治療に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



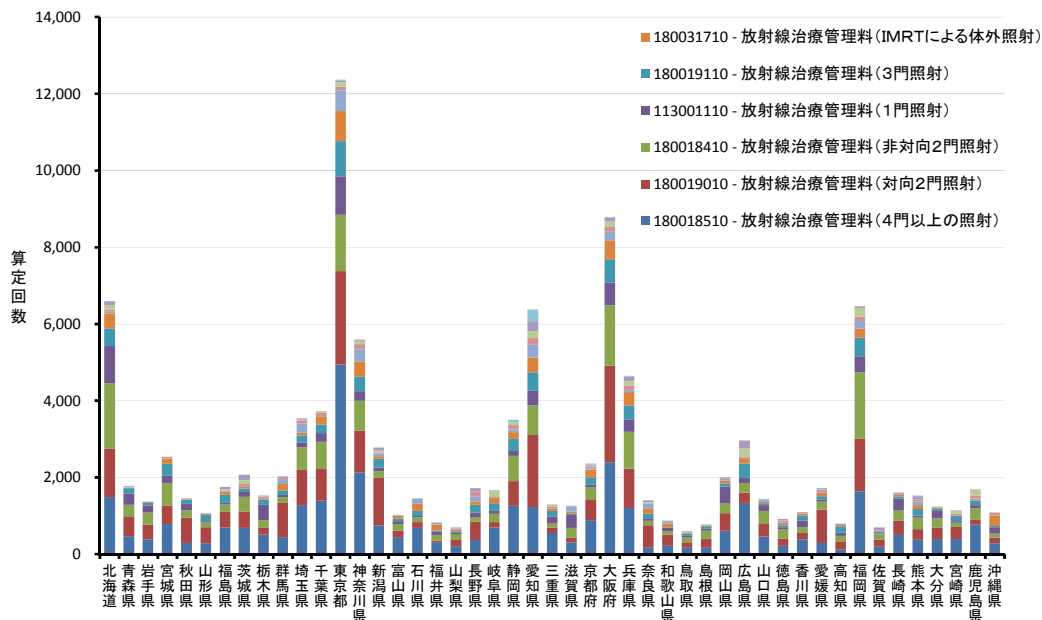
M001 体外照射：放射線を体外から照射して行う治療法。照射する放射線の種類や回数、門数ごとに算定する。

M005 血液照射



M005 血液照射：輸血後移植片対宿主病（GVHD）の予防のために、輸血用血液に対して放射線照射を行った場合に算定する。

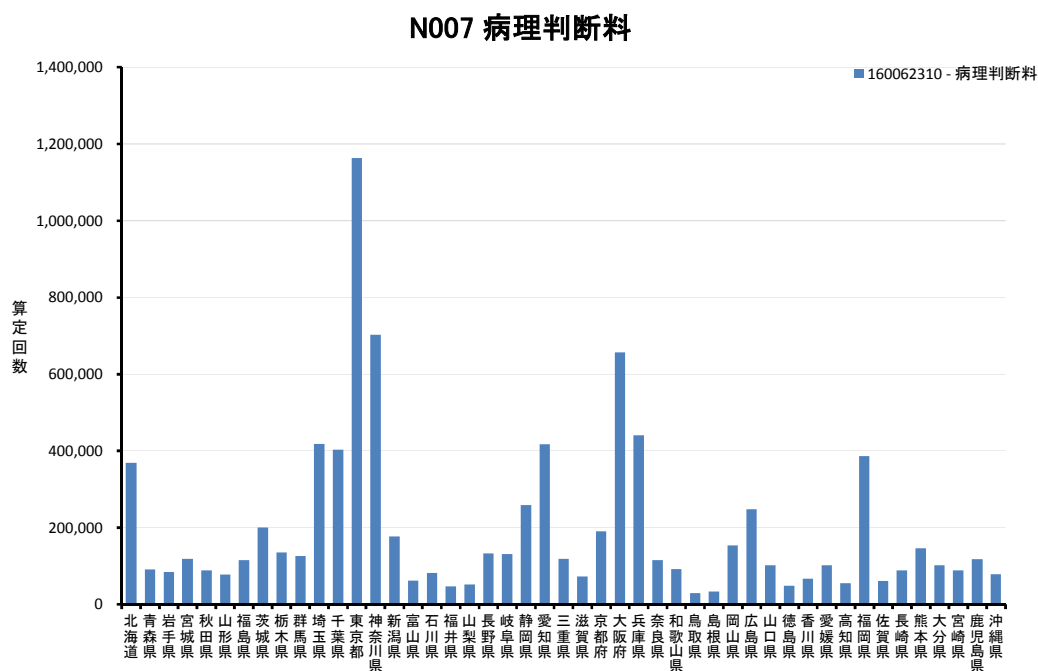
M000 放射線治療管理料



M000 放射線治療管理料：放射線治療を行うに際して、あらかじめ作成した照射計画により放射線照射を行った場合に算定する。

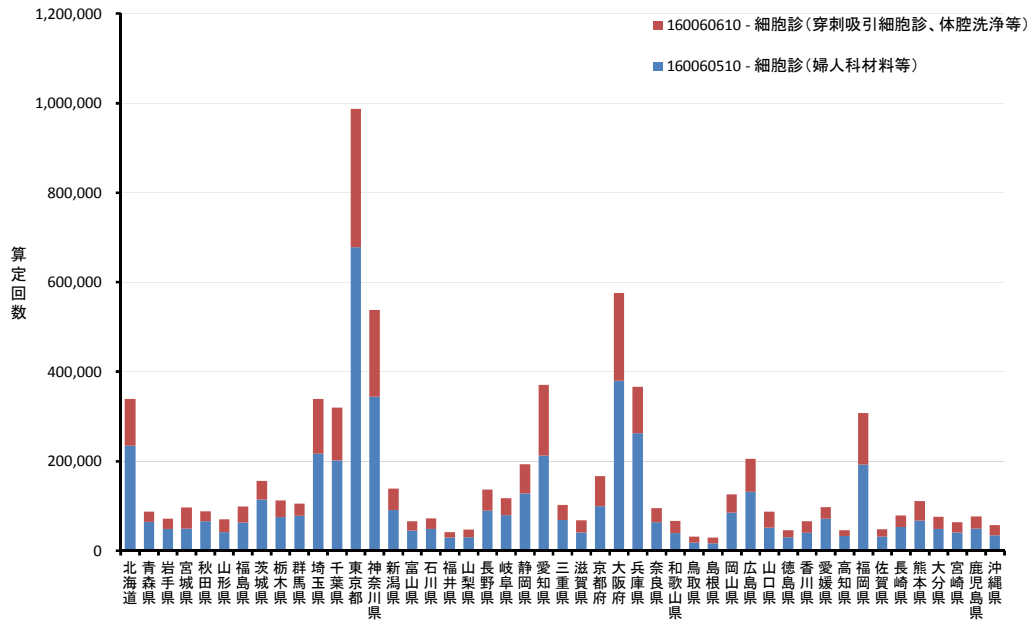
N 病理診断 ・病理診断（外来）

【概要】 外来での病理診断に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



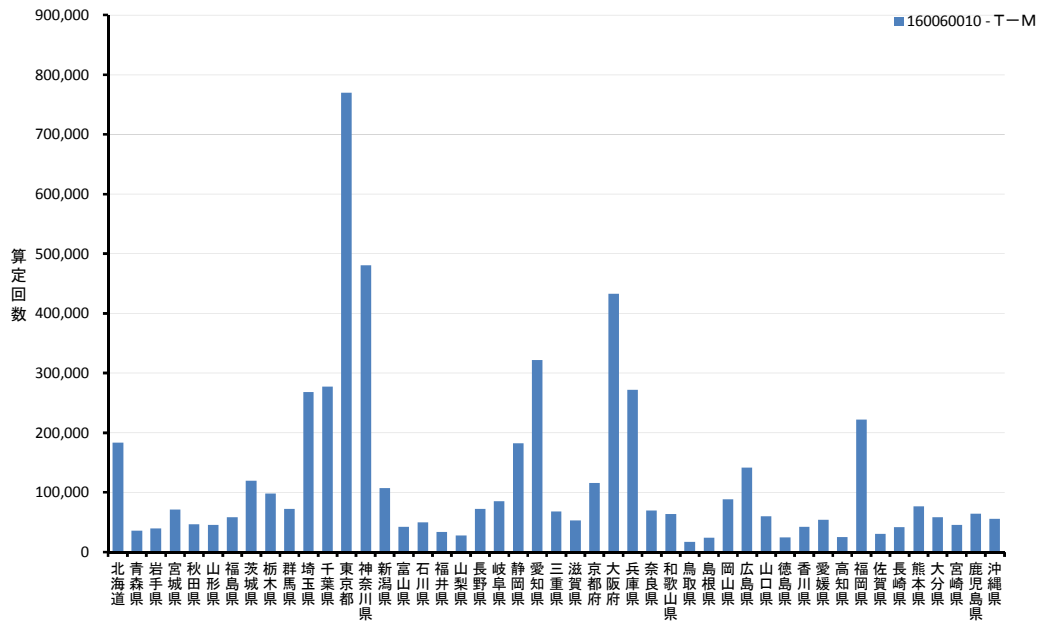
N007 病理判断料：担当医が病理標本について病変の判断を行った場合に算定する。

N004 細胞診



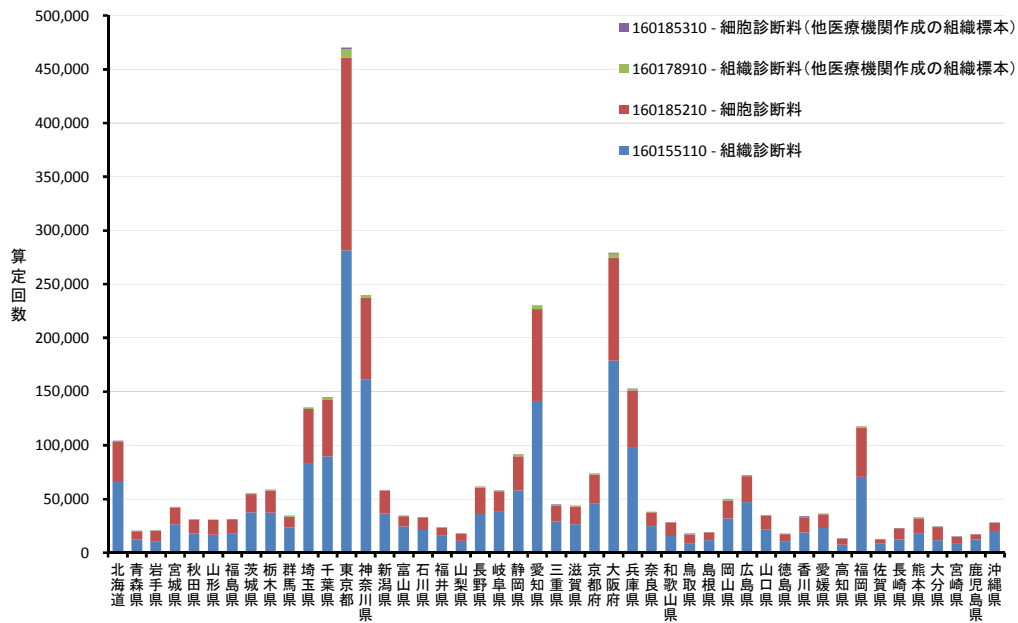
N004 細胞診：病気で変化した部分の細胞を採取し、異型細胞の有無等を顕微鏡で観察し、良悪性の判断や病理学的診断をすること。

N000 病理組織標本作製



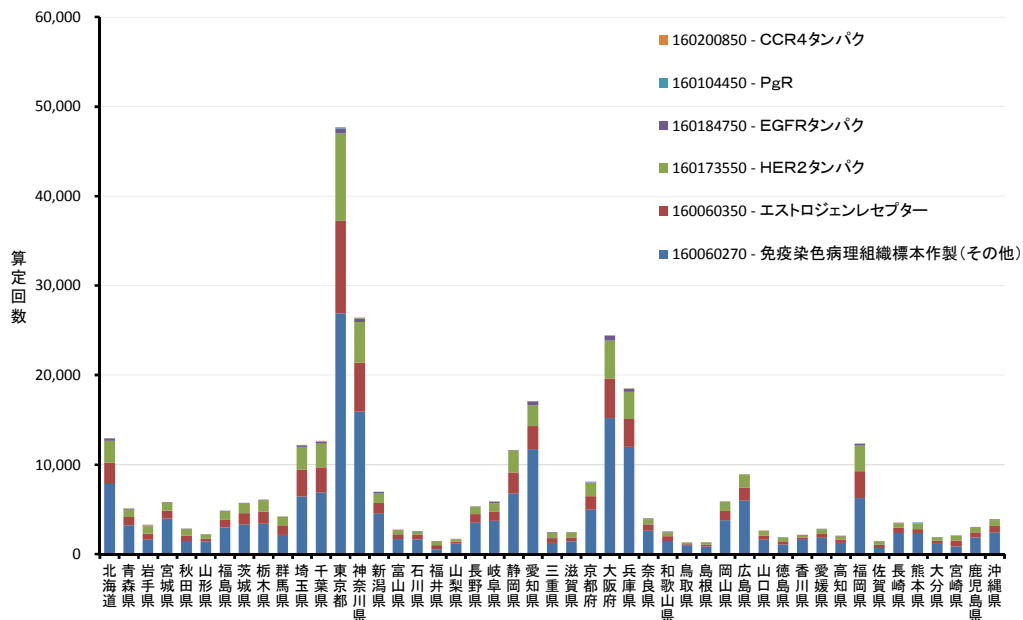
N000 病理組織標本作製：病理検査のため、患者の体から採取した少量の組織または、手術で摘出された臓器を固定、薄切、染色し、標本作製すること。

N006 病理診断料



N006 病理診断料：病理診断を専ら担当する医師が勤務する医療機関にて、患者の体内から採取した組織を顕微鏡で観察して診断された場合に算定する。

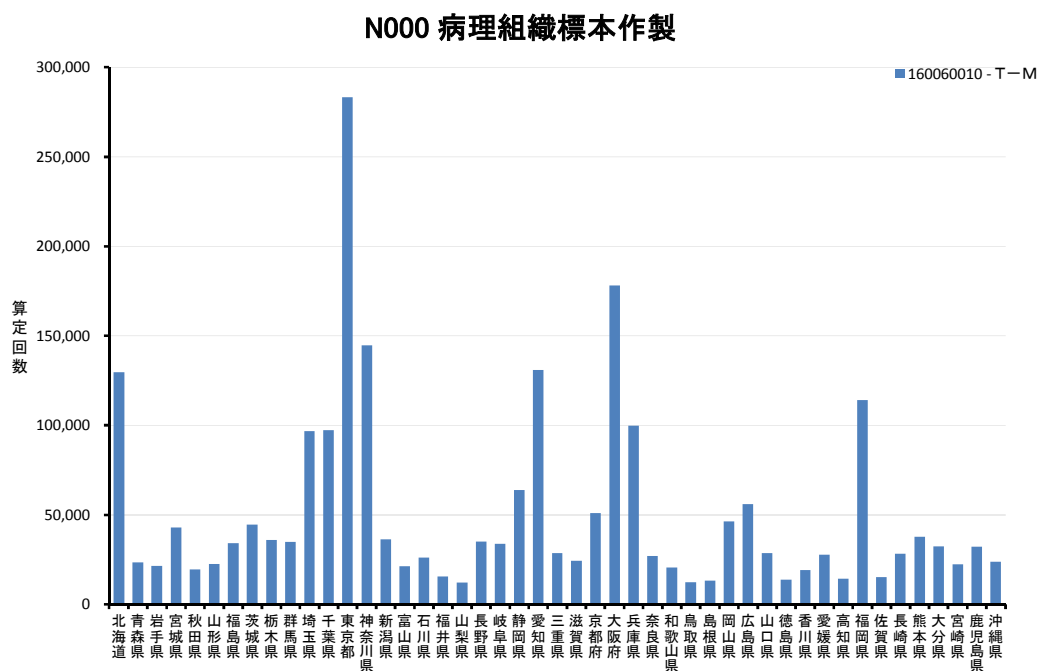
N002 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製



N002 免疫組織(免疫抗体法)病理組織標本作製：病変の詳細な評価のため、採取した組織の免疫染色を行い、標本を作製すること。

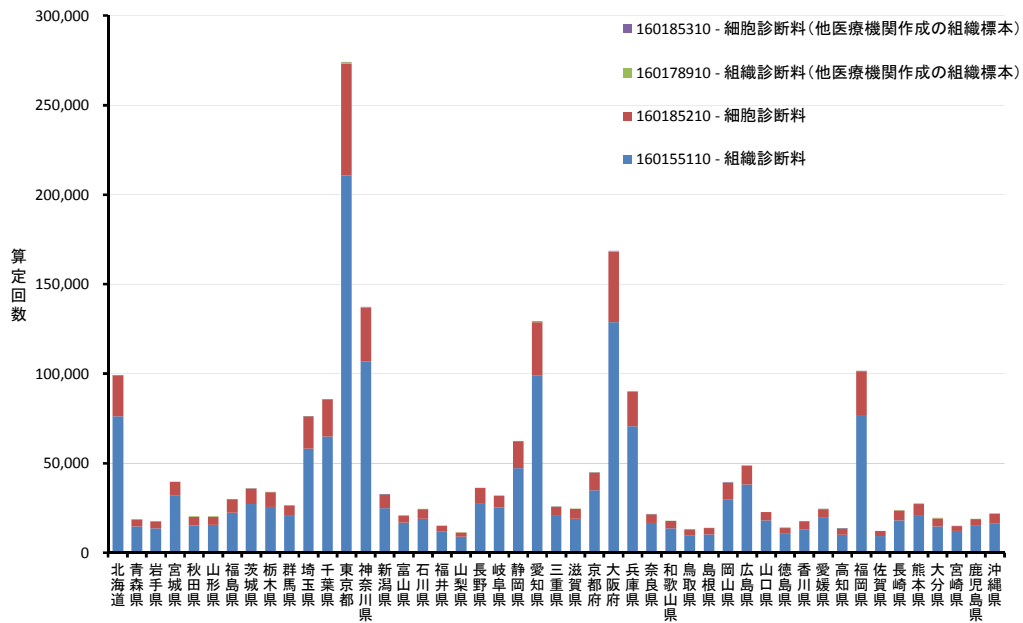
N 病理診断
・病理診断（入院）

【概要】入院での病理診断に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



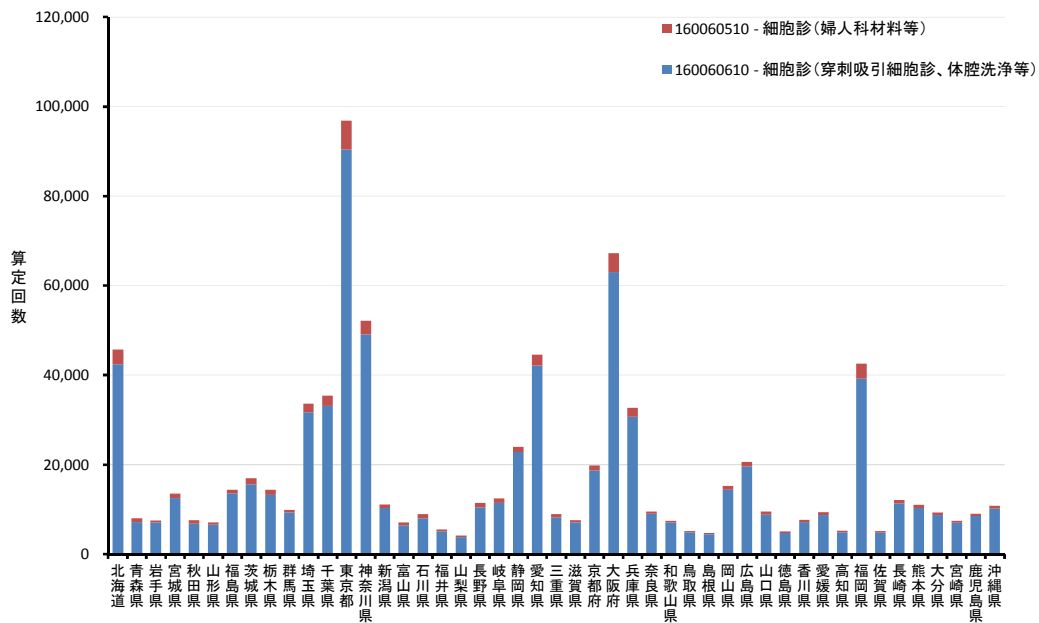
N000 病理組織標本作製：病理検査のため、患者の体から採取した少量の組織または、手術で摘出された臓器を固定、薄切、染色し、標本を作製すること。

N006 病理診断料



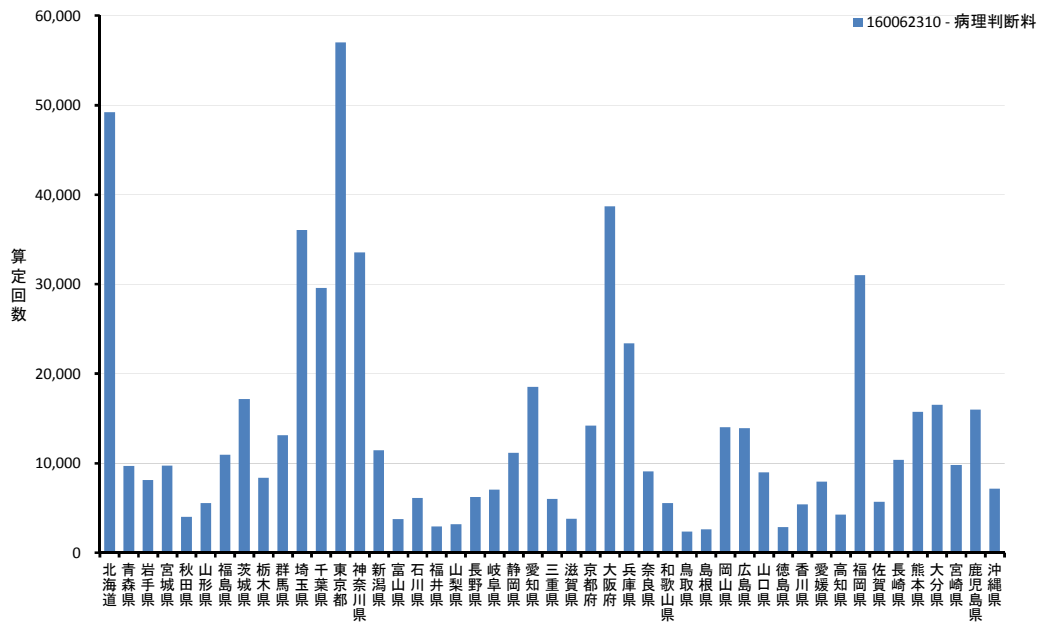
N006 病理診断料：病理診断を専ら担当する医師が勤務する医療機関にて、患者の体内から採取した組織を顕微鏡で観察して診断された場合に算定する。

N004 細胞診



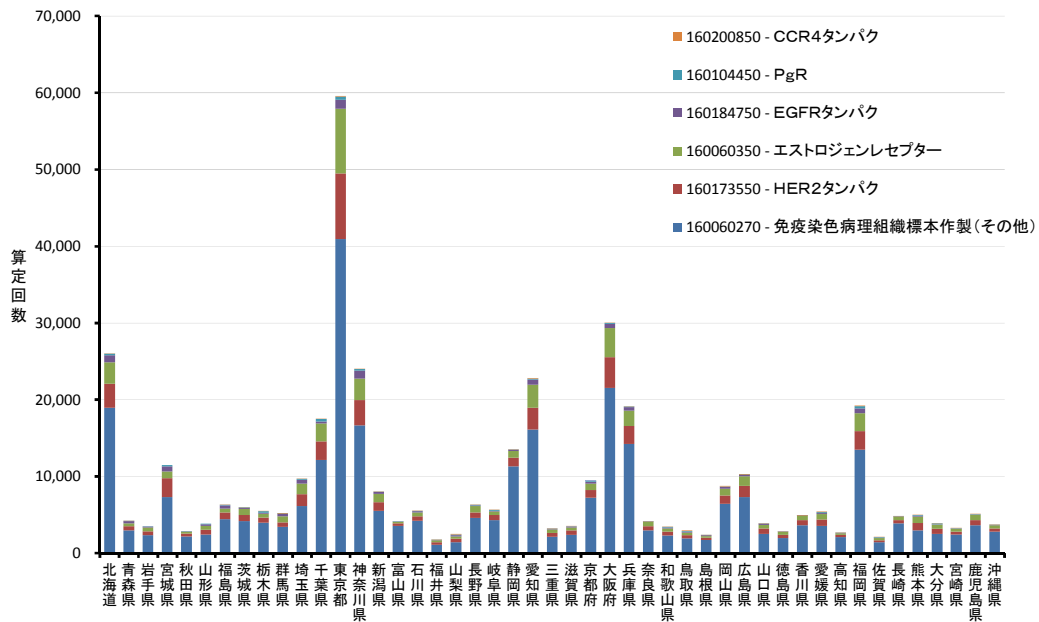
N004 細胞診：病気で変化した部分の細胞を採取し、異型細胞の有無等を顕微鏡で観察し、良悪性の判断や病理学的診断をすること。

N007 病理判断料



N007 病理判断料：担当医が病理標本について病変の判断を行った場合に算定する。

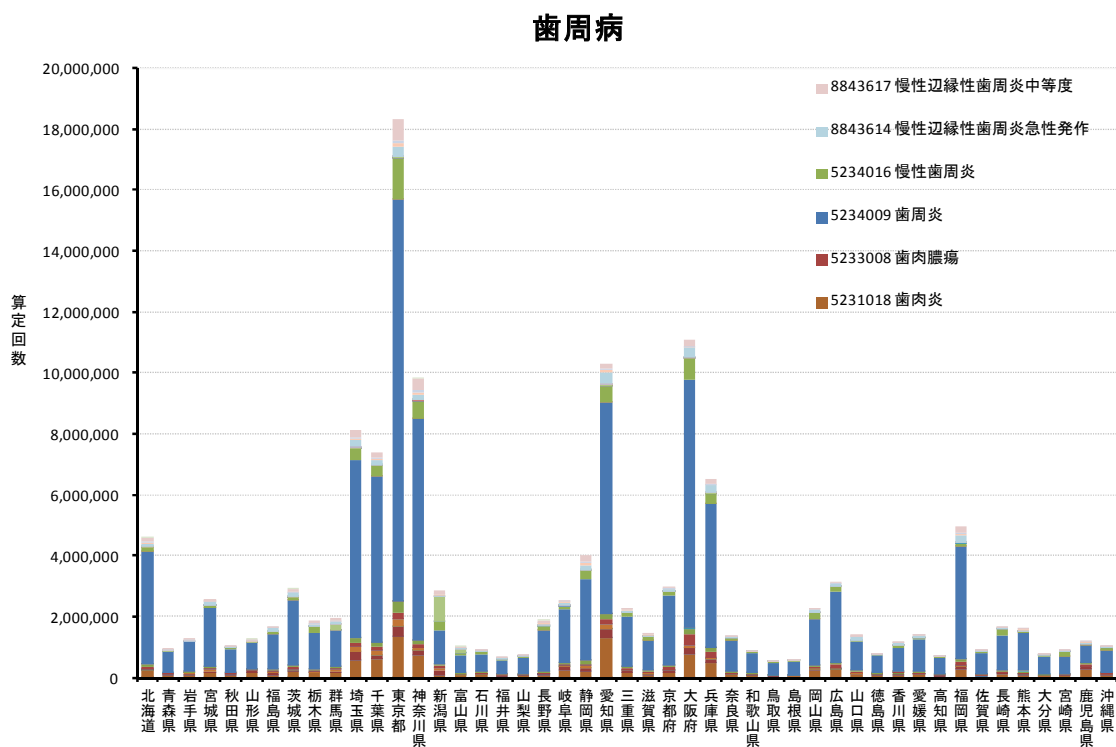
N002 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製



N002 免疫組織(免疫抗体法)病理組織標本作製：病変の詳細な評価のため、採取した組織の免疫染色を行い、標本作製すること。

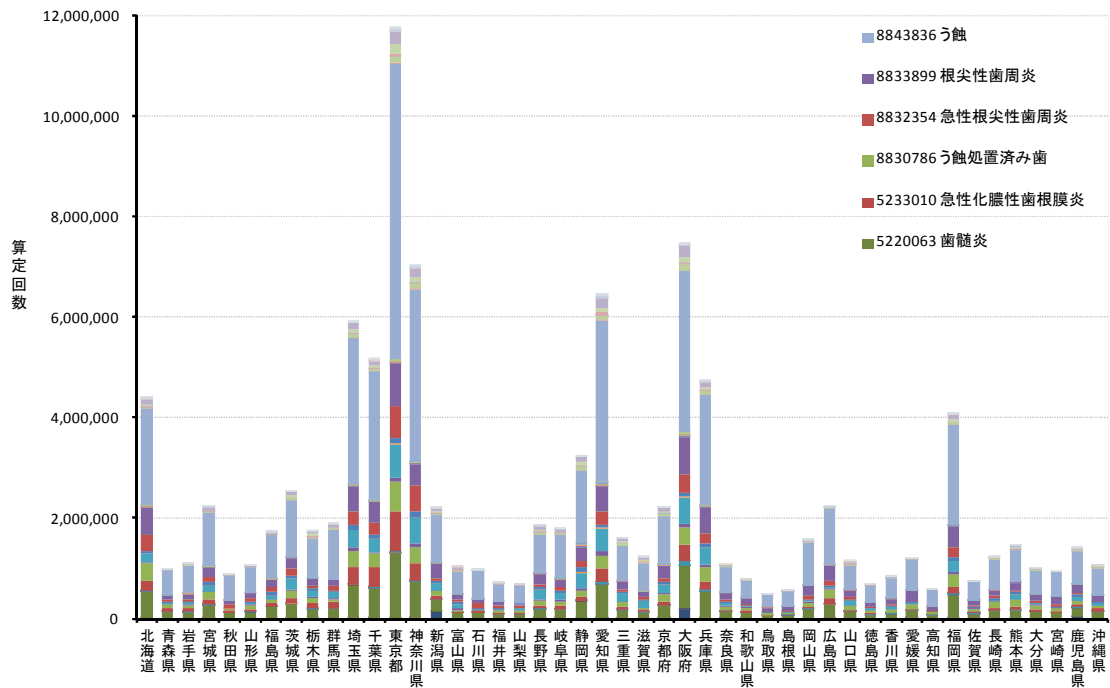
5-2. 歯科傷病の傷病件数の集計グラフ

【概要】 歯科傷病の傷病件数を、都道府県別に H26 年度(1 年間)分を集計した。
 主な歯科傷病 3 項目を示す。



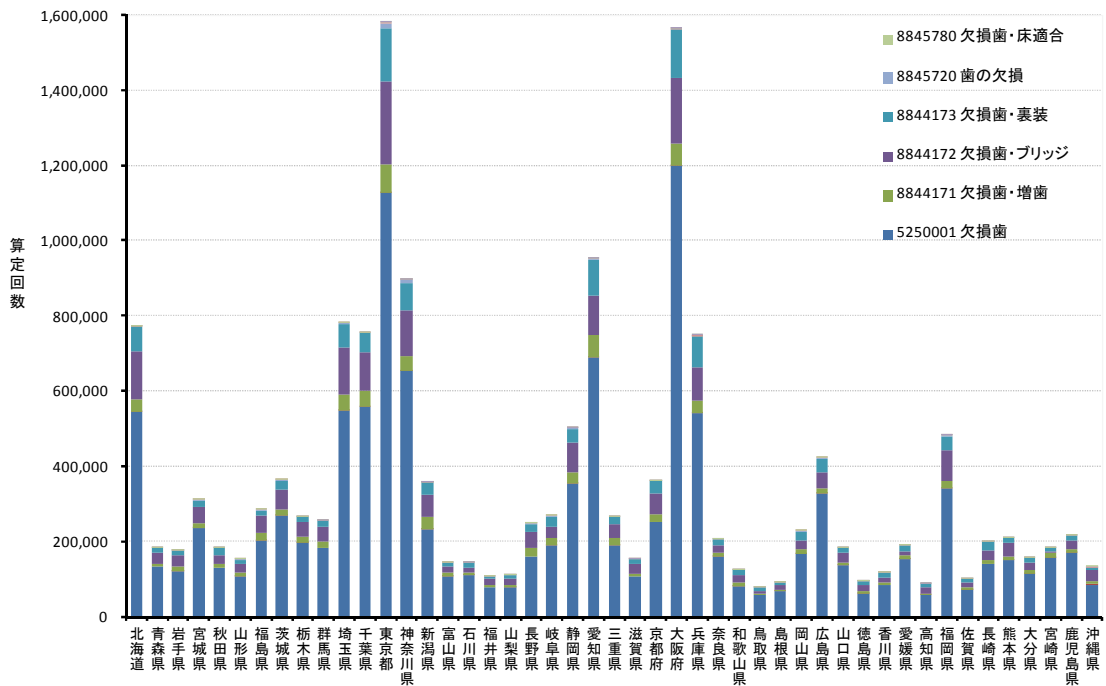
歯周病：歯周炎（歯槽膿漏）、歯肉炎など、歯の周囲組織の疾患。

う蝕



う蝕：口腔内の細菌が産生する酸によって歯が溶かされる疾患。

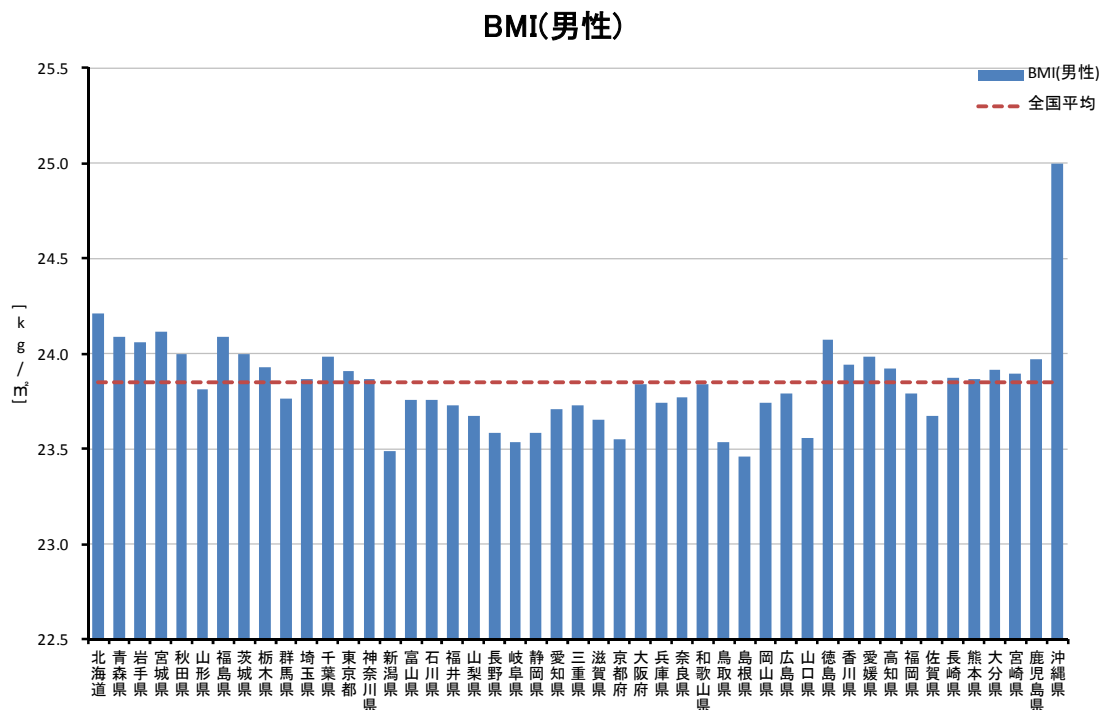
喪失歯



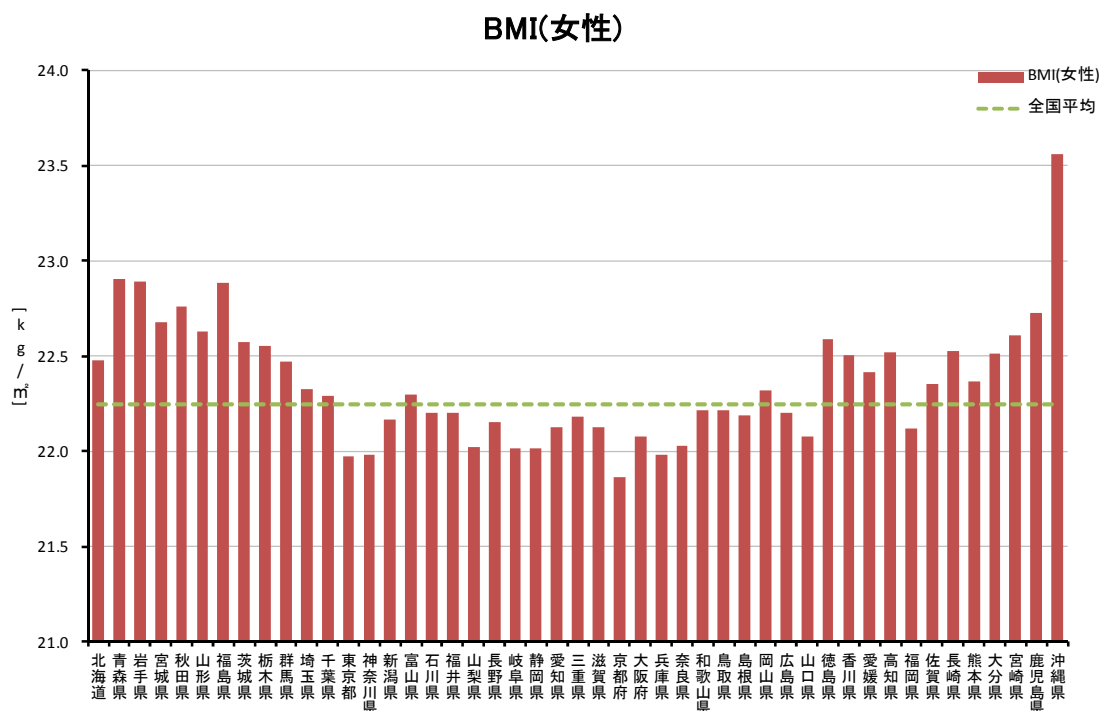
喪失歯：う蝕や外傷、歯周病などの原因で、抜け落ちてしまった場合や抜歯して後天的に歯を失うこと。

5-3. 特定健診の集計グラフ

【概要】 特定健診における検査項目を、男女別、都道府県別に平成 25 年度(1 年間)分を集計した。13 項目を示す。

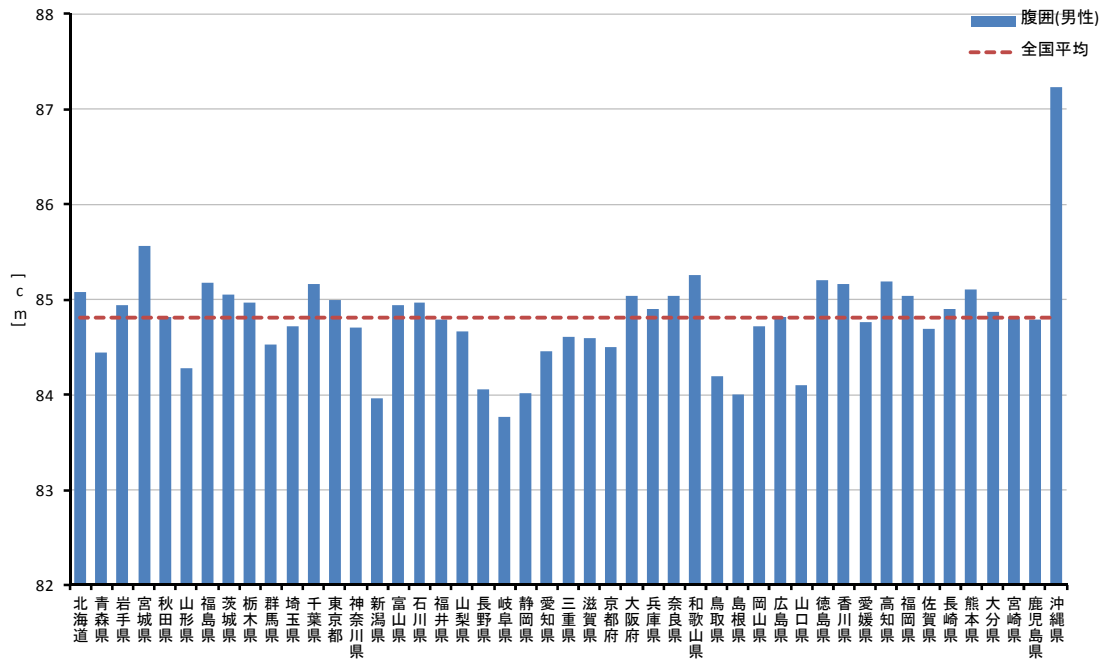


BMI : Body Mass Index の略。BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)。



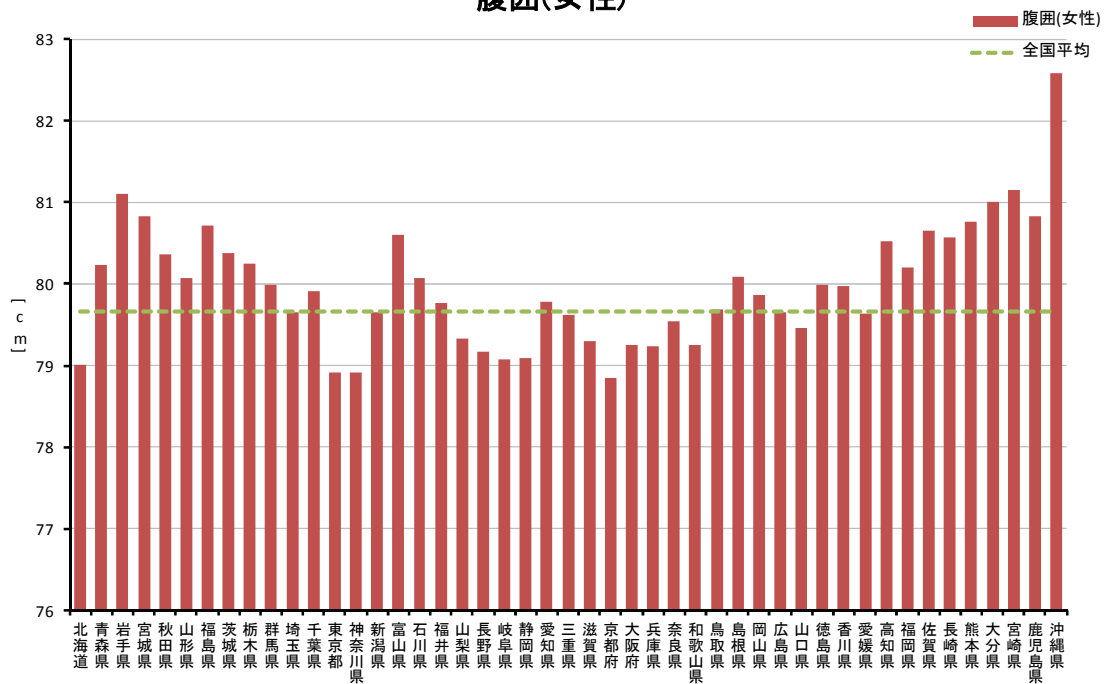
BMI : Body Mass Index の略。BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)。

腹囲(男性)



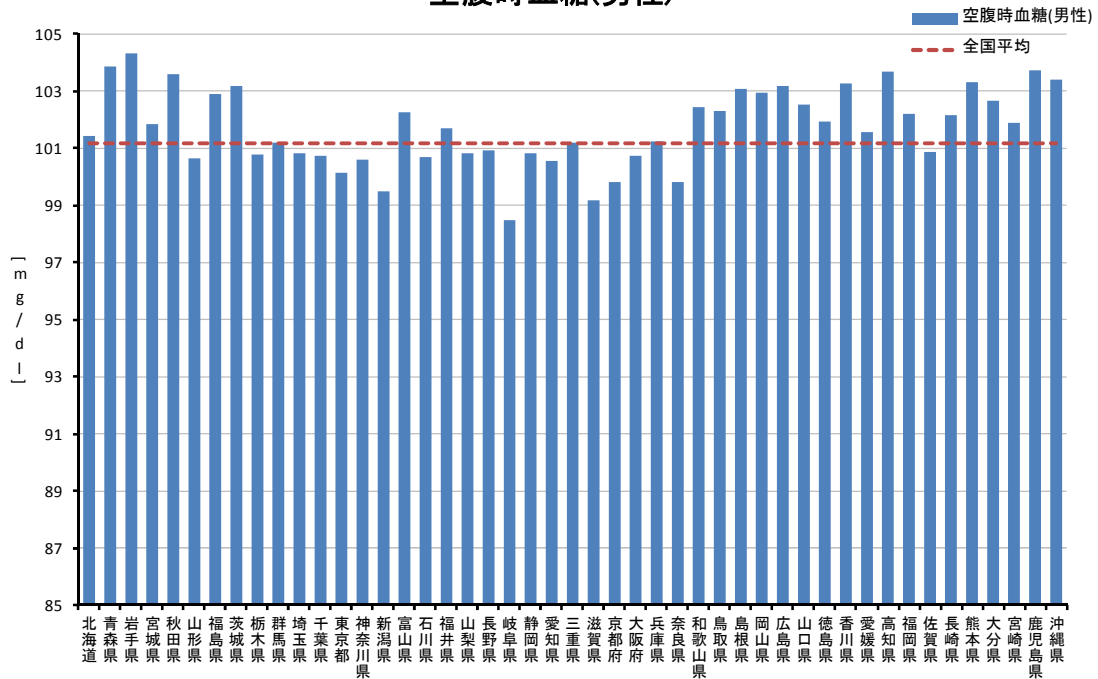
腹囲：おへその高さのウエスト周囲長。

腹囲(女性)



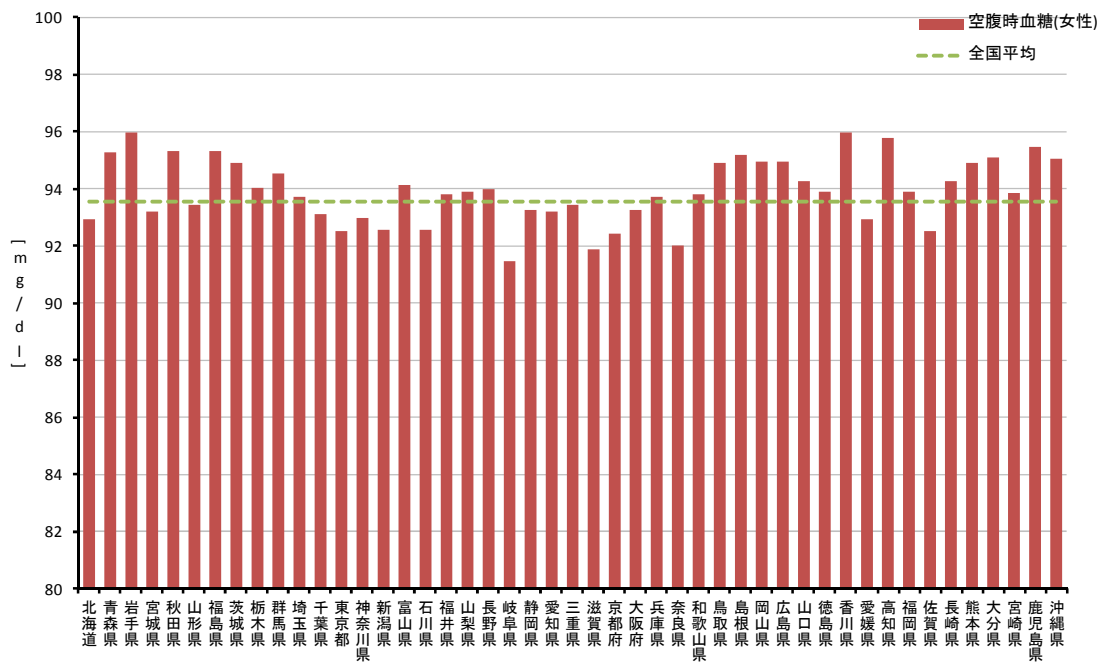
腹囲：おへその高さのウエスト周囲長。

空腹時血糖(男性)



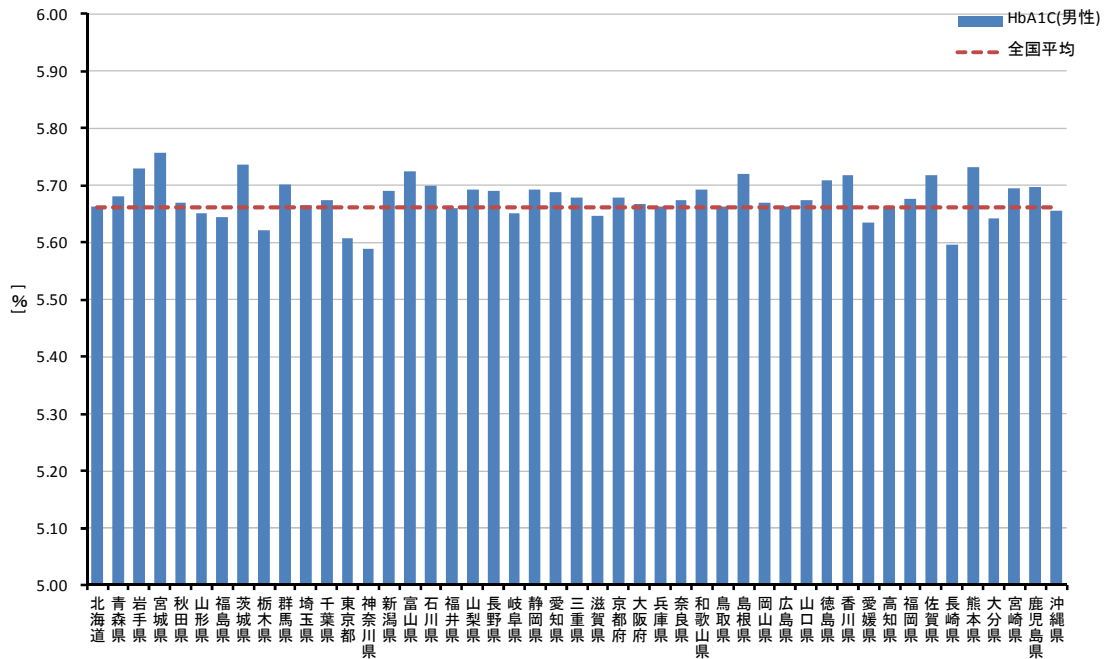
空腹時血糖：10時間以上食事をしていない状態で測定した血液中のブドウ糖の濃度。

空腹時血糖(女性)



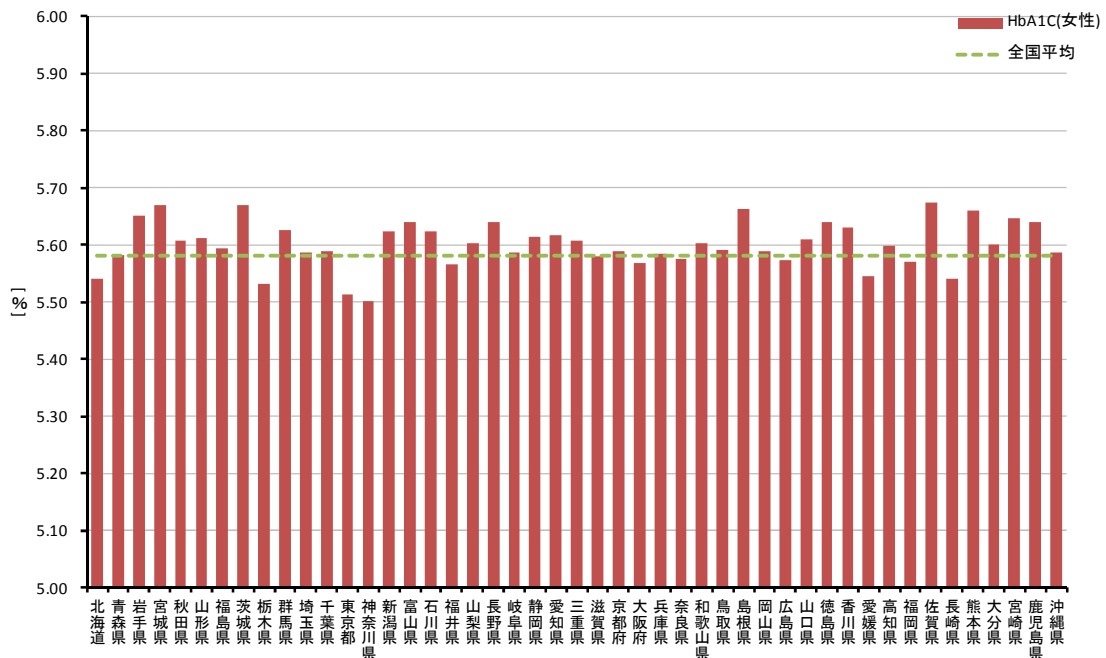
空腹時血糖：10時間以上食事をしていない状態で測定した血液中のブドウ糖の濃度。

HbA1C(男性)



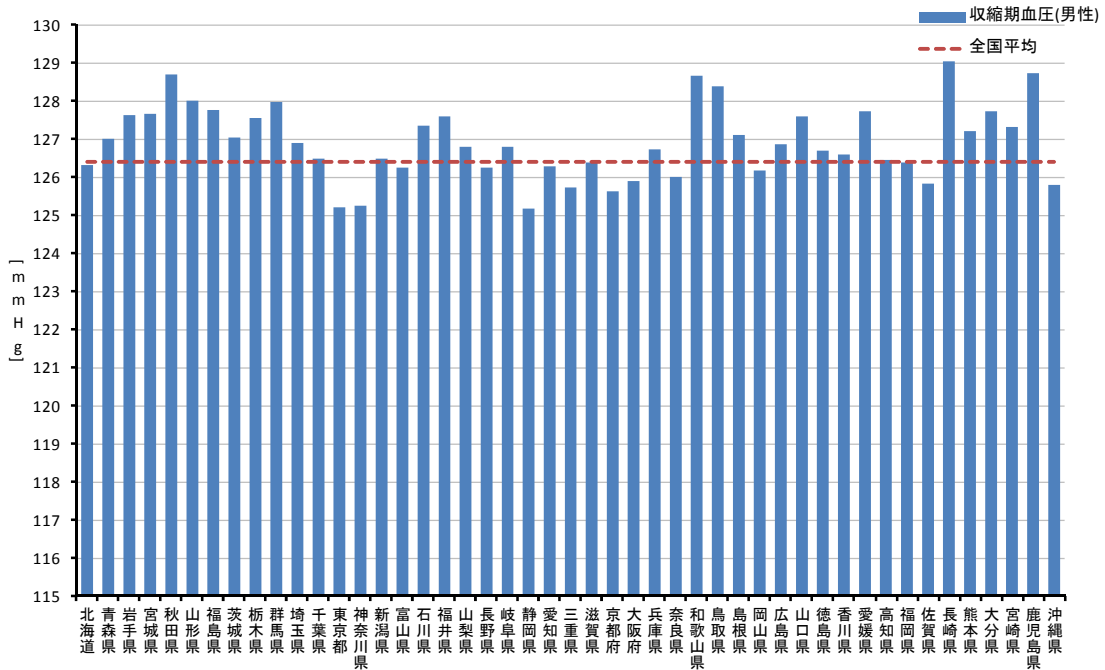
HbA1c : 赤血球の中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したものであり、過去 1-2 ヶ月間の平均血糖値を反映する指標。NGSP 値で表示されている。

HbA1C(女性)



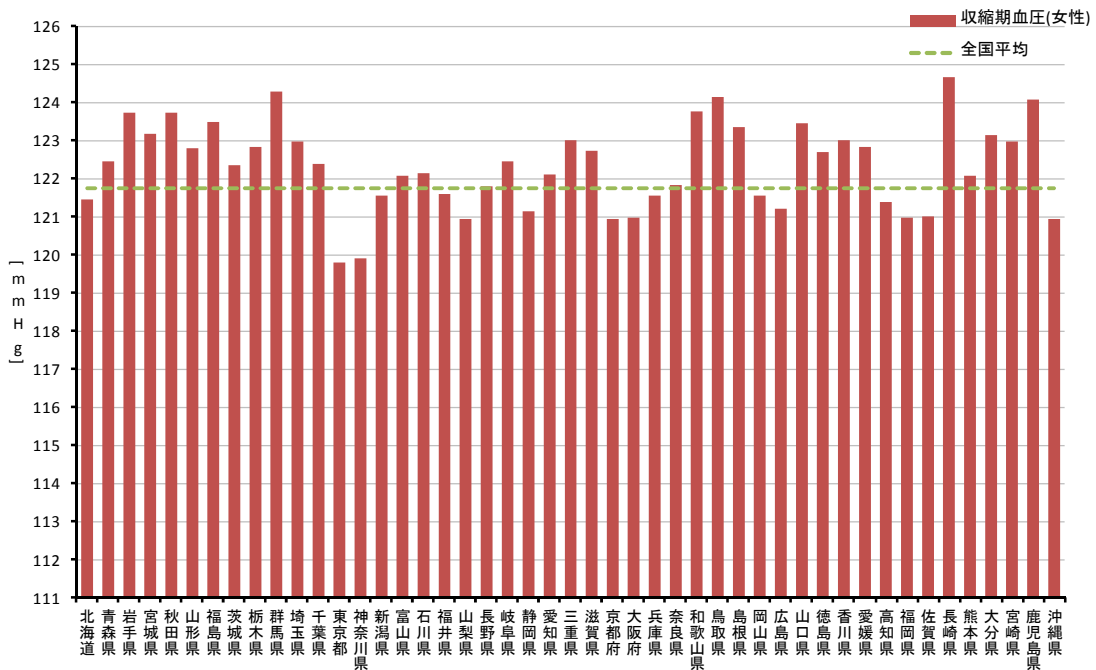
HbA1c : 赤血球の中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したものであり、過去 1-2 ヶ月間の平均血糖値を反映する指標。NGSP 値で表示されている。

収縮期血圧(男性)



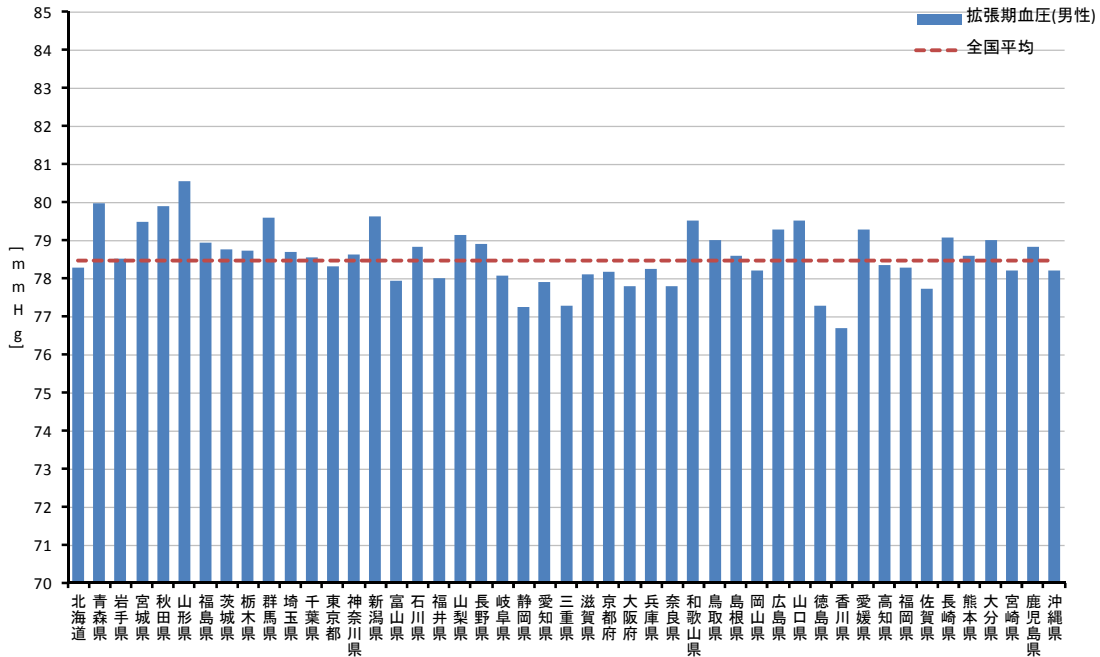
収縮時血圧：心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮した時の数値。

収縮期血圧(女性)



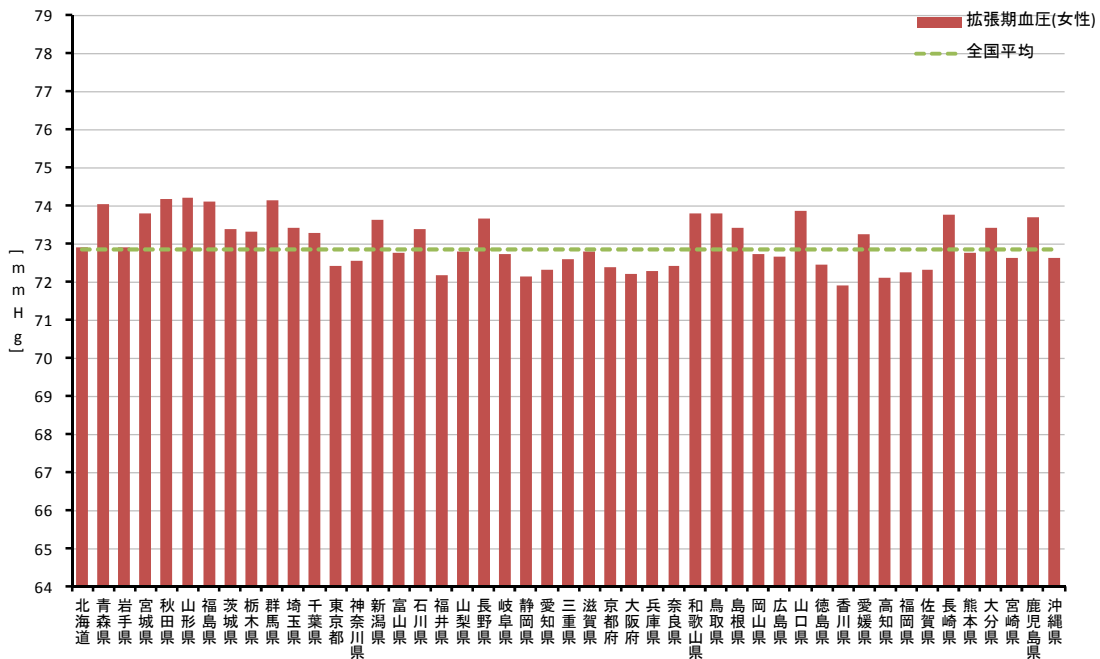
収縮時血圧：心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮した時の数値。

拡張期血圧(男性)



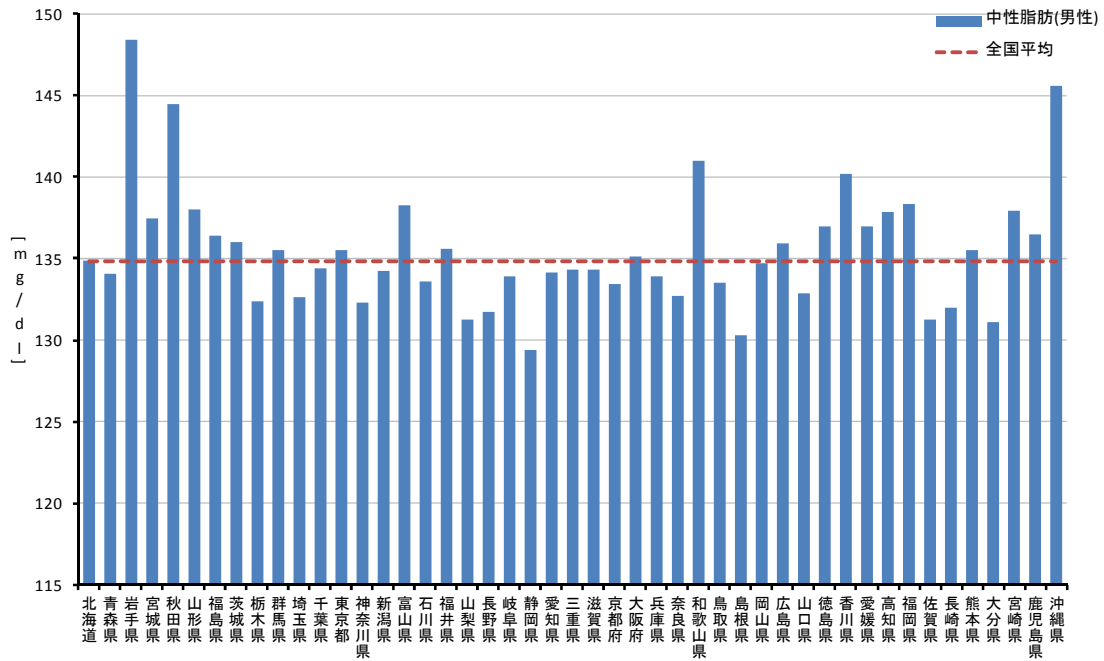
拡張時血圧: 心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮を終えて、全身から心臓へ血液が戻ってくる時の数値。

拡張期血圧(女性)



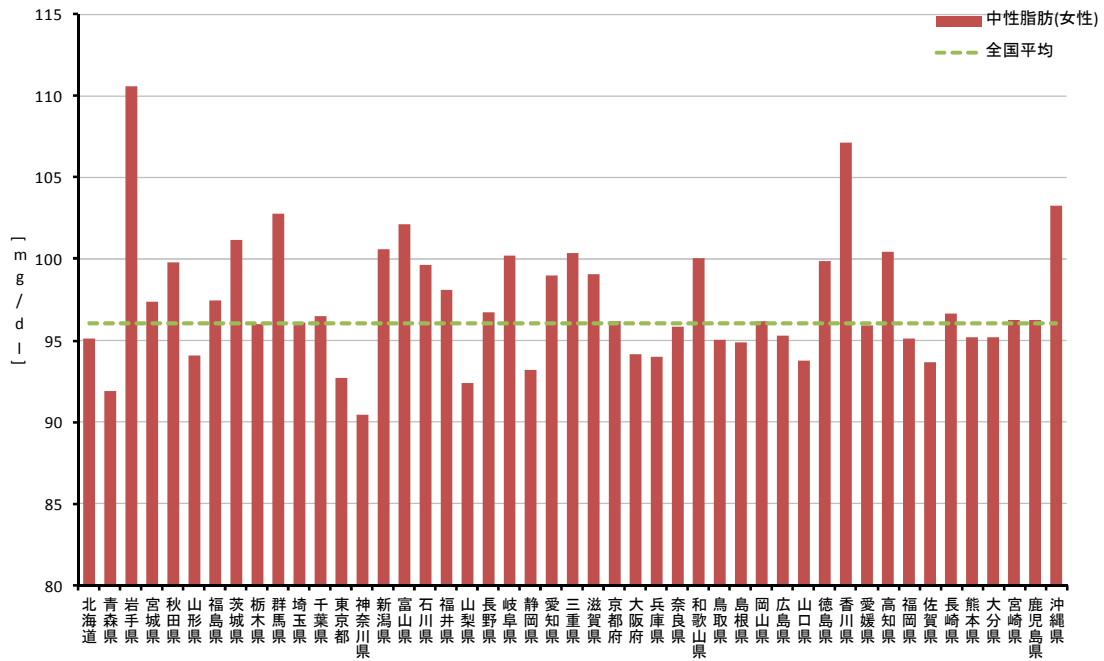
拡張時血圧: 心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮を終えて、全身から心臓へ血液が戻ってくる時の数値。

中性脂肪(男性)



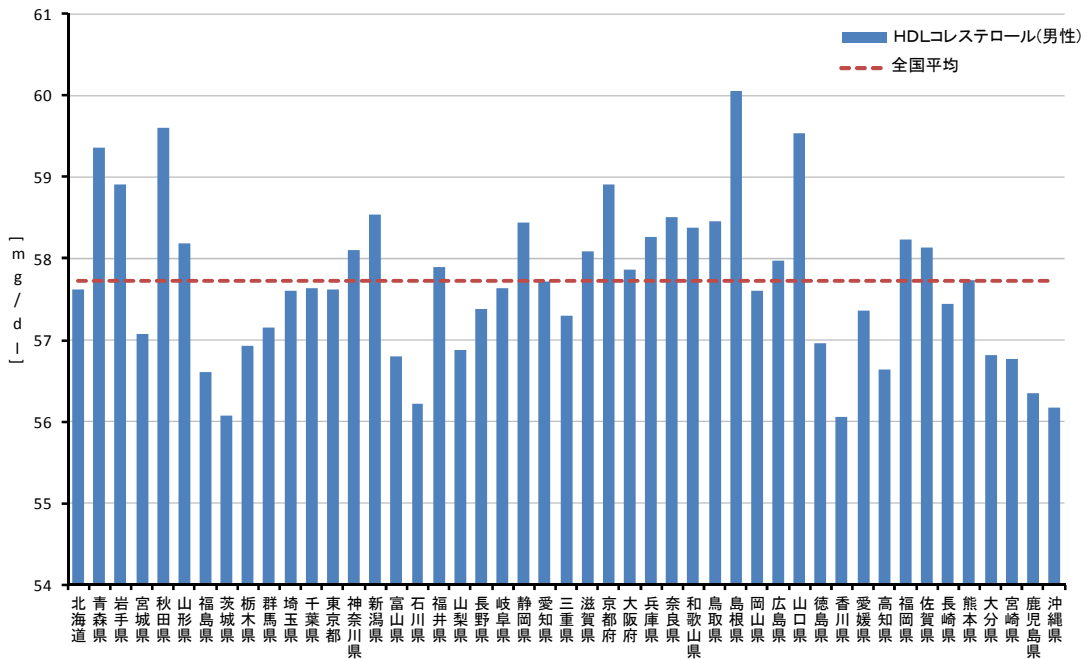
中性脂肪：血液中の中性脂肪の値。

中性脂肪(女性)



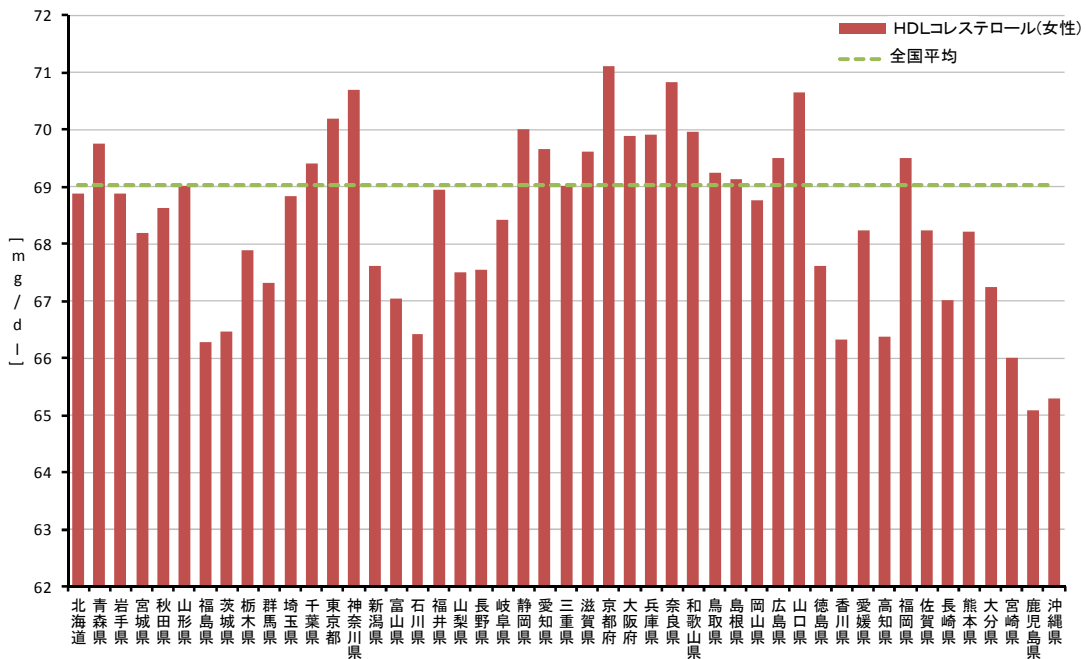
中性脂肪：血液中の中性脂肪の値。

HDL コレステロール(男性)



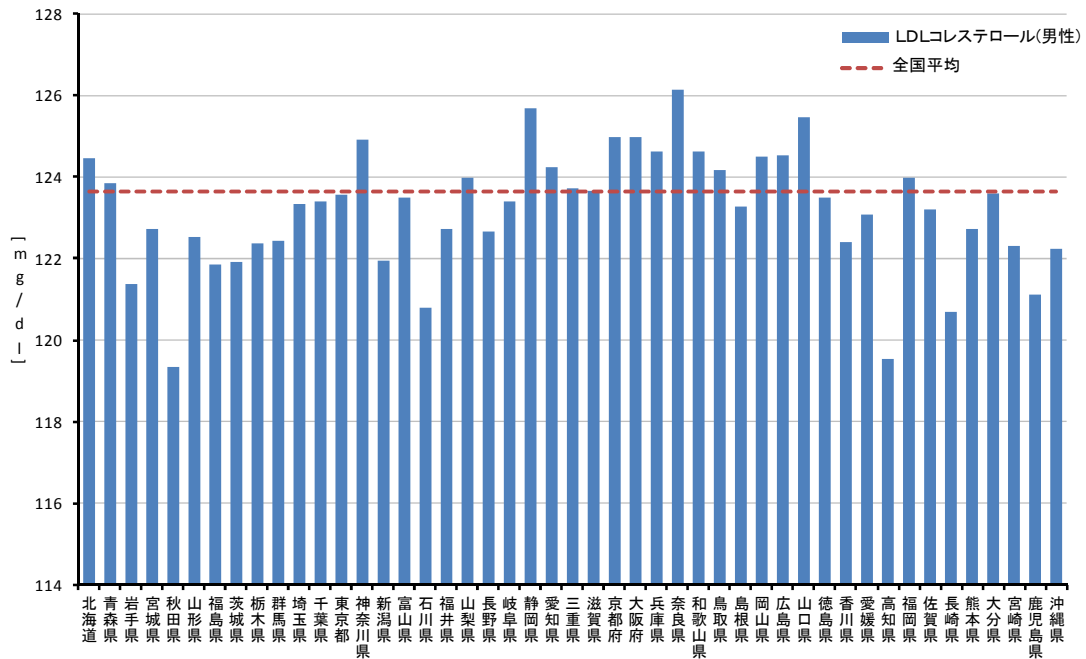
HDL コレステロール: 血中の余分なコレステロールを回収し、肝臓に戻す働きをする。いわゆる「善玉コレステロール」。

HDLコレステロール(女性)



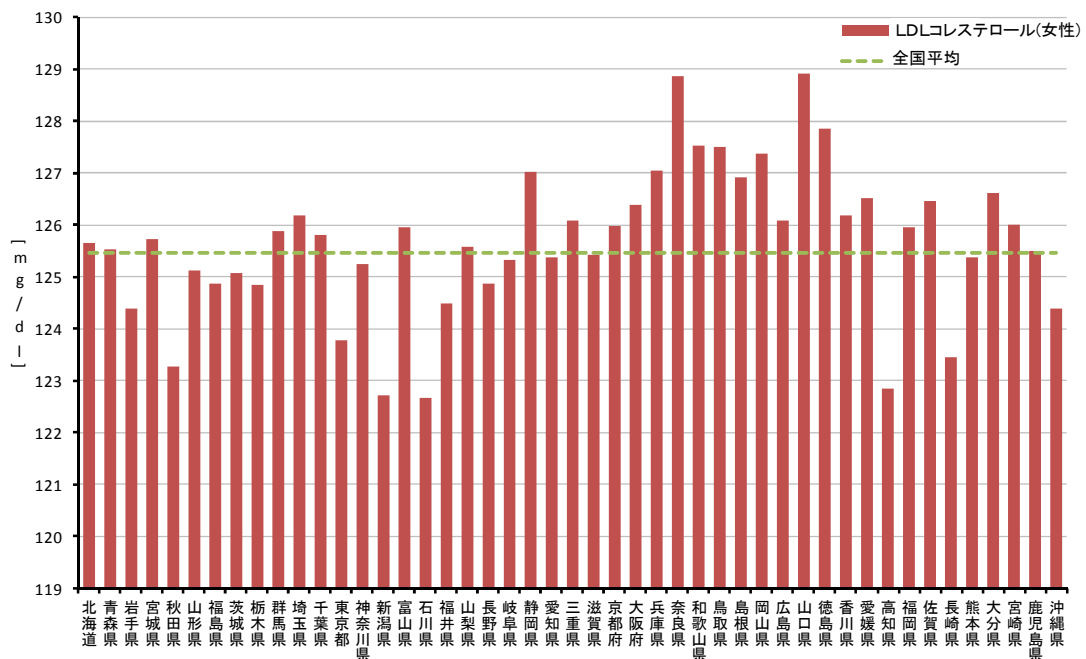
HDL コレステロール: 血中の余分なコレステロールを回収し、肝臓に戻す働きをする。いわゆる「善玉コレステロール」。

LDLコレステロール(男性)



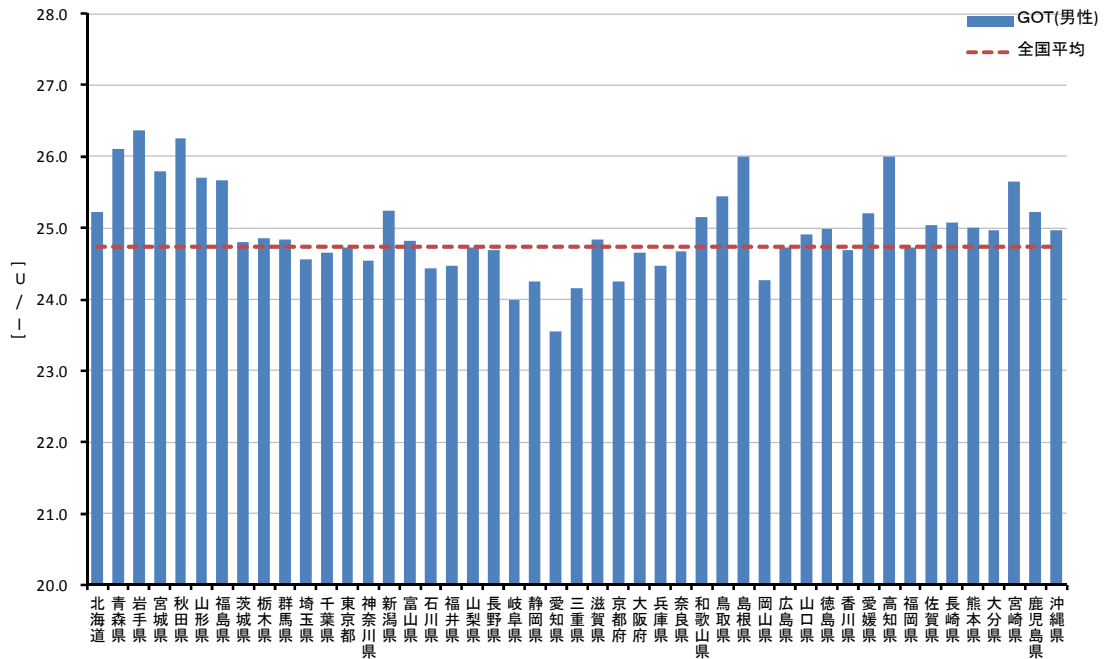
LDL コレステロール：血中のコレステロールを全身に運ぶ働きをする。いわゆる「悪玉コレステロール」。

LDLコレステロール(女性)



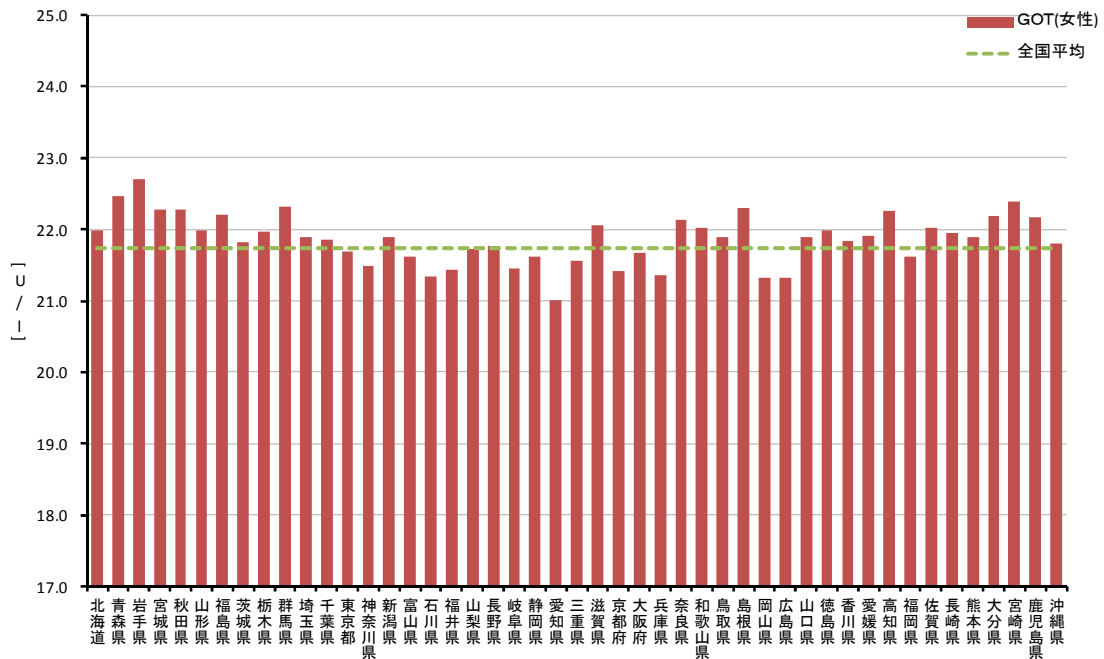
LDL コレステロール：血中のコレステロールを全身に運ぶ働きをする。いわゆる「悪玉コレステロール」。

GOT(男性)



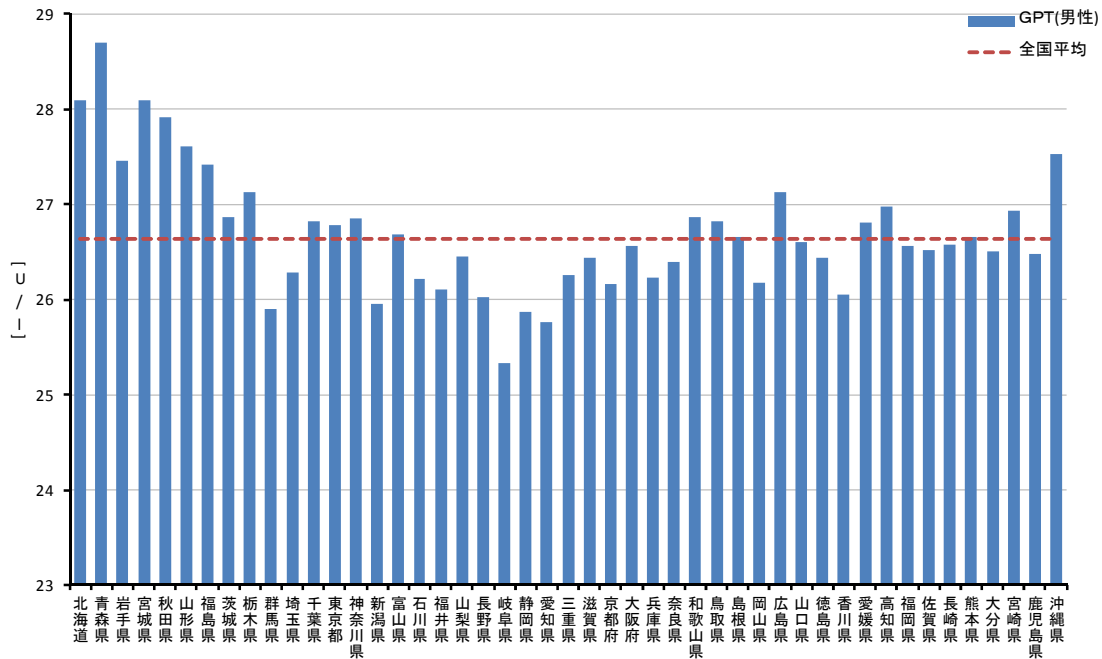
GOT (AST) : 肝臓・心筋・骨格筋の細胞に多く存在する酵素。これらの臓器が傷害されると数値が上昇する。

GOT(女性)



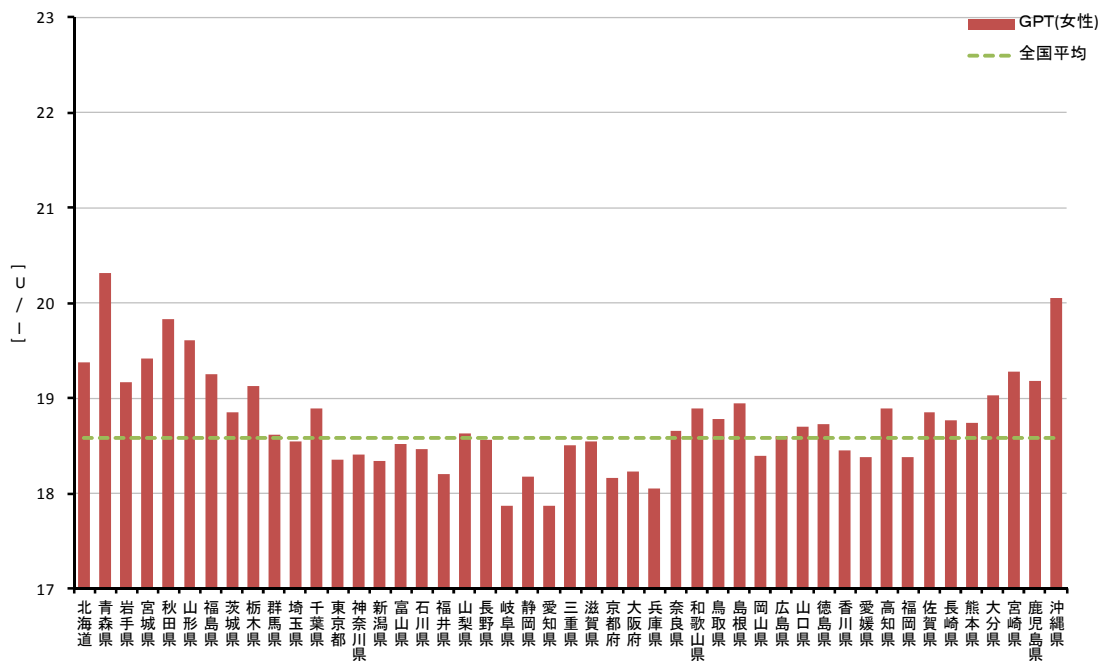
GOT (AST) : 肝臓・心筋・骨格筋の細胞に多く存在する酵素。これらの臓器が傷害されると数値が上昇する。

GPT(男性)



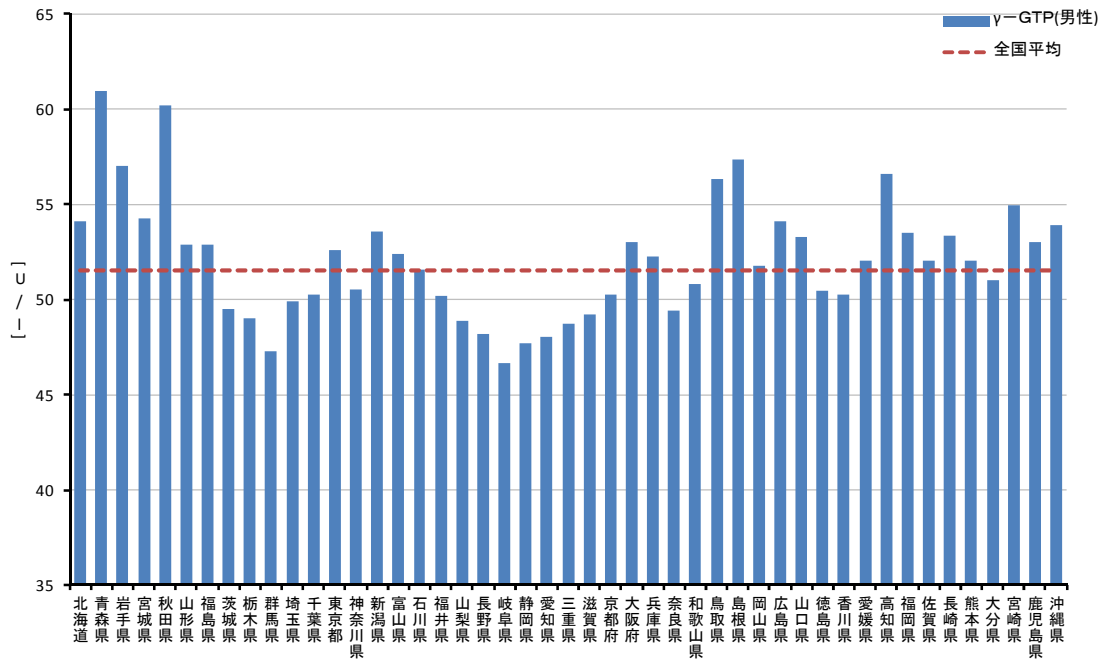
GPT (ALT) : 肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

GPT(女性)



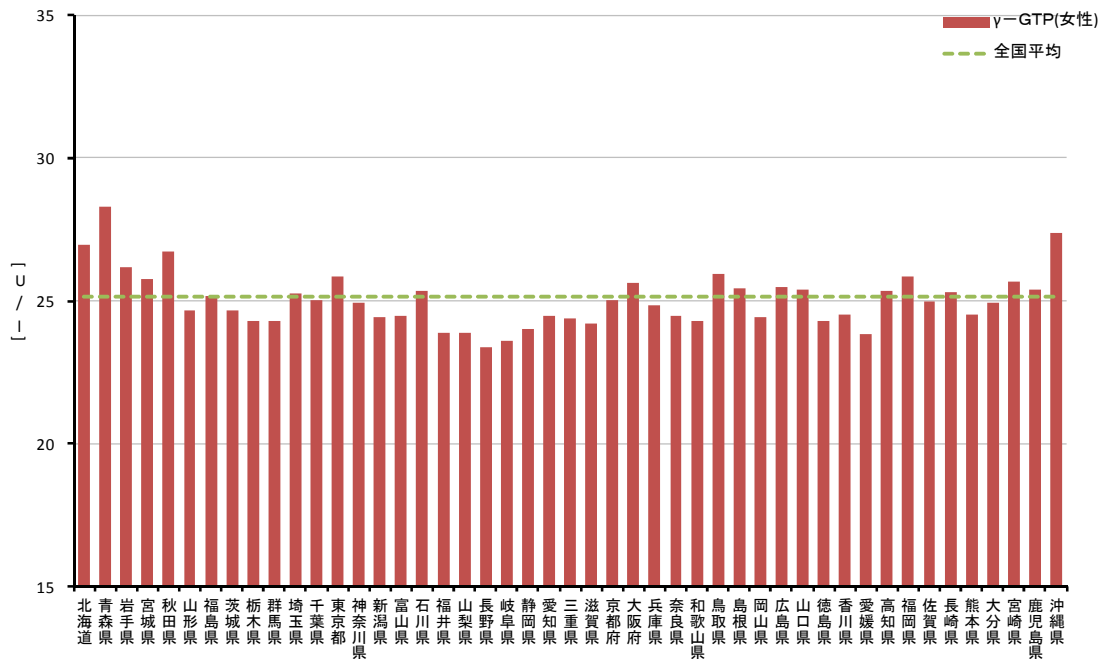
GPT (ALT) : 肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

γ-GTP(男性)



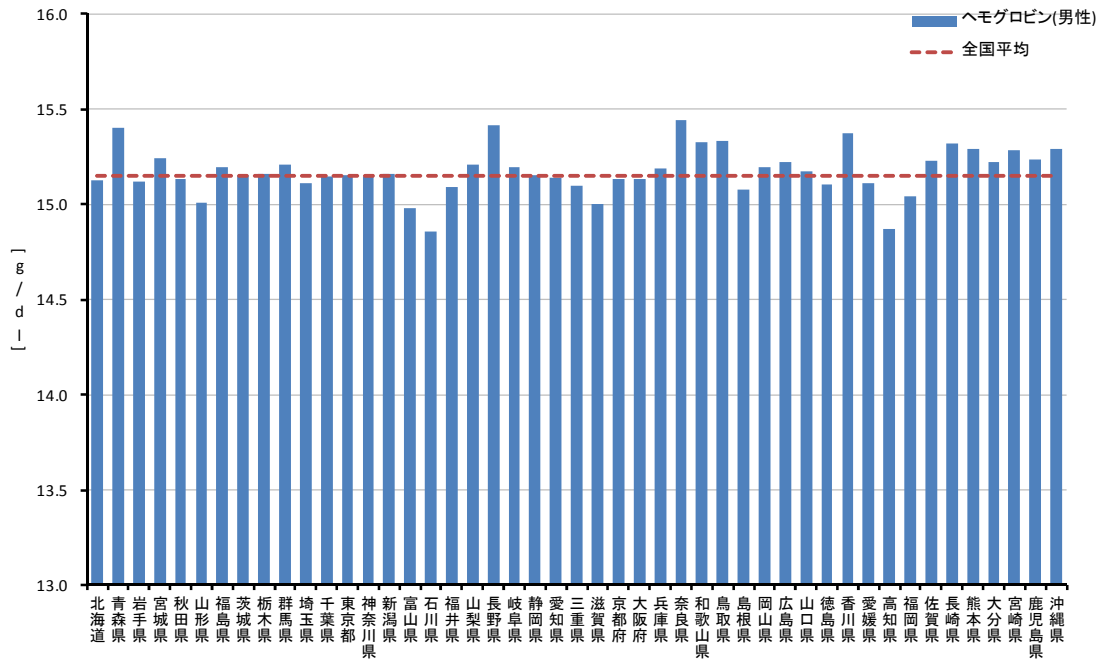
γ-GTP：肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

γ-GTP(女性)



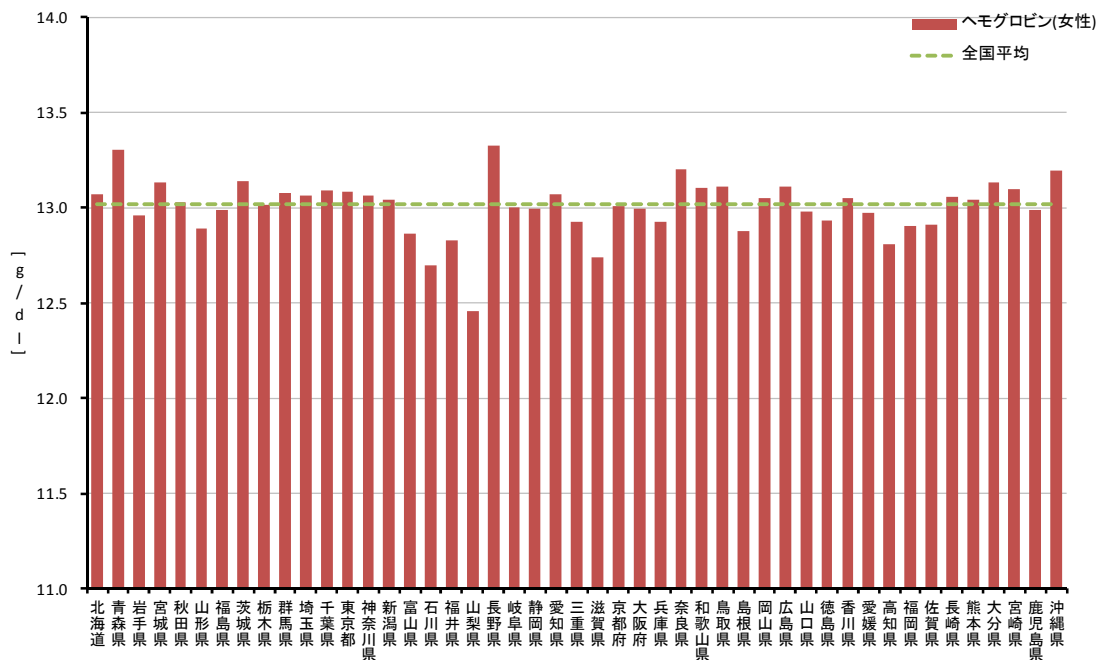
γ-GTP：肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

ヘモグロビン(男性)



ヘモグロビン：赤血球に含まれ、酸素を体内の組織に運ぶ上で重要な働きをする。色素。

ヘモグロビン(女性)



ヘモグロビン：赤血球に含まれ、酸素を体内の組織に運ぶ上で重要な働きをする。色素。